令和4年度

シラバス

(必履修科目)

富山県立富山高等学校

令和4年度 教育計画(シ	ラバス)						
学科名	学年	教科	科目	単位数			
普 通 科 理 数 科 学 科 人文社会科学科	1	国語	現代の国語	2			
教科	書	補助教材					
高等学校 現代の国]語(第一学習社)	現代文総演習標準編(いいずな書店	記)、頻出漢字マスター300				
	知識•技能	思考•判断•表明	主体的に学習に	こ取り組む態度			
実社会に必ている。	要な国語の知識や技能		る力や深く共感 り、ものの見方、感じ方、 伸ばし、他者と がら、言葉がもつ価値へ り、自分の思い いるとともに、読書に親し	考え方を深めたりしな の認識を深めようとして むことで自己を向上さ			
2 授業時の		支能」を評価する。 こ関するレポート、振り返りシートなどで「思考」で「主体的に学習に取り組む態度」を評価。					
	田に2・3を加味し、総合的		77.17+ F1 GE (37.5FF LF1.34+)				
学習内容(単 文章の構成を考える	「元・項目)		習到達目標(評価規準)	また柳根トゲハフ			
「『生きもの』として生きる」		読むこと」において、内容や構成、論理の展	州について秋処を基に的惟に捉ん、安に	な危険している。			
計学される。 論理とは何か		書くこと」において、読み手の理解が得られる。	るとう 診理展問を考えて立音の構成をT	一土」ている			
(表現編)論理的な表: 「羅生門」	現」	青くこと」において、肌み十の圧解が何り心	るより、	- 大しくいる。			
・耀王门」 論理を捉える 「『間』の感覚」		「読むこと」において、論理の展開について叙述を基に的確に捉え、要旨を把握している。					
「水の東西」		ざむとし 明ノとしいわいて (中社人の中心)	と 室 I J よった 日音 と み は 「 上台	却と切在、畝畑)~仁			
「〈表現編〉話し方の工。 「砂に埋もれたル・コル		話すこと・聞くこと」において、実社会の中か え合う内容を検討している。	ら適切な話題を伏め、様々な観点から情	報を収集、登理しく伝			
スピーチをする 「〈表現編〉待遇表現・フ	パピーチで自分を伝える	「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴を踏まえて話し、相手の理解が得られるように表現を工夫している。					
文章を読み比べる1 「法律の改正にかかわる	る文章を読み比べる	「読むこと」において、文章や図表に含まれる情報を相互に関連づけながら、内容や書き手の意図を解釈し、 自分の考えを深めている。					
要旨を把握する		読むこと」において、内容や構成、論理の展	開について叙述を基に的確に捉え、要点	京を把握している。			
「日本語は世界をこのよ	うに捉える」						
「ものとことば」							
聞いて整理する		話すこと・聞くこと」において、論理の展開を		里の展開を評価し、聞き			
「無彩の色」		反った情報を整理して自分の考えを広げたり	係めたりしている。				
文章構成を工夫する		書くこと」において、読み手の理解が得られる	るよう、文章の構成や展開を工夫している	0			
「『文化』としての科学」		ニモート 田ノート シート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	<i>4. 14</i> 0 - アルフトンマー・ロイ の アピナ マ 40 i	マシの中間とせきてい			
構成を工夫して話す		話すこと・聞くこと」において、自分の考えが ご、話の構成を工夫している。	的確に伝わるように、相手の反応を予想し	ノ (
「鏡」							
伝えたいことを明確にする		妻/こしにもいて 安払人の再ふど 笠切む	江晒火沖は、住はた桂却の立火炉の屋超	いみょっろっトュ ケーニュ と			
「手作りとプライバイシー	_]	書くこと」において、実社会の中から適切な記 いことを明確にしている。	品越を伏め、集めた情報の女当性や信頼	性を呼味して、伝えた			
「現代の『世論操作』」 論点を共有して話し合う		話すこと・聞くこと」において、論点を共有し、	老うを広めたり深めたり1 かがら 寿田々	○進行の仕方を工去〕で			
「フェアな競争」		いる。	、、、、、、ここ、ロ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	, 〜= , , - / エノ ()			
資料を読み比べる			「書かれているかを確かめ、文音全体:	を整えたり 読み手の			
		青くこと」において、日前や息図に応じて 助言を踏まえて、自分の文章の特長や課 書くこと」において、自分の考えが的確に とり工夫したりしている。 読むこと」において、文章に含まれる情報 平価しようとしている。	関を捉え直したりしている。 こ伝わるように、根拠の示しかたや説明	予表現の仕方を考え			

学科名 学年			教科	科目	単位数		
			国語	言語文化	3		
7, 7, 12 13	··· 教科書	<u></u>					
高等学校	三語文化	(第一学習社)	完全マスター古典文法(第一学習社)基礎古文(尚文出版) 基礎漢文(尚文出版)				
到達目標	能を身に付けた対する理解	けているとともに、我が国 <i>0</i> 解を深めている。	する力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う 力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたり している。	主体的に学習に 言葉を通して積極的に他 ものの見方、感じ方、考え 言葉がもつ価値への認識 もに、読書に親しむことで 国の言語文化の担い手と いる。	者や社会に関わったり、 方を深めたりしながら、 を深めようとしているとと 自己を向上させ、我が		
学習の評価	2 教材の内		支能」を評価する。 り返りシートなどで「思考・判断・表現」を評価する。 主体的に学習に取り組む態度」を評価する。				
. محرد	上記1の評価 習内容(単う	ffiに2・3を加味し、総合的		/工+H %件 \			
古文入門	省内谷(里)	兀• 垻日 <i>)</i>	学習到達目標(評 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展	11-1/2-1-7	こ的確に捉えている。		
「児のそら寝」 「絵仏師良秀」 歌物語 「伊勢物語」 言語活動			「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの「書くこと」において、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう。	関係を踏まえ、内容の解釈	そぞめている。		
折句を用いて短 随筆	豆歌を作る		「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、 ^ま	そう古な切う 内容な観乳	アルス		
随筆 「枕草子」			」。putu こと」であると、C、TFロロで4x4レ(と 'のもりリリカ、原し力、を 	ァん刀で1たん、ド1分で1件杯し	ノ ⟨ V		
漢文入門			「読むこと」において、我が国の言語文化に特徴的な語句の量: め、語感を磨き語彙を豊かにしている。	を増やし、それらの文化的	背景について理解を深		
漢文に親しむ 故事成語 「漁夫之利」 「狐借虎威」 「蛇足」			「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展 漢文を読むために必要な訓読のきまりや特有の表現などについ	いて理解を深めている。			
近現代の詩歌を読 近現代の詩歌	t		「読むこと」において、我が国の言語文化に特徴的な表現の技	法とその効果について理解	としている。		
古典と関わる小説	を読む		「読むこと」において、文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。				
副教材 日記			┃ 「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、ネ	ミネ方を捉え 内容を解釈]	ている.		
「土佐日記」 随筆			「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、孝		•		
「徒然草」 軍記物語			「読むこと」において、和漢混交文など歴史的な文体の変化に~	ついて理解を深めている。			
「平家物語」 史伝			 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展	関わどについて叙述をむと	に的確に捉うている		
「完璧」 「先従隗始」 「臥薪嘗胆」 漢詩 「唐詩の世界」			我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を	保について理解している。 か特色について評価している。	5 .		
漢詩のきまり 漢詩を作る			現したいことを明確にしている。				
思想「論語」			「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考	きえ方を捉え、内容を解釈し	ている。		
近現代の詩歌を読 短歌・俳句	:t		「読むこと」において、我が国の言語文化に特徴的な表現の技	法とその効果について理解	としている。		
古典と近代副教材			「読むこと」において、文章に表れているものの見方、感じ方、考	きえ方を捉え、内容を解釈し	ている。		
古典の詩歌 「万葉集」 「古今和歌集」 「新古今和歌集」	<u>.</u>		「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、*和歌の特徴的な表現の技法とその効果について理解している。		、ている。		
言語活動 古典の和歌を明	- <u>-</u>	置き換える	「書くこと」において、適切な題材を決め、内容を吟味して、表明 「書くこと」において、自分の思いが効果的に伝わるよう、文体、				
文章 「桃花源記」			「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの	関係を踏まえ、内容の解釈	そを深めている。		
伝統と文化「祭りの笛」			「書くこと」において、適切な題材を決め、内容を吟味して、表現したいことを明確にしている。 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。				
古典と近代 副教材			「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展	開などについて叙述をもと	に的確に捉えている。		

令和4年度	教育計画	画(シラバス)				
学科》		学年		教科	科目	単位数
普通科 理数科学科·人文	社会科学科	1		地歴公民	地理総合	2
	教科書			補具	助教材	
新地理総合•				理資料COMPLETE2022(帝		
到達目標	う。 ·地理的	認識を深めなが	ら、地理	代世界が抱える諸課題の解 的技能や地理的見方・考える る態度を身につける。		0組む態度を養
		知識•技能		思考·判断·表現	主体的に学習に	こ取り組む態度
評価の観点	地球的課題 や地理情報 資料から様	ち文化の多様性や、防	する。地図 、調査や諸	位置や分布、場所、人間と自然環相互依存関係、地域などに着目し念などを活用して多面的・多角的したり、説明したりする力を養う。	て、概よい社会の実現を礼	見野にそこで見ら こ追究、解決しよ
学習の評価	【思考·判	川断・表現】 定期を 授業や	き査で、史 P課題への	とはかる基本的な問いを設定し、 2資料や統計・地図等を用いた限 の取り組みなどから総合的に評价 ま業や考査、課題への取り組みな	引いを設定し、その結果から 晒する。	
学習	内容(単	元•項目)		学習到達目	標(評価規準)	
第1章 地図 1節 地球 2節 地図 第2章 結び 1節 現代 2節 グロー	上の位置の役割と利用で付きを深せ界の国	と時差 重類 める現代世界 家と領域	・位置や・国際社・位置や・交通や	役割や有用性を理解する。 分布などに着目して、地図やGI 会における国家の役割を理解する 分布に着目しながら、地域間の 通信が発達し、観光客が増えたるけるヒト・モノ・カネの動きはどの	ける。 さまざまな相互関係につい り貿易が拡大したりしたこと	て考える。
1 2 3 4 5 第 1 2 3 4 5 第 1 2 5 5 6 6 9 1 9 1 9 1 9 1 9 1 9 1 9 1 9 1 9 1	文化ののの的の的に環・問問・ とという は、 は、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、	様性と国際理解 人々の生活 人々の生活 人々の生活 人々の生活 人々の生活 人々の生活 ・国際協力 う地球的課題 ・一問題	る。 ・生活文 ・地球環 どの地球 欠である ・他地域	・人間と自然の関わりなどに着目化の多様性の背景や変化の理境問題、資源・エネルギー問題域的課題を理解するとともに、そのことを知る。 ことを知る。 ことの結び付きや地域の特徴など 今後どのような取り組みが必要を	由を考える。 、人口問題、食料問題、都の解決に向けては世界的な でに着目しながら、持続可能	市・居住問題な こ取り組みが不可
第1章 自然本 1節節第 3節第 4節 5節 5 5 5 6 7 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8	*環境と防 の自然環 ・津波と防 災害と防 災害との 5 5 6 8 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	境 5災 災 災	・自然災に着目し・他地域	環の特徴を正しく理解する。 害に備えた対策、課題の解決にて、災害に強い地域づくりにつ との結び付き、地域の成り立ち。 でし、社会参画の在り方について	いて考える。 や変化などに着目して、生	

学科	名	学年		 教科	科目	単位数
普 通 理 数 科 人文社会科	科学科	1		地理歴史	歴史総合	2
八人正五小	教科	<u> </u>			<u> </u> 	
	合 近代	 から現代へ 坂社)		解歴史総合図説シンフォニア最新りるさと富山(富山県教育委員会)	•	
		知識•技能		思考·判断·表現	主体的に学習に	こ取り組む態度
到達目標	を基礎に した世界 改めて日	で修得した日本史 して、近代・現代を 史の概要を理解す 本史を捉えられる 識を連携できるよう	:中心と る中で、 よう、修	授業等で修得した知識とそれらの 連携から、文化の多様性、複雑な多 国間関係を広い視野から考察し、 今まさに展開されている社会事象の 背景を理解し、重層的に判断できる ようになる。	と捉える態度を会 を図るべき課題を	みつけ、将来、民 会の一員として 平和を希求する」
学習の評価	【思考・半 る。	川断·表現】 定期者	香で、身	とはかる基本的な問を設定し、その結果 ではかる基本的な問を設定し、その結果 でのとりくみなどからは できるを表する。 ではないできる。 ではないできる。 ではないできる。 ではないできる。 ではないできる。	問を設定し、その終	
学習	内容(単	元•項目)		学習到達目標(割	呼価規準)	
・帝国主 ・世界分	正と日清章 義と列強(割と列強(争とその§	の展開の対立	•帝 •欧	清戦争が日本、清、挑戦の3国にもた 国主義政策が進められた理由 州列強がアジア、アフリカで展開した村 露戦争の起こった理由と日本の勝利な	直民地獲得競争の	·
・国際平・アジア・・大衆消・社会労・経済危世界	和と安全(アフリカの 費社会と「 働運動の	の民族運動 市民生活の変容 進展 次世界大戦 の影響	・第 ・3 ・第 ・ ・ ド ナ ・ 「 ナ	一次大戦が起きた理由と各国の社会。 一次大戦後の国際秩序の枠組みとそ ーロッパ各国の内政に起きた変化 一次大戦がアジア、アフリカ諸地域に 衆消費社会の内実と日本における展 て正デモクラシー」の背景と日本の政治 界恐慌に対する各国の政策と、それら アシズムが台頭した背景とそれらに対	れらの内容 与えた影響と変化 開 台や社会に与えた影	泛響
・日本の恐慌と満州事変・日中戦争・第二次世界大戦と太平洋戦争・戦後の国際秩序			・日 ・第 ・第 ・グ	本で政党政治が断絶した背景と国際 中戦争が国際社会に与えた影響と戦 二次大戦の背景と経過、戦後の国際 二次大戦から得た教訓と冷戦構造 ローバル化の意味するところと日本 この項目について、理解し表現するこ	争が長期化した背 社会に与えた影響	

第6章 幕藩体制の確立 第7章 幕藩体制の展開 ・産業経済の発達やそれに伴う都市の成長について理解できる。 第8章 幕藩体制の動揺 ・政治、経済面から幕政改革と文化の特徴をとらえる事ができる。

・戦国時代から、統一政権が成立し、さらに諸制度が整備され充実する過程について説

令和4年度 教育計画 (シ	Ξ	5	,
---------------	---	---	---

令和4年度		(シラバス			.		N. 11 NO.
学科	, .	学年	教科	L	科		単位数
普通科·理数科学科		<u>2</u>	地理歴5	疋 <u></u> 補助教材	地理	ŧВ	3•2
新編詳解地理Bd	教科 文訂版(二宮書店	吉)、新詳高等地図(帝国書院)	新詳地理資料COMPLETE(帝国 サクシード(啓隆社)、ウィニング	国書院)、データブック・オブ・		(二宮書店)	
到達目標	•自然地理学	の初歩的な知識や考え方を	事象として捉え、その展開から空 身につけ、それらを土台にしなれ 方を培う学習を通して、国際社会	がら世界の諸地域にみられ	いる地理的	事象に対す	る理解を深める。
	1	渇心・意欲・態度	②思考•判断•表現	③資料活用の技	能	4	印識•理解
評価の観点	る理由およびメスの事象と人間生	に様々な地理的事象がみられ カニズムに興味を抱き、それら 活とが相互に及ぼす影響や関 的に調べたり考えたりしようと	景観の成り立ちや有り様について、自然地理学的視点から大まかに説明することができる。また、自然環境や距離等の空間的諸条件と人間の経済活動との間にある相互作用について思考することができる。	地図や統計、画像など地域 諸資料から、空間的および 諸条件の影響を読み取り、 された数値が人間生活をど 規定しているのかを引き出っ きる。	社会的な 資料で示 のように か	ヽてどのような と理解し、その	が世界の諸地域にお 景観を生んでいるか 諸条件のもとで人間 活を送っているかをイ ができる。
	2 課題の提		、④「知識・理解」を評価する・テストで①「関心・意欲・態度		の活用で	③「技能」	を評価する。1の
	学習内容(単			学習到達目標(評価	· 規準)		
2節 地球体	報と地図 観の変化と地 義と世界地図 青報の地図化 地域調査 世界の系統5	図 -	・時代と共に変化してきた世界作の活動を通して、現代における・収集した資料から、有用な情報取ったり図表にまとめたりするこ・GPSやGISなど現代の地図の作・地形図の読図の技術を身につ・様々な地形の形成過程を理解とができる。・地形と人間生活との関連を多り	地図の使命と課題につい 報を適切に選択し、これを とができる。 士組みと有用性を理解し、 つける。 ない、それらの地形が見られ	て理解する基に、現代 その知識を れる特徴的	ることができ く世界の地区 を身につけ	る。 図について読み る。
第Ⅱ編 現代 1章 自然環 2節 気候 3節 自然と 4節 環境間	·境 生活	地理的考察	・気候要素と気候因子の意味をて説明することができる。 ・雨温図やハイサーグラフを適けができる。 ・気候と人間生活の関連を多方について、自然環境の観点から	切に読み取り、複数の図に 「面から考察し、世界の諸・	こおける差	異を気候因	子から説明すること
第Ⅱ編 現代 2章 資源と 1節 農林 2節 資源	産業	也理的考察	・世界の特徴的な農業地域の分また、アメリカ合衆国・オーストラすることができる。 ・資源の分布を空間的な諸条件理解し、どのような問題(資源・2	リア・インドなど国家規模 はに基づいて説明すること	の地域の <u></u> ができる。	き業につい またそれらの	て、多方面から考察 ウ偏在性について

### 3 地理歴史 日本史B 4・3 教科書	令和4年度	教育計画		ラバス)					
接動者	学和	斗名 一	学年	教科		科目	単位数		
# 20 日本史8(山)里園(社)	普通科・人文社会	科学科·理数科学科	3	地理歴史		日本史B	4.3		
到途日標 1 かが国の歴史の極限の本流れを理解させ、基本的な知識を身に付けさせる。 2 歴史事象の原因や育業、因果別域法とを参加的に追求に、歴史の良力・考え方を身に付けさせる。 3 かざせる。 3 かざせる。 ① 間心・意欲・極度		教科書			補助教材				
到達日福 2 歴史事象の原因や背法、因果阿弥太どを参而的に追求し、歴史の見か・考えかを存に行いさせる。 3 か活回の歴史の展開を、世界史的視野にやって総合的に考察させ、月国の文化と伝統の特色について認識を依めさせる。 3 か活回の歴史の展開を、世界史の提供といって設立を持足が高います。 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	詳説日	本史B(山川出	版社)	最新日本	本史図表・史料日本史	2・日本史用語集			
日本東に対する側形・関心を表 日本か生発上が1を減が、	到達目標	2 歴史事象の3 わが国の歴	原因や背景、	因果関係などを多面的に追求	さし、歴史の見方・考え	方を身に付けさせ			
新信の創点 が、連択して含欲 では合的に考察に、自用の文		①関心•意	爺欲•態度	②思考•判断•表現	③資料活用の技	技能 ④	知識•理解		
学習の評価 2 課題の提出状況及び確認テストで①「関心・意然・態度」を評価し、長業中の諸資料の活用で③「技能・表現」を評価する。1の評価に2を加味し、総合的に評価する。 学習内容(単元・項目) 第17節 近代の現代 第9章 近代国家の成立 ・国際社会に親み込まれるという国際環境の変化に着自して、開国から明治維新に至るまでの過程を社会・経済面での変化と関わらせて考察する。 ・明治新政府の制度収益や富国強兵・殖産興業政策に着自して、明治初期の政治的変革と国家的統一過程と考察する。 ・政府の強力な中央集権体制の中、自由民権運動の始まりから立憲国家の成立に至る間、近代国家の基態が形成されている過程を考察する。 ・所戦に主る国際関係や、日露戦争の経過、戦後の日本の国際的地位の変化と植民地支配の推進を諸外国の動向と関連付けて考察する。 ・伝統的な文化のうえに欧米文化を摂取するなど二元性を持って成立した近代文化の特色について、政治・経済・外交などの視点をもって考察する。 ・公統的な文化のうえに欧米文化を摂取するなど二元性を持って成立した近代文化の特色について、政治・経済・外交などの視点をもって考察する。 ・ツシントン体制に至る国際関係の政治の動向及び対外政策の推移について、政党政治の発展や日本の中国進出の状況を踏まえて、考費する。・ツシントン体制に全が構成的協調体制の進展など目際環境の推移を、日本の立場に着目して考察する。・労働者や都市中関層の拡大による大衆社会の基盤の成立に着目し、都市化や国民生活の変化を踏まえて、市民文化の特色について、等別する。・「東後の社外の方と解析を記ついて、国内・国外の経済状況と対策に着目して理解する。・「日本の対外政策の世界上のいて、世界情勢や軍部の政治的進出に着目して、政党内閣の開始を制度的主な、「中戦争の対策から太平洋戦争の変入にいたる過程について、国民生活の変化や諸統制に着目して全体主義的な国家体制の遺伝を表すする。・「東等の世界上の政策とそれに伴う諸改革について、を発展とそれに供う諸改革について、経済の国際化と国内の成立がよ安定していて、経済の国際化と国内の技術革新などの側面に着目して考察する。 ・「卵経時需による経済復興とその後の高度経済成長について、経済の国際化と国内の技術革動などの側面に着目して考察する。 ・「卵経時需による経済復興とその後の高度経済成長について、経済の国際化と国内の技術革動などの側面に着目して考察する。 ・「小と同かに対していて、経済の国際化と国内の技術革動などの側面に着目して考察する。 ・「小と同かに対していて、発音を表現する。」・「小と同かに対しないないで、と関係を表現する。」・「小と同かに対しないないで、と関係を表現する。」・「本のはいないないないないないないないないないないないないないないないないないないな	評価の観点	め、課題や疑問	に対して意欲	て総合的に考察し、自国の文 化と伝統の特色について認識 を深め、公正に判断し、その過 程や結果を適切に表現してい	有用な情報を選択して ることを通して、歴史的	活用す 把握し、基 な見方・けるとともに 背景を理解	本的知識を身に付 、それぞれの時代		
第17部 近代・現代 第9章 近代国家の成立 「国語社会に組み込まれるという国際課業の変化と関わらせて考察する。 ・明治新政府の制度改革や竜回独兵・殖産興業政策に着目して、明治初期の政治的変革と国家的統一過程を考察する。 ・政府の独力な中央集権体制の志向の中、自由民権運動の始まりから立憲国家の成立に至る間、近代国家の基盤が形成されていく過程を考察する。 ・開戦に至る国際関係や、日露戦争の経過、戦後の日本の国際的地位の変化と植民地支配の推進を著祭」国の動向と関連付けて考察する。 ・伝統的な文化のうえに欧米文化を摂取するなど二元性を持って成立した近代文化の特色について、政治・経済・外交などの視点をもつて考察する。 ・伝統的な文化のうえに欧米文化を摂取するなど二元性を持って成立した近代文化の特色について、政治・経済・外交などの視点をもつて考察する。 ・ワンントン体制に至る国際的協議体制の進展など国際環境の推移を、日本の立場に着目して新する。・労働者や都市中国の拡大による大衆社会の基盤の成立に着目し、都市化や国民生活の変化を除まて、市民文化の特色について考察する。・戦後影情から昭和恐慌に至る国内経済の動揺について、国内・国外の経済状況と対策に着目して経験する。・単後が提示と解和恐慌に至る国内経済の動揺について、国内・国外の経済状況と対策に着目して全体主義的な国家体制の進展と考察する。・日本の対外政策の推修について、世界情勢や軍部の政治的進出に着目して、政党内閣の前妻や国際的拡立の過程について、世界情勢や軍部の政治的進出に着目して、政党内閣の前妻や国際的拡立の過程について、国民生活の変化や諸総制に着目して全体主義的な国家体制の進展と考察する。・「東アジア情勢の変化を踏まえ、連合国による占領が終結し、日本が独立した意義を考察、第12章 高度成長の時代 ・独立後の日本国内政治について、衆議院を保守・革新の二大勢力が占める55年体制の成立から変圧した保守政権となるまでの経過を考察する。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	学習の評価	2 課題の提出	状況及び確認	⟨テストで①「関心・意欲・態度」	」を評価する。 」を評価し,授業中の詞	諸資料の活用で③	「技能・表現」を評		
第9章 近代国家の成立 までの過程を社会・経済面での変化と関わらせて考察する。 明治新政府の制度改革や富国強兵・殖産興業政策に着目して、明治初期の政治的変革と国家的統一過程を考察する。 ・政府の強力な中央集権体制の志向の中、自由民権運動の始まりから立憲国家の成立に至る間、近代国家の基盤が形成されていく過程を考察する。 ・開戦に至る国際関係や、日露戦争の経過、戦後の日本の国際的地位の変化と植民地支配の推進を諸外国の動向と関連付けて考察する。 ・伝統的な文化(のうえに欧米文化を摂取するなど二元性を持って成立した近代文化の特色について、政治・経済・外交などの視点をもって考察する。 ・労・大田界大戦前後の政治の動向及び対外政策の推移について、政党政治の発展や日本の中国進出の状況を踏まえて考察する。 ・プシントと権制に至る国際原的協調体制の造展など国際環境の推移を、日本の立場に着目して考察する。 ・労働者や都市中間層の拡大による大衆社会の基盤の成立に着目し、都市化や国民生活の変化を踏まえて、市民文化の特色について、国内・国外の経済状況と対策に着目して経験する。 ・日本の対外政策の推移について、世界情勢を重筋の政治的進出に着目して、政党内閣の崩壊や国際的孤立の過程について、世界情勢を軍筋の政治過程について、国内・国外の解説に着目して、政党内閣の崩壊での勤発について、国民生活の変化や結総制に着目して全体主義的な国家体制の進展を考察する。 ・日本の対外政策の推移について、世界情勢の変化を踏まえ、上版政策及び戦後の民主化政策とそれに伴う諸改革について、その経過と内容を考察する。 ・東アジア情勢の変化を踏まえ、連合国による占領が終結し、日本が独立した意義を考える。 ・東アジア情勢の変化を踏まえ、連合国による占領が終結し、日本が独立した意義を考える。 ・朝鮮特部による経済復興とその後の高度経済成長について、経済の国際化と国内の技術などの側面に着目して考察する。 ・・消除を制の終結とそれに関わる国内の状況について、経済の国際化と国内の技術を対し、予定、といて、経済の国際化と国内の技術を踏まえて、主要先進国首脳会議が関かれた意義を考察する。			[目]						
変革と国家的統一過程を考察する。 ・政府の強力な中央集権体制の志向の中、自由民権運動の始まりから立憲国家の成立に至る間、近代国家の基盤が形成されていて過程を考察する。 ・開戦に至る国際関係や、日露戦争の経過、戦後の日本の国際的地位の変化と植民地支配の推進を諸外国の動向と関連付けて考察する。 ・伝統的な文化の5えに欧米文化を摂取するなど二元性を持って成立した近代文化の特色について、政治・経済・外交などの視点をもって考察する。 ・ワシトン体制に至る国際的協調体制の進展など国際環境の推移を、日本の立場に着自して考察する。 ・プシントン体制に至る国際的協調体制の進展など国際環境の推移を、日本の立場に着自して事象する。 ・労働者や都市中間層の拡大による大衆社会の基盤の成立に着自し、都市化や国民生活の変化を踏まえて、市民文化の特色について、著祭する。 ・戦後取扱から昭和政能に至る国内経済の動精について、国内・国外の経済状況と対策に着目して理解する。 ・日中戦争の勃発から政和政能に至る国内経済の動精について、国内・国外の経済状況と対策に着目して理解する。 ・日中戦争の勃発から太平洋戦争の突入にいたる過程について、国民生活の変化や諸統制に発目して全体主義的な国家体制の進展を考察する。 ・戦後の世界秩序を踏まえ、占領政策及び戦後の民主化政策とそれに伴う諸改革について、その経過と内容を考察する。 ・戦後の世界秩序を踏まえ、連合国による占領が終結し、日本が独立した意義を考える。 ・東下ジア情勢の変化を踏まえ、連合国による占領が終結し、日本が独立した意義を考える。 ・強立後の日本国内政治について、衆議院を保守・革新の二大勢力が占める55年体制の成立から安定した保守政権となるまでの経過を考察する。 ・消鮮特需による経済復興とその後の高度経済成長について、経済の国際化と国内の技術事類などの側面に着目して考察する。 ・ドル=ショックや、石油危機を踏まえて、主要先進国首脳会議が関かれた意義を考察する。							ら明治維新に至る		
に至る間、近代国家の基盤が形成されていく過程を考察する。 ・開戦に至る国際関係や、日露戦争の経過、戦後の日本の国際的地位の変化と植民地支配の推進を諸外国の動向と関連付けて考察する。 ・伝統的な文化のうえに欧米文化を摂取するなど二元性を持って成立した近代文化の特色について、政治・経済・外交などの視点をもって考察する。 ・第一次世界大戦前後の政治の動向及び対外政策の推移について、政党政治の発展や日本の中国進出の状況を踏まえて考察する。 ・第10章 占領下の日本 ・第11章 占領下の日本 ・第11章 占領下の日本 ・第62者称中中間層の拡大による大衆社会の基盤の成立に着目し、都市化や国民生活の変化を踏まえて、市民文化の特色について、国内・国内・国内の経済状況と対策に着目して理解する。・日本の対外政策の推移について、国内・国内・国内・国内・国内・国内・国内・国内・国内・国内・国内・国内・国内・国						(策に着目して、明	治初期の政治的		
支配の推進を諸外国の動向と関連付けて考察する。 ・伝統的な文化のうえに欧米文化を摂取するなど二元性を持って成立した近代文化の特色について、政治・経済・外交などの視点をもって考察する。 ・第10章 二つの世界大戦とアジア ・第一次世界大戦前後の政治の動向及び対外政策の推移について、政党政治の発展や日本の中国進出の状況を踏まえて考察する。 ・ワシントン体制に至る国際的協調体制の進展など国際環境の推移を、日本の立場に着目して考察する。 ・労働者や都市中間層の拡大による大衆社会の基盤の成立に着目し、都市化や国民生活の変化を踏まえて、市民文化の特色について、国内・国外の経済状況と対策に着目して理解する。 ・日本の対外政策の推移について、世界情勢や軍部の政治的進出に着目して、政党内閣の崩壊や国際的孤立の過程について考察する。 ・日中戦争の勃発から太平洋戦争の突入にいたる過程について、国民生活の変化や諸統制に着目して全体主義的な国家体制の進展を考察する。 ・戦後の世界秩序を踏まえ、占領政策及び戦後の民主化政策とそれに伴う諸改革について、その経過と内容を考察する。 ・戦後の世界秩序を踏まえ、連合国による占領が終結し、日本が独立した意義を考える。 ・東アジア情勢の変化を踏まえ、連合国による占領が終結し、日本が独立した意義を考える。 ・独立後の日本国内政治について、衆議院を保守・革新の二大勢力が占める55年体制の成立から安定した保守政権となるまでの経過を考察する。 ・朝鮮特需による経済復興とその後の高度経済成長について、経済の国際化と国内の技術革新などの側面に着目して考察する。 ・小地ーショックや、石油危機を踏まえて、主要先進国首脳会議が開かれた意義を考察する。									
第10章 二つの世界大戦とアジア ・第一次世界大戦前後の政治の動向及び対外政策の推移について、政党政治の発展や日本の中国進出の状況を踏まえて考察する。 ・アシントン体制に至る国際的協調体制の進展など国際環境の推移を、日本の立場に着目して考察する。・労働者や都市中間層の拡大による大衆社会の基盤の成立に着目し、都市化や国民生活の変化を踏まえて、市民文化の特色について考察する。・戦後恐慌から昭和恐慌に至る国内経済の動揺について、国内・国外の経済状況と対策に着目して理解する。・日本の対外政策の推移について、世界情勢や軍部の政治的進出に着目して、政党内閣の崩壊や国際的孤立の過程について考察する。・日中戦争の勃発から太平洋戦争の突入にいたる過程について、国民生活の変化や諸統制に着目して全体主義的な国家体制の進展を考察する。・戦後の世界秩序を踏まえ、占領政策及び戦後の民主化政策とそれに伴う諸改革について、その経過と内容を考察する。・東アジア情勢の変化を踏まえ、連合国による占領が終結し、日本が独立した意義を考える。・東アジア情勢の変化を踏まえ、連合国による占領が終結し、日本が独立した意義を考える。・朝鮮特需による経済復興とその後の高度経済成長について、経済の国際化と国内の技術革新などの側面に着目して考察する。・・・ドルーショックや、石油危機を踏まえて、主要先進国首脳会議が開かれた意義を考察する。・・冷戦体制の終結とそれに関わる国内の状況について、日本の政治・外交・経済・生活				・開戦に至る国際関係や、日露戦争の経過、戦後の日本の国際的地位の変化と植民地 支配の推進を諸外国の動向と関連付けて考察する。					
※日本の中国進出の状況を踏まえて考察する。 ・ワシントン体制に至る国際的協調体制の進展など国際環境の推移を、日本の立場に着目して考察する。 ・労働者や都市中間層の拡大による大衆社会の基盤の成立に着目し、都市化や国民生活の変化を踏まえて、市民文化の特色について考察する。 ・戦後恐慌から昭和恐慌に至る国内経済の動揺について、国内・国外の経済状況と対策に着目して理解する。 ・日本の対外政策の推移について、世界情勢や軍部の政治的進出に着目して、政党内閣の崩壊や国際的孤立の過程について考察する。 ・日中戦争の勃発から太平洋戦争の突入にいたる過程について、国民生活の変化や諸統制に着目して全体主義的な国家体制の進展を考察する。 ・戦後の世界秩序を踏まえ、占領政策及び戦後の民主化政策とそれに伴う諸改革について、その経過と内容を考察する。 ・東アジア情勢の変化を踏まえ、連合国による占領が終結し、日本が独立した意義を考える。 ・東アジア情勢の変化を踏まえ、連合国による占領が終結し、日本が独立した意義を考える。 ・東アジア情勢の変化を踏まえ、連合国による占領が終結し、日本が独立した意義を考える。 ・東アジア情勢の変化を踏まえ、東合国による占領が終結し、日本が独立した意義を考える。 ・東アジア情勢の変化を踏まえ、東合国による指統を持たして、経済の国際化と国内の対策がある。 ・前鮮特需による経済復興とその後の高度経済成長について、経済の国際化と国内の技術革新などの側面に着目して考察する。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・							Zした近代文化の		
※日本の中国進出の状況を踏まえて考察する。 ・ワシントン体制に至る国際的協調体制の進展など国際環境の推移を、日本の立場に着目して考察する。 ・労働者や都市中間層の拡大による大衆社会の基盤の成立に着目し、都市化や国民生活の変化を踏まえて、市民文化の特色について考察する。 ・戦後恐慌から昭和恐慌に至る国内経済の動揺について、国内・国外の経済状況と対策に着目して理解する。 ・日本の対外政策の推移について、世界情勢や軍部の政治的進出に着目して、政党内閣の崩壊や国際的孤立の過程について考察する。 ・日中戦争の勃発から太平洋戦争の突入にいたる過程について、国民生活の変化や諸統制に着目して全体主義的な国家体制の進展を考察する。 ・戦後の世界秩序を踏まえ、占領政策及び戦後の民主化政策とそれに伴う諸改革について、その経過と内容を考察する。 ・東アジア情勢の変化を踏まえ、連合国による占領が終結し、日本が独立した意義を考える。 ・東アジア情勢の変化を踏まえ、連合国による占領が終結し、日本が独立した意義を考える。 ・東アジア情勢の変化を踏まえ、連合国による占領が終結し、日本が独立した意義を考える。 ・東アジア情勢の変化を踏まえ、東合国による占領が終結し、日本が独立した意義を考える。 ・東アジア情勢の変化を踏まえ、東合国による指統を持たして、経済の国際化と国内の対策がある。 ・前鮮特需による経済復興とその後の高度経済成長について、経済の国際化と国内の技術革新などの側面に着目して考察する。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	第10章 二つの	世界大戦とアジア	P	・第一次世界大戦前後の政済	台の動向及び対外政策	策の推移について	政党政治の発展		
・東アジア情勢の変化を踏まえ、連合国による占領が終結し、日本が独立した意義を考える。 第12章 高度成長の時代 ・独立後の日本国内政治について、衆議院を保守・革新の二大勢力が占める55年体制の成立から安定した保守政権となるまでの経過を考察する。 ・朝鮮特需による経済復興とその後の高度経済成長について、経済の国際化と国内の技術革新などの側面に着目して考察する。 ・ドル=ショックや、石油危機を踏まえて、主要先進国首脳会議が開かれた意義を考察する。 ・冷戦体制の終結とそれに関わる国内の状況について、日本の政治・外交・経済・生活				や日本の中国進出の状況をはでラシントン体制に至る国際的着目して考察する。・労働者や都市中間層の拡大生活の変化を踏まえて、市民・戦後恐慌から昭和恐慌に至策に着目して理解する。・日本の対外政策の推移に不閣の崩壊や国際的孤立の過・日中戦争の勃発から太平洋統制に着目して全体主義的対象を	踏まえて考察する。 力協調体制の進展など 大による大衆社会の基 文化の特色について る国内経済の動揺に ついて、世界情勢や軍 程について考察する。 戦争の突入にいたる は国家体制の進展を表	「国際環境の推移を 整の成立に着目し 考察する。 ついて、国内・国タ 部の政治的進出に 過程について、国 考察する。	と、日本の立場に 、都市化や国民 トの経済状況と対 に着目して、政党内 民生活の変化や諸		
の成立から安定した保守政権となるまでの経過を考察する。 ・朝鮮特需による経済復興とその後の高度経済成長について、経済の国際化と国内の技術革新などの側面に着目して考察する。 ・ドル=ショックや、石油危機を踏まえて、主要先進国首脳会議が開かれた意義を考察する。 ・冷戦体制の終結とそれに関わる国内の状況について、日本の政治・外交・経済・生活				・東アジア情勢の変化を踏ま		が終結し、日本が	独立した意義を考		
第13章 激動する世界と日本 技術革新などの側面に着目して考察する。 ・ドル=ショックや、石油危機を踏まえて、主要先進国首脳会議が開かれた意義を考察 する。 ・冷戦体制の終結とそれに関わる国内の状況について、日本の政治・外交・経済・生活	第12章 高度成	長の時代					が占める55年体制		
する。 ・冷戦体制の終結とそれに関わる国内の状況について、日本の政治・外交・経済・生活	第13章 激動す	る世界と日本				長について、経済の	の国際化と国内の		
					を踏まえて、主要先進	国首脳会議が開か	いれた意義を考察		
						いて、日本の政治・	外交•経済•生活		

令和4年度 教	-	(シラバン				
学科名 普通科·理数科学科·	+	学年 3	教科 地理歴史		科目 地理B	単位数 4·3
ョ 迪什・	人人任会科字科 教科書	ა	地理歷史		地ÆD	4.9
新編詳解地理B 改訂版		高等地図(帝国書院)	新詳地理資料2021(帝国書院)、2021データブック・オ		21サクシード(啓隆社)、ウィニング	コンパス 地理の整理と演習(とうほ
到達目標・	きる。 自然地理学お。	よび人文地理学の	音条件と人間生活の相互作用を読み の基礎的な見方・考え方を土台とし、 方・考え方を培う学習を通して、国	て、世界各地域の地	誌について理解する	ことができる。
評価の観点 対	代世界の地理 心と課題意識 欲的に追究す	を高め, それを るとともに, 国際 生きる日本人と	題を見いだし、それを系統地理 的、地誌的に考察するととも に、国際社会の変化を踏まえてし	青報を選択,活用する	ど地域に 現代世界 し,有用な の基本的 ることを通 理解し,そ 的事象を いる。	④知識・理解 の地理的事象についてな事柄や追究の方法を の知識を身に付けて
		犬況及び確認テス	現」,③「資料活用の技能」,④「知いで①「関心・意欲・態度」を評価し			平価する。1の評価に2
	内容(単元・項	[目]		学習到達目標(評		
第Ⅱ編 現代社			・現代世界の資源・エネルギーに関する。			た地域的特性や成立要
第2章 資源と 第2節 資源・ 第3節 工業 第4節 流通と	エネルギー		因を理解している, ・世界の工業の分布や動向に関すいて理解し、その知識を身に付け ・世界の交通・通信・貿易・商業・衛 概念を理解している。	ている。	,	
第3章 人口と	村落•都市		・地域における人口構成や推移を		の地理的思考力を身	 につけている。また、人
第1節 人口	. * 7 		口増加地域および減少地域の実施が表現すの公布などが			
第2節 村落・	(4)111		・世界の村落・都市の分布およびラ できる。			
第4章 生活文 第1節 衣食信			・世界の衣食住の分布や変容につの文脈の中で捉える視点や方法を		牛との相互関係およて	ドグローバリゼーション
第2節 言語			・世界の民族・宗教の分布につい		知識や概念を理解し	ている。
第3章 民族	上国家		・現代世界の民族・領土問題につ	いて、歴史、宗教、言	言語、資源などの観点	から多角的に考察する
			ことができる。 ・日本の領土問題について基礎釣	」・基本的な知識や概	既念を理解している。	
第Ⅲ編 現代世	界の地誌的考	察	┃・地域の概念や地域区分の意義, ┃・地域区分の学習を通して、現代†			
第1章 現代	社会の地域区	分			,	·
第2音 現代	社会の諸地域		・中国の歴史的背景や、経済発展 題を理解し、知識として身に付けて		業、人口、地域格差こ	ついて. その特色や課
第1節 中国			・韓国の歴史的背景や. 文化、工		済発展について、そ	の特色や課題を理解
第2節 韓国	3		し、知識として身に付けている。 ・東南アジアの歴史的背景や、民	族. 自然と資源. 農業	業. 工業化と経済成長	について、その特色や
			課題を理解し、知識として身に付け	ナている。		
第3節 東南	目アジア		■・インドの歴史釣背景や、文化・工 し、知識として身に付けている。	業や農村の変化、浴	経済発展について, そ	の特色や課題を埋解
第4節 イン	F		・西・中央アジアの歴史的背景や、		工業, 宗教と生活にて	いて、その特色や課
第5節 西ア	プジア・東アジア	7	題を理解し、知識として身に付けて ・アフリカの自然と農牧業、鉱工業		て、その特色や課題	を理解し、知識として身
第6節 アフ	リカ		に付けている。 ・ヨーロッパの歴史的背景や、自然	、農業、鉱工業、言	語と宗敦. 都市と交通	通について、その持色
第7節 EU			や課題を理解し、知識として身に作り ・ドイツとポーランドの歴史的背景。	付けている。		
	ツとポーランド		し、知識として身に付けている。 ・ロシアの歴史的背景や、産業・生			
			課題を理解し、知識として身に付け	ナている。		
第9節 ロシ			・アメリカの歴史釣背景や、自然、し、知識として身に付けている。			
第10節 アン	メリカ		・ブラジルの歴史的背景や、民族、 理解し、知識として身に付けている		引発と工業発展につV	って、その特色や課題を
第11節 ブ	ラジル		・オーストラリアとカナダの土地開発し、知識として身に付けている。	-	源や産業について、	その特色や課題を理解
第12節 オー	ーストラリアとカ	ナダ	し、7月以こして夕(二)(1)(1)(1)			
第3章 現代世 第1節 世	界と日本 界の中の日本		・自然災害や資源小国、人口減少色や諸課題について、個人や国、 ・日本がかかえる地理的な諸課題 するという過程を通し、課題解決へ	国際社会等からの多を探究する過程にお	多角的で客観的な視点 るいて、主体的に課題	点を身に付けている
第2節 持	続可能な社会	を目指して				
			Ī			

学和4年度 教育計画(ンプハス) 学科名 学年				 教科	科目	単位数
		, ,				
普通	科	1		数学	数学 I	2
	教科	<u>*</u>		補助教材	t	
高等学校	数学 I	(数研出版)		斗書傍用 4プロセス 数学I+A(数 文学I+A(数研出版)	女研出版)、チャー	ト式 基礎から
	データの	知識・技能 図形と計量,2次関 分析についての基 『理・法則を体系的	本的な	思考・判断・表現 数や式を目的に応じて適切に変形する力,図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力,事	主体的に学習は 数学のよさを認識 うとする態度, 粘り 論拠に基づいて半	強く考え数学的
到達目標	するととも 数学的に	っに,事象を数学化 二解釈したり,数学は したりする技能を身	したり, 的に表	象を的確に表現してその特徴を表, 式,グラフを相互に関連付けて考察	度, 問題解決の過	程を振り返って考 西・改善したりしよ
学習の評価	【思考·半	断・表現 それら	をはかる	なける基本的な問を設定し、その結果 初出の問を設定した定期考査及びそ 業中の取り組み方や、課題の提出状	の他のテストの結果	
学習 第1章 数と記		元•項目)		学習到達目標(評	严価規準)	
第1章 第1節 1 第1節 第3 第3 第3 第3 第3 第3 第3 第3 第3 第3 第3 第3 第3	計算 旧法と減る 乗法 3式の計算		多項式多項式自然数	の加法,減法の計算ができる。 に応じて適切な方法で展開することか に適した方法で因数分解ができる。 、整数、有理数、無理数を実数として 含む式の計算に習熟し、分母の有理	体系的に理解でき	పెం
6 不等式の 7 1次不等式 8 絶対値を 第2章 集合と	生質 え さむ方程:	式・不等式	•1次不等	について理解し、大小関係を不等式 等式とその連立不等式を解くことの意 を含んだ1次方程式や1次不等式を解	味を理解し、解を求	
1 集合 2 命題と条件 3 命題と証明 演習問題	‡ Ħ		論証の逆・裏・対偶を	表現方法や基本的性質を理解できる 基礎となる用語を理解しそれを使いこ 対偶の意味が理解できる。 利用した証明、背理法による証明をす な問題を解くことができる。	なすことができる。	
第3章 2次関第1節 2次関第1節 2次関数とグラ 2 2次関数の第2節 2次関数の4 2次関数の4 2次関数の第3節 2次方	数とグラ フ グラフ 数の値の 最大・最 決定	D変化 小	•2次関数 •2次関数	定義し、定義域、値域、グラフを理解で めのグラフを書くことができる。 めの最大と最小を求めることができる。 合わせて2次関数の方程式を求めるこ		
5 2次方程式 6 2次関数の 7 2次不等式 演習問題	え) グラフと <u>x</u>	x軸の位置関係	方程式・2次関数	呈式の解の公式を導き、解を求めるこ。 から2次関数のグラフとx軸の位置関係 数のグラフを利用して2次不等式を解ぐ な問題を解くことができる。	系を理解できる。	
第4章 図形 第1節 三角 1 三角比 2 三角比の 3 三角比の 第2節 三角	北 泪互関係 広張		•正接•〗	正接・正弦・余弦を定義を理解し、求と E弦・余弦との関係を理解できる。 定義を理解し、求めることができる。	めることができる。	
第2節 三角形への応用 4 正弦定理 5 余弦定理 6 正弦定理と余弦定理の応用 7 三角形の面積			・正弦定理が理解できる。・余弦定理が理解できる。・与えられた三角形の要素から残りの要素を求めることができる。・三角形の面積の求め方の理解を深め、それを活用して様々な図形の面積を求め			
8 空間図形/ 演習問題	への応用			できる。 形について、辺の長さや体積などの量 な問題を解くことができる。	遣 を三角比を用いて	て表すことができ
第5章 データ 1 データの 素			表すこと	を度数分布表に整理することができる ができる。		
2 データの付3 データの情		四分位数		や中央値,最頻値の定義や意味を理 範囲の定義やその意味を理解し、それ できる。		
4 分散と標準 5 2つの変量 6 仮説検定の 問題演習	この間の関	写 係	分散,核散布図仮説検	要準偏差の定義とその意味を理解し、 を作成し、2つの変量の間の相関を考 定の考え方を理解し,具体的な事象とな問題を解くことができる。	察することができる	00

学科/	名	学年		教科	科目	単位数			
理数科人文社会和		1		理数	理数数学 I	4			
	教科	_		補助教材					
高等学校 高等学校 高等学校	き 数学 A	(数研出版)	教科書傍月教科書傍月	用 4プロセス 数学I+A (数研出版)、チャートュ 用 4プロセス 数学Ⅱ+B (数研出版)、チャート	式基礎からの数学I+A(・式基礎からの数学Ⅱ+I	效研出版) 3(数研出版)			
		知識•技能		思考·判断·表現	主体的に学習は				
到達目標	次関数, 複素数に 数関数に 原理・法, 事に に解釈し	集合と命題,図形とデータの分析,式と データの分析,式と と方程式及び指数 こついての基本的な 則を体系的に理解 象を数学化したり, たり,数学的に表明 る技能を身に付ける	証明, 関数・対 概念や するとと 数学的 見・処理	する力,図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力,事象を的確に表現してその特徴を表,	数学のよさを認識いるとする態度、粘りがに基づいて判断度、問題解決の過察を深めたり、評価とする態度や創造	強く考え数学的論 しようとする態 程を振り返って考 f・改善したりしよう			
学習の評価	【思考・半	川断・表現】 それら	をはかる	はかる基本的な問を設定し、その結果 初出の問を設定した定期考査及びその 業中の取り組み方や、課題の提出状況	の他のテストの結果				
学習	内容(単	元•項目)		学習到達目標(評	在規準)				
第123第45第678第123第第123第第45第678第第123第第1三三升第123第第1三三升第123第第1233	第2節 実数 4 実数 5 根号を含む式の計算 6 不等式の性質 7 1次不等式 8 絶対値を含む方程式・不等式 8 絶対値を含む方程式・不等式 5 布題と条件 3 命題と証明 演習問題 9 で表した記明 演習問題 9 で表した記明 演習問題 9 で表した記明 変別の性質 第1節 平面図形 1 三角形の辺と比 2 三角形の列と比 2 三角形の外心・内心・重心 3 チェバの定理・メネラウスの定理 4 円に内接する四角形 9 自然数、整数、有理数、無理数を実数として体系的に理解できる。 ・ ・ 根号を含む式の計算に習熟し、分母の有理化ができる。 ・ ・ 不等式について理解し、大小関係を不等式で表すことができる。 ・ 1次不等式とその連立不等式を解くことの意味を理解し、解を求めることが・ ・ 絶対値を含んだ1次方程式や1次不等式を解くことができる。 ・ 第2章 集合と命題 1 集合 ・ 集合の表現方法や基本的性質を理解できる。 ・ 強証の基礎となる用語を理解しそれを使いこなすことができる。 ・ 逆・裏・対偶の意味が理解できる。 ・ ・ 対偶を利用した証明、背理法による証明をすることができる。 ・ ・ 発展的な問題を解くことができる。 ・ ・ 発展的な問題を解くことができる。 ・ ・ 手ェバの定理・メネラウスの定理を、三角形に現れる線分比や図形の面積・円に内接する四角形の性質を利用し角度を求めたり、図形の性質を証明できる。								
7 作図 第2節 空間 8 直線と平平 9 区間 第1節 三角 1 三角 1 三角 2 三角 3 第2節 3 第2節 4 正 4 正 7 第2 8 2 9 2 9 2 9 2 9 3 9 3 9 3 9 3 9 4 9 3 9 3 9 4 9 4 9 4 9 4 9 4 9 4 9 4 9 4 9 4 9 4	T 上多面体 土 土 工 工 関係 広張	用	・空正多展・鋭接角・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・外分点やいろいろな長さの線分が作おける直線や平面が平行または垂直と体の特徴を理解し、それに基づいて面な問題を解くことができる。 正接・正弦・余弦を定義を理解し、求め 三弦・余弦との関係を理解できる。 定義を理解し、求めることができる。	となるかどうかを与え 1, 頂点, 辺の数を3				
5 余弦定理 6 正弦定理 7 三角形の 8 空間図形 演習問題	面積	里の応用	・与えられ・三角形ることが・空間図	理が理解できる。 れた三角形の要素から残りの要素を求 の面積の求め方の理解を深め、それを できる。 形について、辺の長さや体積などの量 な問題を解くことができる。	と活用して様々な図				

第5章 データの分析	
	・データを度数分布表に整理することができる。また、度数分布表をヒストグラムで表
1 データの整理	・アークを反数力和表に歪座することができる。よた、反数力和表をピストグラムで表すことができる。
2 データの代表値	・平均値や中央値,最頻値の定義や意味を理解し、それらを求めることができる。
3 データの散らばりと四分位数	・四分位範囲の定義やその意味を理解し、それを求め、データの散らばりを比較す
3 プーダの飲らはりと四分位数	ることができる。
4 分散と標準偏差	・分散,標準偏差の定義とその意味を理解し、分散,標準偏差を求めることができる。
5 2つの変量の間の関係	・散布図を作成し、2つの変量の間の相関を考察することができる。
6 仮説検定の考え方	・仮説検定の考え方を理解し,具体的な事象に当てはめて考えることができる。 ・発展的な問題を解くことができる。
問題演習 第5章 指数関数と対数関数	・
第1節 指数関数	
1 指数の拡張	・指数の拡張について理解し、指数法則を使って計算ができる。
2 指数関数	・指数関数のグラフをかくことができる。また、指数方程式や不等式を解くことができる
第2節 対数関数	THE WORLD AND THE COURSE OF THE STATE OF THE
3 対数とその性質	・対数の定義や法則を理解し、対数の値や計算ができる。
4 対数関数	・対数関数のグラフをかくことができる。また、対数方程式や不等式を解くことができ
5 常用対数	・常用対数を利用して、桁数の問題や小数首位問題などを解くことができる。
演習問題	・発展的な問題を解くことができる。
第4章 三角関数	
第1節 三角関数	
1 角の拡張	・角の概念を拡張した一般角が理解できる。
2 三角関数	・一般角を用いた三角関数の定義が理解できる。
3 三角関数のグラフ	・三角関数のグラフの周期性や対称性を理解し、グラフを書くことができる。
4 三角関数の性質	・三角関数の相互関係を利用して問題を解くことができる。
5 三角関数の応用	・簡単な三角方程式・三角不等式を解くことができる。
第2節 加法定理	
6 加法定理	・加法定理を用いて三角関数の値を計算することができる。
7 加法定理の応用	・三角関数の合成を用いて、関数の最大値や最小値を求めることができる。
演習問題	・発展的な問題を解くことができる。
第1章 式と証明 第1節 式と計算	
新工則 - 八と司 异	・3次式の因数分解ができる。
2 二項定理	・二項定理について習熟し、これを利用することができる。
3 多項式の割り算	・多項式の割り算により、商と余りを計算できる。
4 分数式とその計算	・分数式の四則計算ができる。
5 恒等式	・恒等式について習熟し、これを利用することができる。
第2節 等式・不等式の証明	
6 等式の証明	・等式の証明法について習熟し、代数的に証明することができる。
7 不等式の証明	・不等式の証明法について習熟し、代数的に証明することができる。
演習問題	・発展的な問題を解くことができる。
第2章 複素数と方程式	
第1節 複素数と2次方程式の解	
1 複素数とその計算	・複素数の四則計算ができる。
2 2次方程式の解	・2次方程式の解が実数解になるか虚数解になるかを、判別式を用いて判断できる。
3 解と係数の関係	・解と係数の関係を導き、これを利用することができる。
第2節高次方程式	
4 剰余の定理と因数定理	・剰余の定理を利用して、多項式を1次式や2次式で割ったときの余りを求め
5 高次方程式	・因数分解や因数定理を利用して、高次方程式を解くことができる。
演習問題	・発展的な問題を解くことができる。

学科	名	学年		教科	科目	単位数			
理 数 科人文社会和		1		理数	理数数学 I	5			
	教科			補助教材					
高等学校		(数研出版) (数研出版) (数研出版)		用 4プロセス 数学I+A (数研出版)、チャートュ 用 4プロセス 数学Ⅱ+B (数研出版)、チャート					
		知識•技能		思考•判断•表現		こ取り組む態度			
到達目標	次関数,複素数に数 原理・法 事業 に解釈し	集合と命題,図形とデータの分析,式と データの分析,式と と方程式及び指数 こついての基本的な 則を体系的に理解 象を数学化したり, たり,数学的に表明 る技能を身に付ける	と証明, 関数・対 機念とと するとと 数学的 見・処理	する力,図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力,事象を的確に表現してその特徴を表,式,グラフを相互に関連付けて考察	度, 問題解決の過	強く考え数学的論 行しようとする態 程を振り返って考 ・・改善したりしよう			
学習の評価	【思考·半	断・表現】 それら	をはかる	はかる基本的な問を設定し、その結果 初出の問を設定した定期考査及びその 業中の取り組み方や、課題の提出状況	の他のテストの結果				
学習	内容(単	元•項目)		学習到達目標(評	在規準)				
第123第245第6 7 8 2 3 第2 3 第2 5 第 6 7 8 2 8 2 8 3 第 2 8 3 第 2 8 3 第 2 8 3 第 2 8 3 第 2 8 9 8 9 8 9 8 9 8 9 8 9 8 9 8 9 8 9 8	# 2節 実数 4 実数								
2 二 3 二 4 円 5 円 5 円 6 2 円 6 2 作 5 直 6 2 作 5 直 6 2 作 5 直 8 直 8 直 8 直 8 直 8 直 8 直 8 直 8	E理・メネラナる四角形図形 図形の面と多面体	ラウスの定理	チェバの・円に内・円の接・2つのP・内分点・空間に	の外心, 内心, 重心の定義, 性質を理 の定理, メネラウスの定理を、三角形に 接する四角形の性質を利用し角度を対 線と弧の作る角の性質や方べきの定理 の位置関係を、動的な面から観察す。 ・外分点やいろいろな長さの線分が作 おける直線や平面が平行または垂直と 体の特徴を理解し、それに基づいて面 な問題を解くことができる。	現れる線分比や図 戻めたり、図形の性 理を利用して、辺の ることができる。 図できる。 こなるかどうかを与え	質を証明すること 長さや角の大きさ えられた条件から			
1 三角 1 三角角比の 3 三角角 三角 3 三角 三角 4 正弦定理 5 余正 全間 8 変習問題	相互関係 拡張 形への応 と余弦定理		・正ム・正ム・正余・子三・三・空間・空間	正接・正弦・余弦を定義を理解し、求め E弦・余弦との関係を理解できる。 定義を理解し、求めることができる。 理が理解できる。 理が理解できる。 れた三角形の要素から残りの要素を求 の面積の求め方の理解を深め、それを できる。 形について、辺の長さや体積などの量 な問題を解くことができる。	めることができる。 と活用して様々な図				

第5章 データの分析	
	・データを度数分布表に整理することができる。また、度数分布表をヒストグラムで表
1 データの整理	すことができる。
2 データの代表値	・平均値や中央値、最頻値の定義や意味を理解し、それらを求めることができる。
3 データの散らばりと四分位数	・四分位範囲の定義やその意味を理解し、それを求め、データの散らばりを比較することができる。
4 分散と標準偏差	・分散,標準偏差の定義とその意味を理解し、分散,標準偏差を求めることができる。
5 2つの変量の間の関係 6 仮説検定の考え方	・散布図を作成し、2つの変量の間の相関を考察することができる。 ・仮説検定の考え方を理解し,具体的な事象に当てはめて考えることができる。
問題演習	・仮説快足の考え力を理解し、具体的な事象に当てはめて考えることができる。 ・発展的な問題を解くことができる。
第5章 指数関数と対数関数	ALIXA MANAGAN (CCM CCM)
第1節 指数関数	
1 指数の拡張	・指数の拡張について理解し、指数法則を使って計算ができる。
2 指数関数	・指数関数のグラフをかくことができる。また、指数方程式や不等式を解くことができる
第2節 対数関数	
3 対数とその性質	・対数の定義や法則を理解し、対数の値や計算ができる。
4 対数関数	・対数関数のグラフをかくことができる。また、対数方程式や不等式を解くことができ
5 常用対数	・常用対数を利用して、桁数の問題や小数首位問題などを解くことができる。
演習問題	・発展的な問題を解くことができる。
第4章 三角関数	7-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-
第1節 三角関数	
1 角の拡張	・角の概念を拡張した一般角が理解できる。
2 三角関数	・一般角を用いた三角関数の定義が理解できる。
3 三角関数のグラフ	・三角関数のグラフの周期性や対称性を理解し、グラフを書くことができる。
4 三角関数の性質	・三角関数の相互関係を利用して問題を解くことができる。
5 三角関数の応用	・簡単な三角方程式・三角不等式を解くことができる。
第2節 加法定理	144 1 00 m/ 1/20 m/ 1 1/20 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 0
6 加法定理	・加法定理を用いて三角関数の値を計算することができる。
7 加法定理の応用	・三角関数の合成を用いて、関数の最大値や最小値を求めることができる。
演習問題	発展的な問題を解くことができる。
第1章 式と証明	ALM A MANAGAT (CCM CCM)
第1節 式と計算	
1 3次式の展開と因数分解	・3次式の因数分解ができる。
2 二項定理	二項定理について習熟し、これを利用することができる。
3 多項式の割り算	・多項式の割り算により、商と余りを計算できる。
4 分数式とその計算	・分数式の四則計算ができる。
5 恒等式	・恒等式について習熟し、これを利用することができる。
第2節 等式・不等式の証明	THE ALMON CHARLAND ACCUACO.
6 等式の証明	・等式の証明法について習熟し、代数的に証明することができる。
7 不等式の証明	・不等式の証明法について習熟し、代数的に証明することができる。
演習問題	・発展的な問題を解くことができる。
第2章 複素数と方程式	プロダセンタ1日162月147月17日17日18日11日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日
第1節 複素数と2次方程式の解	
1 複素数とその計算	・複素数の四則計算ができる。
2 2次方程式の解	・2次方程式の解が実数解になるか虚数解になるかを、判別式を用いて判断できる。
3 解と係数の関係	・ 解と係数の関係を導き、これを利用することができる。
第2節高次方程式	/ササに/ハータメ゙ーノ 対 /ドで テーテ 、 〜4 レ'とヤリ/ℿ サ '┛〜こ/ト* くさる。
第2即高次万怪式 4 剰余の定理と因数定理	・剰余の定理を利用して,多項式を1次式や2次式で割ったときの余りを求め
5 高次方程式	・
	・ 囚級分解や囚殺定理を利用して、高次方程式を解くことができる。・ 発展的な問題を解くことができる。
演習問題	- 元成りより限と呼へしていてはる。

市和4年度	令和4年度 教育計画(シフハス)						
学科	名	学年		教科	科目	単位数	
普通	科	1		理科	物理基礎	2	
	教科	<u> </u>		補助教材	İ		
親	「編 物理 (数研出			果程 新編 物理基礎 準拠 サポ 程 フォローアップドリル 物理基礎 運動			
		知識•技能		思考•判断•表現	主体的に学習に	こ取り組む態度	
到達目標	がら、物で ギーにつ 理・法則 に、科学 観察、実	5や社会との関連を体の運動と様々なる。 いての基本的な概などを理解している。 的に探究するたに、験などに関する基などの基本的な技能なる。	エネル 社念や原 らととも 必要な 本操作	物理的な事物・現象から問題を見いだし, 見通しをもって観察, 実験などを行い, 得られた結果を分析して解釈し, 表現するなど, 科学的に探究している。	わり, 見通しをもっ するなど, 科学的/	たり振り返ったり	
【知識・技能】定期考査で、それらをはかる基本的な問を設定し、その結果から評価する。 学習の評価 【思考・判断・表現】 定期考査で、初出の問を設定し、その結果から評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業や考査、課題でのとりくみなどから総合的に評価する。							
学習	内容(単	元•項目)		学習到達目標(評			
・運動の ・運動の ・仕事とフ ・熱とエン ・独の性 ・音	表し方 法則 力学的エン		・物物物運物祭頭では、	字質判達日標(計 理現象について、物理量の測定と表し方、分析動の表し方について、直線運動を中心に理解す 線運動する場合の加速度を理解すること 々な力が働くことを理解すること く力のつり合いを理解すること 法則を理解すること 答下する際の運動の特徴及び物体に働く力と運 強などに関する技能を身に付けること ルギーと位置エネルギーについて、仕事と関連 ネルギー保存の法則を仕事と関連付け区理解・動とエネルギーについて、運動の表し方、様々力学的エネルギーについて、運動の表し方、様々力学的エネルギーにおける規則性や関係性を見 強などに関する技能を身に付けること について、原子や分子の熱運動の観点から理 及び熱と仕事の変換について理解すること 強などに関する技能を身に付けること について、直線状に伝わる場合を中心に理解す 鳴と音源の振動数を関連付けて理解すること 、音波の性質を理解すること 強などに関する技能を身に付けること	の手法を理解すること すること 動との関係について理 付けて理解すること すること な力と 見いだして表現すること 解すること		
・物質と配	电気抵抗			からなる導体でも長さや断面積によって電気抵抗って抵抗率が異なることを理解すること	四い共なることを見いたし	ンに理解すること	
・磁場と2 ・エネル	交流 ギーの利)	用	・発電, i ・観察, i ・人類が利 などについ	実験などに関する技能を身に付けるこ 送電及び電気の利用について, 基本的 実験などに関する技能を身に付けるこ 用可能な水力, 化石燃料, 原子力, 太陽光なと いて, 物理学的な観点から理解すること	的な仕組みを理解で と で源とするエネルギーの)特性や利用	
			・日常生活や社会を支えている科学技術と結び付いていることを理解すること ・様々な物理現象とエネルギーの利用について、観察、実験などを通して探究し、波、熱、電気、 エネルギーとその利用における規則性や関係性を見いだして表現すること				

学科		学年		 教科		科目	単位数		
普 通	科	-1		TIII :fN		/ ↓ ŀ/₂ 甘ˆ τ₩	0		
		1		理 科		生物基礎	2		
	教科	書			補助教材	L.			
高等	等校 组 (数研出	上物基礎 版)	新記	新課程版 スクエア 最新図説生物 (第一学習社)					
到達目標	原理・法物の持つ 察や実験 適切な方 命現象を	知識・技能 三命活動の基本的利 則が理解できる。ま り歴史性が理解できる。ま りをとの直接体験を う法で多種多様など できることができまりなどの結果を シェールボーキャ	た、生きる。観で、生物で生きる。ま	思考・判断生物や生命現象の普原則に基づきながら、示しているかを考えるまた、生物や生命現象働きを総合的に見たりに考え、説明すること	遍的な原理・ なぜ多様性を ことができる。 象の仕組みや)、相互関連的	主体的に学習に 自然現象に対して め、疑問点を見い 取り組もうとする。る 様々な事象を科学 する。	興味・関心を高 だそうと意欲的に また、自然界の		
	主に、課		験レポー	判断・表現を評価する ト、授業中の発言等で 価する。		引に取り組む態度を	評価する。		
 学習	内容(単	元•項目)		学習	習到達目標(評	延価規準)			
第1編 生物の第 第1 生物の第 第2 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第	の特徴と共 特性と共 だ合みのに をととして、 をのので、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは	謝 はたらき と配分 境の維持 境の維持 境の維持 達と調節	機能のできる。 ・遺伝情・ ・DNAができる。 ・体内環・	報を担う物質としてのI 「複製され分配されるこ	ついての共通かの DNAの特徴になる とにより、遺伝が を理解することが とないモンがかっ	生と多様性の視点をついて理解すること 情報が伝えられるこ	を身に付けることが ができる。 とを理解することができ		
第3編生物の 第4章 生物の 第1節植生と 第2節植生の 第3節生態系 第4節生態系	の多様性。 遷移 分布とバ と生物の	と生態系 イオーム 多様性	できる。 ・気温と できる。 ・生態系 できる。	&水量の違いによって では,物質が循環する	様々なバイオー とともにエネル:	・ムが成立している。	ことを理解すること		

知識・技能 日常生活や社会との関連を図りながら、物理の運動と様々なエネルギーだし、についての基本的な概念や原理・法を行りまなどを理解しているとともに、科学的に探究するたに必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けているとともに、科学のの基本的な技能を身に付けているとともに、科学のの基本的な技能を身に付けているとともに、科学のの基本的な技能を身に付けているとともに、科学のの基本のな技能を身に付けているとともに、科学のを選挙などの基本的な技能を身に付けているともに、科学のを基本を行り、表現のを重要などの基本的な技能を身に行けている。 「理動の表し方・運動の表し方・身近な物理現象・物体の運動の表し方・物体に様々な力・物体に様々な力・物体に像く力の・運動の三法則を・物体が落下す・視察、実験など、・独と上ネルギー・力学的エネルギー・力学的エネルギー・力学のエネルギー・力学のエネルギー・カ学のエネルギー・カ学のエネルギー・熱のの運動とエその働き、力学的・観察、実験など、・熱とエネルギー・熱の移動及び熱・観察、実験など、・熱ととエネルギー・熱の移動及び熱・観察、実験など、・熱ととエネルギー・熱の移動及び熱・観察、実験など、・熱ととないぞに表している。	表現するなど、科学的に探究 る。 る。 る基本的な問を設定し、その結果から評価する。 引を設定し、その結果から評価する。 き査、課題でのとりくみなどから総合的に評価する。
新編 物理基礎 (数研出版) 新課程 新課程 7 知識・技能 日常生活や社会との関連を図りなが 物理 5 次、物体の運動と様々なエネルギー についての基本的な概念や原理・法 別などを理解しているとともに、科学 的に探究するたに必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けてい 2 【知識・技能】定期考査で、それらをはかる【思考・判断・表現】定期考査で、初出の「【主体的に学習に取り組む態度】授業や記事の不(単元・項目) ・運動の表し方 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	新編 物理基礎 準拠 サポートノート(数研出版) まローアップドリル 物理基礎 運動の表し方・力・運動方程式(数研出版) 思考・判断・表現
知識・技能 日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについての基本的な概念や原理・法釈し、していいに変を理解しているとともに、科学的に探究するたに必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けているとともに、対して収集をでの基本的な技能を身に付けているとともに、対して収集をである。 「主体的に学習に取り組む態度」授業や活し、事近な物理現象・物体の運動の表し方・運動の表し方・強体の運動の表も物体が直線運動・物体に働く力の・運動の三法則を・物体が落下す・観察、実験など、・強素、実験など、・熱とエネルギー・カ学的エネルギー・カ学的エネルギー・カ学のエネルギー・カ学のエネルギー・カ学のエネルギー・カ学のエネルギー・カ学のエネルギー・カ学の変動をよるの働き、カ学的・観察、実験など、・熱とエネルギー・熱の移動及び熱・観察、実験など、・熱とエネルギー・熱の移動及び熱・観察、実験など、・熱とエネルギー・熱の移動及び熱・観察、実験など、・熱とエネルギー・熱の移動及び熱・観察、実験など、・熱とエネルギー・熱の移動及び熱・観察、実験など、・熱とエネルギー・熱の移動及び熱・観察、実験など、・熱とエネルギー・熱の移動及び熱・観察、実験など、・熱とエネルギー・熱の移動及び熱・観察、実験など、・熱と温度についた。	思考・判断・表現
国達目標 目常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するたに必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けているとはかる【思考・判断・表現】定期考査で、それらをはかる【思考・判断・表現】定期考査で、それらをはかる【主体的に学習に取り組む態度】授業や記事の表し方 ・運動の表し方 ・身近な物理現象・物体が直線運動の表し方 ・物体に働く力の・運動の法則・物体に働く力の・運動の三法則を・物体が落下すさ、観察、実験など・独外とエネルギー・力学的エネルギー・カ学的エネルギー・物体の運動とエミその働き、力学的・観察、実験など・熱と温度につい、熱の移動及び熱・観察、実験など・熱祭、実験など・熱を引入していた。	的な事物・現象から問題を見い 見通しをもって観察、実験など い、得られた結果を分析して解 表現するなど、科学的に探究 いる。 る基本的な問を設定し、その結果から評価する。 問を設定し、その結果から評価する。 き査、課題でのとりくみなどから総合的に評価する。
国達目標 目常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するたに必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けているとはかる【思考・判断・表現】定期考査で、それらをはかる【思考・判断・表現】定期考査で、それらをはかる【主体的に学習に取り組む態度】授業や記事の表し方 ・運動の表し方 ・身近な物理現象・物体が直線運動の表し方 ・物体に働く力の・運動の法則・物体に働く力の・運動の三法則を・物体が落下すさ、観察、実験など・独外とエネルギー・力学的エネルギー・カ学的エネルギー・物体の運動とエミその働き、力学的・観察、実験など・熱と温度につい、熱の移動及び熱・観察、実験など・熱祭、実験など・熱を引入していた。	的な事物・現象から問題を見い 見通しをもって観察、実験など い、得られた結果を分析して解 表現するなど、科学的に探究 いる。 る基本的な問を設定し、その結果から評価する。 問を設定し、その結果から評価する。 き査、課題でのとりくみなどから総合的に評価する。
学習の評価 【思考・判断・表現】定期考査で、初出の『 【主体的に学習に取り組む態度】授業や記 学習内容(単元・項目) ・運動の表し方 ・運動の法則 ・運動の法則 ・物体に様々な力・物体に働く力の・運動の三法則を・物体が落下すさい。 ・	問を設定し、その結果から評価する。 考査、課題でのとりくみなどから総合的に評価する。
・運動の表し方 ・導動の表し方 ・導動の表し方 ・運動の法則 ・運動の法則 ・物体に様々な力・物体に働く力の・運動の三法則を・物体が落下すさい。 ・観察,実験などの・観察,実験などの・対学的エネルギー・力学的エネルギー・力学的エネルギー・力学的エネルギー・カ学的エネルギー・カ学的エネルギー・ ・物体の運動とエネアの働き,力学的・ ・観察,実験などの・ 熱と温度についき熱の移動及び熱・観察,実験などの・ 観察,実験などの・ 熱と温度についき熱の移動及び熱・観察,実験などの・ 観察,実験などの ・熱と温度についき、	学习和美日钟(亚年11)(14)
・物体の運動の表・物体が直線運動・物体に様々な力・物体に様々な力・物体に働く力の・運動の三法則を・物体が落下すさい。 一般 をが落下する で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	学習到達目標(評価規準)
ナ	について、物理量の測定と表し方、分析の手法を理解すること し方について、直線運動を中心に理解すること する場合の加速度を理解すること が働くことを理解すること つり合いを理解すること 理解すること 5際の運動の特徴及び物体に働く力と運動との関係について理解すること と関する技能を身に付けること と位置エネルギーについて、仕事と関連付けて理解すること 一保存の法則を仕事と関連付け「①理解すること ネルギーについて、運動の表し方、様々な力と エネルギーにおける規則性や関係性を見いだして表現すること に関する技能を身に付けること いて、原子や分子の熱運動の観点から理解すること と仕事の変換について理解すること とは事の変換について理解すること に関する技能を身に付けること
・弦の振動,音波(・観察,実験など)	て、直線状に伝わる場合を中心に理解すること
・物質によって抵抗・観察、実験な	て、直線状に伝わる場合を中心に理解すること 原の振動数を関連付けて理解すること り性質を理解すること に関する技能を身に付けること
	て、直線状に伝わる場合を中心に理解すること 原の振動数を関連付けて理解すること の性質を理解すること に関する技能を身に付けること 導体でも長さや断面積によって電気抵抗が異なることを見いだして理解すること 立率が異なることを理解すること どに関する技能を身に付けること
・エネルギーの利用 ・人類が利用可能 などについて、物:	て、直線状に伝わる場合を中心に理解すること 原の振動数を関連付けて理解すること D性質を理解すること 上関する技能を身に付けること 導体でも長さや断面積によって電気抵抗が異なることを見いだして理解すること 航率が異なることを理解すること どに関する技能を身に付けること び電気の利用について、基本的な仕組みを理解すること
・日常生活や社会・様々な物理現象エネルギーとその	て、直線状に伝わる場合を中心に理解すること 原の振動数を関連付けて理解すること D性質を理解すること ご関する技能を身に付けること D準体でも長さや断面積によって電気抵抗が異なることを見いだして理解すること 立率が異なることを理解すること どに関する技能を身に付けること び電気の利用について、基本的な仕組みを理解すること に関する技能を身に付けること な水力、化石燃料、原子力、太陽光などを源とするエネルギーの特性や利用 理学的な観点から理解すること

学科名	各	学年		教科	科目	単位数		
探究科	学 科	1		理 数	理数生物	2		
	教科	<u> </u>		補助教				
高等	学校 组 (数研出	上物基礎 I版)	新記	新課程版 スクエア 最新図説生物 (第一学習社)				
到達目標	原理・法で 察適のおり のや実動の の現象を がして を に に に に に に に に に に に に に に に に に に	則が理解できる。ま D歴史性が理解でき 検などの直接体験を 方法で多種多様な生 ・実験などの結果を うることができる。 明考査で、知識・技術	できる。観 示しているかを考えることができる。 する。また、自然界の様々な事象を科 を通して、 また、生物や生命現象の仕組みや 的に考察しようとする。 に生物や生 働きを総合的に見たり、相互関連的 に考え、説明することができる。					
	上記に重	きを置きながら総合		価する。		評価する。 		
学習 第1編 生物の		元•項目)	・生 畑 し	学習到達目標 遺伝子について観察, 実験などを通し		動き及びDNAの樺洋し		
第1章 生物の 第1節 生物 第2節エネル・ 第3節呼吸と 第2章 遺伝- 第1節遺伝情 第2節遺伝情 第3節遺伝情	の特徴 が	謝 はたらき と配分 境の維持 境の維持 境の維持 達と調節	機 で ・ 遺 N A が ・ 体 体 疫 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	概要を理解し、生物についての共通の報を担う物質としてのDNAの特徴にが複製され分配されることにより、遺伝が保たれていることを理解することがの維持に自律神経とホルモンがかってもいてもいたかかわる細胞の働きについても	性と多様性の視点を ついて理解すること 情報が伝えられるこ ができる。 かわっていることをも 理解することができる	を身に付けることが ができる。 とを理解することが 里解することができる。 う。		
第3編生物の 第4章 生物の 第1節植生とは 第2節植生の 第3節生態系 第4節生態系	の多様性 遷移 分布とバ と生物の	と生態系 イオーム 多様性	できる。 ・気温とい できる。 ・生態系 できる。	降水量の違いによって様々なバイオー 。 では,物質が循環するとともにエネル	-ムが成立しているご	ことを理解することが		

令和4年度	教育計画	(シ	ラバス)				
学科	名	学年	教科		科	·目	単位数
普通科(理系)	2	理科		物理	基礎	2
	教科書			補助教材			
改訂別	反物理基礎 (数研出版)	改訂ニュー	グローバル物理基礎	+物理()	東京書籍)	
到達目標		学的に探究する能力	ながら物体の運動と様々なエネ 」と態度を育てるとともに、物理学				
	①関心	心・意欲・態度	②思考•判断•表現	③観察・実験の	技能	4	知識•理解
評価の観点	りながら物体 ルギーについ 欲的に探究し	や社会との関連を図 の運動と様々なエネ いて関心をもち、意 しようとするとともに、 し方や考え方を身に	物体の運動と様々なエネルギーに関する事物・現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えをを的確に表現している。	物体の運動と様々だ ギーに関する観察、ま を行い、基本操作をき とともに、それらの過程 を的確に記録、整理 の事物・現象を科学的 する技能を身に付け	実験など 習得や は、 自然 と、 自然 と、 に 探究	ギーについ 念や原理	重動と様々なエネル ハて、基本的な概 ・法則を理解し、知 付けている。
学習の評価	1 定期考査で②「思考、判断、表現」、④「知識・理解」を評価する。 学習の評価 2 課題の提出状況、授業中の実験・観察の態度及び課題テストで①「関心・意欲・態度」を評価し、授業中の実験及びそのポートにより③「技能」を評価する。						
	内容(単元・巧	頁目)		学習到達目標(評值	西規準)		
第1編 運動と	•						
第1章運動の表	もし方		- 10 o k)	and with a state of	150 PP - 1		: -k =m k= 1 →
1. 速度	_		きがベクトル量であることを知り、		瞬間の速/	関との関係	を理解する。
2. 加速度	-		を度の定義を学び、v-t図との関		名刀 フ		
3. 落体の		•洛/4	kの運動の特徴を学び、x-t図、	v-t図と関連つけて埋	解する。		
第2章 運動の		#-/- /-	b)-).144	TH 477	<i>-</i>	l-	
	のはたらき		はは様々な力がはたらくことを			, 。	
2. 力のつ)合成と分解を理解し、作用・反		-		
3. 運動の			生の法則、および物体にはたらく	《力と質量、加速度の	関係を理角	解する。	
	受ける運動		察力の性質を理解する。 しょうな 1000		S () 4 =	= //) - [m >	
	気体から受け		は中にある物体にはたらく力につ	ついて埋解し、圧力と浮	学力を定量	重的に扱え.	る 。
第3章 仕事と	力学的エネル						
1. 仕事	X		写の定義を知り、正・負の仕事を ・ 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、				
2. 運動工	•		カエネルギーの変化が受けた仕		する。		
3. 位置工	•		力および弾性力による位置エネル				
	Jエネルギーの	(保存 ・エオ	ベルギーの原理から、力学的エス	ネルギー保存則が成立	としている	ことを理解	する。
第2編 熱							
第1章 熱とエス	•						
1. 熱と熱:			一や分子の熱運動と温度の関係			理解する。	
2. 熱と物			質の三態と状態変化について熱				
3. 熱と仕	•		事と熱の変換、内部エネルギー、				
	変化と熱機関	■•熱核	と関と熱効率、熱現象の不可逆 と関と熱効率、熱現象の不可逆・	性について学び、エネ	トルギー利]用につい	て理解を深める。
第3編 波	-						
第1章 波の性							
	某質の運動		長動の伝搬による波が正弦波で				
2. 波の作	伝わり万	•波0)重ねあわせの原理を理解し、気	正常波の性質を説明す	ナることが	できる。	
第2章 音	- FFF	. م راب	1分子ストファルトレル ナット	ためなんか ー・・ー・	品刀・上フ		
1. 音の性			は縦波であることを知り、音の屈指				
	体の振動と共	派・共鳴 ・ 54.0)振動や気柱の共鳴では定常液	スか じさ しいることを埋	肝りる。		
第4編 電気	最与长 士						
第1章 物質と電		шт. <i>-</i>	ラの1 フォチール ギルコーギル	O 140 1			
1. 電気の			這のしくみを知り、導体と不導体 ・ のは PUL へよばせのよる ナ				
2. 電流と	電気抵抗 エネルギー		- ムの法則と合成抵抗の求め方				
3. 電気と 第2章 交流と記		・シュ	ールの法則と電力の求め方を理	生胜りる。			
第2早 父流と 1. 交流	电极仪	-باب	とし古法の告いしは強さって知し	Z			
1. 交流 2. 電磁波	;		だと直流の違いと特徴を理解する	-			
2. 电磁级 第5編 物理学		●電板	核波の発生のしくみを知り、電磁	収い性類を理解する。			
第1章 エネル		■					
	キーとての利が ギーの移り変;						
•	キーの移り変ん ギー資源と発	'				交16レばり	ことを子か。
•		•私次	たの生活を支える電気エネル	ヤーについ (埋)解を的	ためる。		
第2章 物理学			用甘(株公常) お事柱で 口光上	江 5到 芦杆华12950	生イドニナ	だたファ1.エ	~~~ ≻°
	コントロールす		里基礎で学んだ事柄が、日常生	荷へ付子技術と深い	宿 ひつされ	いめることを	子か。
	ギーを有効利 いものを見る	1711 9 る	18				
り、兄んな	4.のシスピの		10				

令和4年度		(シラバス	•				
学科		学年	教科		科化学		単位数
普通科(文系)人	文任会科字科 教科	2学年	理科		化子	基礎	2
改言		碟(数研出版)		セミナー化学基礎(第	一学習社)		
到達目標	に、基本的 1 化学の 2 実験,	な概念や原理・法則を理所 D学習を通し、化学的なもの 観察を通して科学的に探	実験などを行い、自然に対する関		と学的に探9	究する能力と覧	度を育てるととも
		関心・意欲・態度	②思考·判断·表現	③観察・実験の			汩識•理解
評価の観点	を持ち、意名 り組んでいる	欲的に授業に参加して取	・実験に対し、問題意識を持ちながら取り組んでいるか。・教師からの発問に対して自らの考えで実証的、論理的に答えているか。・客観的な事実に基づいて、現象を科学的に判断することができるか。・自らの考えを的確に表現することができたか。	方を理解して正しく行につけたか。 ・化学に関わる計算や 身につけたか。 ・自然界の事物現象に	うことを身 º考え方を こついて科	象についての	∟て自然の事物現 基本的な概念や原 解し、知識を身に付
学習の評価			長現」、④「知識・理解」を評価する。 欲・態度」を、実験・実習で③「技能				
	·	こ重きをおき、総合的に成	績を算出する。				
·第1編	学習内容(重	单元•項目)	・あらゆる物質は原子、分子、イオ	学習到達目標(評			5.00.00
第1章 物質の 第2章 物質の 第3章 粒子の)構成粒子		の概念が理解できる。 ・物質の分類として混合物、純物・物質は原子・分子・イオンの基本・物質の三態について理解できる。 ・原子の基本的な内部構造を学で・原子が陽子、中性子、電子など・イオン結合・共有結合・金属結合・電気陰性度を理解し、分子の形・共有結合からなる物質について・電気陰性度が異なる原子の電子・多数の原子が共有結合で結合し、金属結合のしくみについて理解	を対子からできていることで、原子の性質と結びで構成されていることを合の様式と表し方についたを極性について考察でか。さらに、イオン結合に対していて、またその種類やでの偏りが極性の原因でしていることを理解できる	とを理解でき つきについて と理解でき いできる。 からなる物質 あしかたとを理 る。	て理解できる。 。 きる。 重解できる。 里解できる。	生質を理解できる。
第1章 物質量	塩基の反応	式	・相対質量で原子や分子などの質・物質量の考え方(アボガドロ数、・物質量,濃度に関わる計算が確・質量パーセント濃度、モル濃度は・物質の変化を化学反応式で表・物質量に関わる計算力を身にない酸や塩基の定義および反応には・酸性酸化物および塩基性酸化物の・水溶液の液性の程度をpHにより・酸と塩基が中和するときの量的関	物質の質量や体積等 実にできる。 こついて確実に求める。 す事を学び、化学変化 つける。 は水素イオンが寄与して 定義および酸や塩基の値 表すことができることを	と物質量の間 ことができる。 の量的関係 こいることを理 正数、電離度 理解する。	。 について理解 里解する。 による強弱の分	する。
第3章 酸化	:還元反応		・滴定実験により未知の濃度の酸 ・酸化還元反応を電子の授受によ ・酸化数を用いて酸化還元を統一 ・酸化剤・還元剤のはたらきと化学 ・金属のイオン化傾向、電池や電	る考え方を理解する。 ・的に考え、理解する。 を変化を化学反応式で	表すことがで	0	に計算ができる。

令和4年度		<u>(シラバス</u> 学年		1	利.日		六 1:7 未 1:2
学科 普通科(字年 	数科 理科		科目 単 化学基礎		単位数 2
自地作	·生示/ 教科					- 圣诞	2
改言		基礎(数研出版)	セミナー化学基礎	性+化学(第一学習社		合資料(実教出	3版)
到達目標	に、基本的 1 化学の 2 実験,	な概念や原理・法則を理所 の学習を通し、化学的なもの 観察を通して科学的に探	実験などを行い、自然に対する関		化学的に探	究する能力と	態度を育てるととも
	1	関心・意欲・態度	②思考·判断·表現	③観察·実験の)技能	4	知識•理解
評価の観点	を持ち、意行り組んでいる。	欲的に授業に参加して取	・教師からの発問に対して自らの考えで実証的、論理的に答えているか。	方を理解して正しく行につけたか。 ・化学に関わる計算ペ 身につけたか。 ・自然界の事物現象	rうことを身 や考え方を について科	象についての 理・法則を理 けているか。	して自然の事物現 D基本的な概念や原 解し、知識を身に付
学習の評価			長現」、④「知識・理解」を評価する。 欲・態度」を、実験・実習で③「技能				
	上記の10	こ重きをおき、総合的に成	績を算出する。				
	学習内容()	単元・項目)		学習到達目標(評	価規準)		
 第1編 第1章 物質の 第2章 物質の 第3章 粒子の ・第2編 	の構成粒子		・あらゆる物質は原子、分子、イオの概念が理解できる。 ・物質の分類として混合物、純物・物質は原子・分子・イオンの基本・物質の三態について理解できる ・物質の三態について理解できる ・原子の基本的な内部構造を学で・原子が陽子、中性子、電子など・イオン結合・共有結合・金属結合・電気陰性度を理解し、分子の形・イオンがどのように結合しているが・共有結合からなる物質について・電気陰性度が異なる原子の電子・多数の原子が共有結合で活合し・金属結合のしくみについて理解	質、単体、化合物についたでででできていることでで、原子の性質と結びで構成されていることを極性について考察が、さらに、イオン結合学び、またその種類やでの偏りが極性の原因でいることを理解でき	かいて理解できる。 つきにできるいできる。 からなる物質できる。 からなるなをする。	きる。 でもる。 て理解できる。 きる。 できる。 理解できる。 理解できる。	
第1章 物質量 第2章 酸と	塩 と化学反応 塩基の反応	式	・相対質量で原子や分子などの質・物質量の考え方(アボガドロ数、・物質量,濃度に関わる計算が確・質量パーセント濃度、モル濃度は・物質の変化を化学反応式で表・物質量に関わる計算力を身にて・酸や塩基の定義および反応には・酸性酸化物および塩基性酸化物の・水溶液の液性の程度をpHにより	物質の質量や体積等 実にできる。 こついて確実に求める す事を学び、化学変化 つける。 は水素イオンが寄与して 定義および酸や塩基の	と物質量のことができるこの量的関係でいることを理価数、電離度	。 について理角 里解する。	マナる。 マナる。
第3章 酸化	/還元反応		・酸と塩基が中和するときの量的間・滴定実験により未知の濃度の酸・酸化還元反応を電子の授受によ・酸化数を用いて酸化還元を統一・酸化剤・還元剤のはたらきと化学・金属のイオン化傾向、電池や電	や塩基を求めることが る考え方を理解する。 的に考え、理解する。 変化を化学反応式で	できる。 表すことがで	できる。	に計算ができる。

学科名	学年	教科		————科 科目		単位数	
普通科(文系)人文社会科学科	2	理 科 生物基				2	
	 教科書)教材			
改訂 生物	勿基礎(東京書籍)	リード α 生物基礎(数研	T出版)・スク	ウエア最新図	l説生物ne	(第一学習社)	
到達目標		・ を図りながら生物や生物明 する能力と態度を育てるとと 方を養う。					
	①関心·意欲·態度	②思考・判断・表現 ③観察・実験の技能 ④知識・理解					
評価の観点	自然現象に対して興味・ 関心を高め、疑問点を見 いだそうと意欲的に取り 組もうとする。また、自然 界の様々な事象を科学 的に考察しようとする。	生物や生命現象の普遍的な原理・原則に基づきながら、なぜ多様性を示しているかを考えることができる。また、生物や生命活動のといるのを考えることができる。また、生物や生命活動のといるかを考えることができる。また、観察・実験などの結果をレポートにまとめることができる。関連的に考え、説明することができる。				原理・法則が理 また、生物の持	
1 定期考査で②「思考・判断・表現」、④「知識・理解」を評価する。 2 課題の提出状況、授業中の実験・観察の態度及び課題テストで①「関心・意欲・態度」を評価し、授業の実験及びそのレポートにより③「技能」を評価する。 3 上記1に重きを置きながら、2の観点を加えて、総合的に評価する。						を評価し、授業中	
学習内]容(項目·単元)	学習到達目標(評価規準)					
第1編 生物の特 1章 生物の多様 2章 生命活動と	性と共通性	・生物と遺伝子について観察機能の概要を理解し、生物できる。 ・生物は多様でありながら共・生命活動に必要なエネルコ	がについての共立 通性をもっている	通性と多様性の ることを理解す	の視点を身 <i>い</i> でることができ	こ付けることが きる。	
第2編 遺伝子とる 1章 生物と遺伝子 2章 遺伝情報の 3章 遺伝情報と	子 分配	・遺伝情報を担う物質としてのDNAの特徴について理解することができる。 ・DNAが複製され分配されることにより、遺伝情報が伝えられることを理解することができる。 ・DNAの情報に基づいてタンパク質が合成されることを理解することができる。					
第3編 生物の体 1章 体内環境 2章 体内環境を約 3章 免疫		・体内環境が保たれていることを理解することができる。 ・体内環境の維持に自律神経とホルモンがかかわっていることを理解することができる。 ・免疫とそれにかかわる細胞の働きについて理解することができる。					
第4編 生物の多様 1章 植生の多様 2章 バイオームと 3章 生態系とその	性と遷移	 ・陸上には様々な植生がみらできる。 ・気温と降水量の違いによっできる。 ・生態系では、物質が循環すできる。 ・生態系のバランスについて 	て様々なバイオ ⁻ るとともにエネ <i>。</i>	ームが成立し	ていることを することを理	理解することが	

令和4年度	教育計画 (シラバス)						
学科名	学年	教科	科	·目	単位数		
普通科(理系)	2	理 科	基礎	2			
	教科書		補助教材				
改訂 生物	勿基礎(東京書籍)	リード α 生物基礎+生物(数研出版)・スクエア最新図説生物neo(第一学習社)					
到達目標		を図りながら生物や生物現 する能力と態度を育てるとと 方を養う。					
	①関心·意欲·態度	②思考·判断·表現	③観察・実験の技能	4	知識·理解		
評価の観点	自然現象に対して興味・ 関心を高め、疑問点を見いだそうと意欲的に取り 組もうとする。また、自然 界の様々な事象を科学 的に考察しようとする。	ながら、なぜ多様性を示 しているかを考えることが できる。また、生物や生	「理・原則に基づき 体験を通して、適切な方 な概念や原理・法則が 法で多種多様な生物や 法で多種多様な生物や 生命現象を探究すること ができる。また、生物の との仕組みや働き 験などの結果をレポート にまとめることができる。 できる。				
学習の評価	1 定期考査で②「思考・判断・表現」、④「知識・理解」を評価する。 2 課題の提出状況、授業中の実験・観察の態度及び課題テストで①「関心・意欲・態度」を評価し、授業の実験及びそのレポートにより③「技能」を評価する。 3 上記1に重きを置きながら、2の観点を加えて、総合的に評価する。						
学習内	<u>·</u>]容(項目·単元)		学習到達目標(評価規	準)			
第1編 生物の特 1章 生物の多様 2章 生命活動と	性と共通性	・生物と遺伝子について観察機能の概要を理解し、生物できる。 ・生物は多様でありながら共き。	」についての共通性と多様性 通性をもっていることを理解	この視点を身に することができ	こ付けることが :る。		
第2編 遺伝子とる 1章 生物と遺伝 2章 遺伝情報の 3章 遺伝情報と	子 分配	・遺伝情報を担う物質としての ・DNAが複製され分配されるできる。 ・DNAの情報に基づいてタン	DDNAの特徴について理角 ることにより,遺伝情報が伝え	異することがで えられることをま	きる。 理解することが		
第3編 生物の体 1章 体内環境 2章 体内環境を約 3章 免疫		・体内環境が保たれていることを理解することができる。・体内環境の維持に自律神経とホルモンがかかわっていることを理解することができる。・免疫とそれにかかわる細胞の働きについて理解することができる。					
第4編 生物の多様 1章 植生の多様 2章 バイオームと 3章 生態系とその	性と遷移 こその分布	・陸上には様々な植生がみらできる。・気温と降水量の違いによっできる。・生態系では、物質が循環すできる。・生態系のバランスについて	て様々なバイオームが成立 つるとともにエネルギーが移動	していることを 助することを理	理解することが解することが		

令和4年度 学科	教育計画 名	学年	·バス) 教科		科目	単位数	
理数科		2	理数		理数物理	4	
	教科書		コケミナー	補助教材 ・グローバル物理基礎+	炒田 (古古書倅	`	
议 訂	1	対抗総合物理2(数研出版)					
到達目標			ながら物体の運動と様々なエネ 態度を育てるとともに、物理学の	の基本的な概念や原理	・法則を理解させ、		
		心・意欲・態度	②思考•判断•表現	③観察・実験の技		④知識·理解	
評価の観点	ながら物体の ルギーについ 欲的に探究!	や社会との関連を図り)運動と様々なエネ いて関心をもち、意 しようとするとともに、 し方や考え方を身に	物体の運動と様々なエネルギーに関する事物・現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	物体の運動と様々な ギーに関する観察、実 を行い、基本操作を習 とともに、それらの過程 を的確に記録、整理し の事物・現象を科学的 する技能を身に付けて	験など 得する 念や原理 や結果 流自然 に探究	運動と様々なエネいて、基本的な概 いて、基本的な概 !・法則を理解し、タ 付けている。	
学習の評価	2 課題の提	で②「思考、判断、表 出状況、授業中の実 ③「技能」を評価する。	・ 現」、④「知識・理解」を評価する 験・観察の態度及び課題テスト	る。 で①「関心・意欲・態度」	を評価し、授業中	の実験及びそのレ	
学習	内容(単元・項	頁目)		学習到達目標(評価	規準)		
物理基礎 第1編 運動とエ 第1章運動の表し 1. 速動の度 2. 加速体の 第2章 運動とその 2. 力の動き 4. 摩擦を 4. 摩擦を	ン方 運動 ま則 Oはたらき Oあい 法則	・加速・落体・物体・力の・慣性	がベクトル量であることを知り、x-tkl 度の定義を学び、v-t図との関係を の運動の特徴を学び、x-t図、v-tkl には様々な力がはたらくことを理解 ら合成と分解を理解し、作用・反作用 の法則、および物体にはたらく力と もの性質を理解する。	理解する。 ③と関連づけて理解する。 し、フックの法則を見いだ の法則を確認する。]	ెవ్.	
第3章 仕事と力 1. 仕事 2. 運動エ 3. 位置エ 4. 力学的	ネルギー	- ・仕事 ・運動 ・重力	中にある物体にはたらく力について の定義を知り、正・負の仕事を具体 フエネルギーの変化が受けた仕事に および弾性力による位置エネルギー ルギーの原理から、力学的エネルギ	的に理解する。 等しいことを理解する。 一を理解する。			
第2編 熱 第1章 熱とエネ 1. 熱と熱』 2. 熱と熱』 3. 熱と仕事 4. 不可逆	量 質の状態	物質仕事	・原子や分子の熱運動と温度の関係を知り、熱容量・比熱の定義を理解する。 ・物質の三態と状態変化について熱運動の考え方から理解する。 ・仕事と熱の変換、内部エネルギー、熱力学第1法則を学び、熱現象を定量的に扱える。 ・熱機関と熱効率、熱現象の不可逆性について学び、エネルギー利用について理解を深める。				
第3編 波 第1章 波の性質 1. 波と媒 2. 波の伝 第2章 音	質の運動		動の伝搬による波が正弦波である、 重ねあわせの原理を理解し、定常		できる。		
1. 音の性質	本の振動と共振・		縦波であることを知り、音の屈折や 振動や気柱の共鳴では定常波がて				
第4編 電気 第1章 物電気の間 1.電気の間 2.電流と間 3.電流と電 5.変流流 1.変流流流 2.電磁波	性質 電気抵抗 エネルギー	・ ・ ジュ ・ 交流	のしくみを知り、導体と不導体の違いのと対した。 ムの法則と合成抵抗の求め方を理 ールの法則と電力の求め方を理解 と直流の違いと特徴を理解する。	解する。			
第5編 物理学と 第1章 エネルギ 1. エネルギ 2. エネル・ 第2章 物理学か 1. 摩擦を・ 2. エネル・	ーとその利用 ドーの移り変わり ドー資源と発電 ド拓く世界 コントロールする ドーを有効利用) ・エネ ・私た ・物理	波の発生のしくみを知り、電磁波の ルギーには様々な形態があり、他の ちの生活を支える電気エネルギーと 基礎で学んだ事柄が、日常生活や)形態に変換しても総量は こついて理解を深める。		Ď.,	
総合物理1 第1編 力と運動 第1章 平面内の)運動 はたらく力のつり)保存 と力積 保存則 数	・剛体・運動・直線	にはたらく力と力のモーメントのつりにはたらく力の合成法を知り、重心 はまたらく力の合成法を知り、重心 量と力積および、その間の関係を到 および平面運動における運動量保 係数を理解し、運動量保存則と合え	の意味を理解する。 理解する。 - 存則を理解する。	解する。		
1. 等速円 2. 慣性力 3. 単振動 4. 万有引	運動	・慣性 ・単振	円運動について成り立つ関係を理:力を使って力のつりあいより、運動・ 動を理解し、ばね振り子、単振り子 引力の法則、万有引力による位置:	の様子を調べることができ の周期を求めることができ			
第2編 熱と気体 第1章 気体のコ 1. 気体の 2. 気体分 3. 気体の 4. 不可逆	ネルギーと状態 法則 子の運動	ボイ気体断索	ルの法則、シャルルの法則を理解す 分子の運動から、熱力学諸量を求 、、定積、定圧、等温変化をボイル・: 関と熱効率、熱現象の不可逆性に	められることを理解する。 ンャルルの法則と熱力学第			

令和4年度	教育計画(シ	ラバス)				
学科名	学年	教科		科	· 🗏	単位数
理数科学科	2学年	理数		理数	:化学	4
	教科書		補助教材	# N/ (1) A VE-		
到達目標	法則を理解し、科学的な自然観を養う。 1 物質とその変化について化学的 2 化学的な事物・現象に関する基礎	実験などを行い、自然に対する関心や探究	予心を持って課題を見いだし を、深く系統的に理解させる	る能力と態度 、主体的に解	を育てるとともん	
	①関心・意欲・態度	②思考•判断•表現	③観察・実験の技			④知識•理解
評価の観点	・自然の事物・現象に関心や探究心を ち、意欲的に授業に参加して取り組んいるか。 ・実験に主体的に取り組んでいるか。	・教師からの発問に対して自らの考えで実証的、論理的に答えているか。 ・客観的な事実に基づいて現象を科学的に判断することができるか。	・実験の方法や実験器具の解して正しく行うことを身にている子のでは学に関わる計算方法を動か。 ・自然界の事物現象について 探究する方法を身につけた	つけたか。 身につけた て科学的に	いての基本的	て自然の事物現象につ な概念や原理・法則を理 アに付けているか。
学習の評価	1 定期考査で②「思考・判断・表現」、 2 課題の提出状況等で①「関心・意欲 上記の1に重きをおき、総合的に成績	・態度」を、実験・実習で③「技能」を評価する	5.			
	学習内容(単元·項目)		学習到達目標(評価	規準)		
化学基礎 ・第1編 第1章 物質の構成	·	・あらゆる物質は原子、分子、イオン、等の・物質の分類として混合物、純物質、単体・物質は原子・分子・イオンの基本粒子から、物質の三態について理解できる。	、化合物について理解できる	5.	成分としての元	素の概念が理解できる。
第2章 物質の構成 第3章 粒子の結合		 ・原子の基本的な内部構造を学び、原子の性質と結びつきについて理解できる。 ・原子が陽子、中性子、電子などで構成されていることを理解できる。 ・イオン結合・共有結合・金属結合の様式と表し方について理解できる。 ・電気陰性度を理解し、分子の形と極性について考察できる。 ・イオンがどのように結合しているか。さらに、イオン結合からなる物質の特徴的な性質を理解できる。 ・共有結合からなる物質について学び、またその種類や表しかたを理解できる。 				
•第2編		・電気陰性度が異なる原子の電子の偏りだい。 ・多数の原子が共有結合で結合していること ・金属結合のしくみについて理解し、特性 ・相対質量で原子や分子などの質量を表	ことを理解できる。 や利用法について理解でき	., 0		
第1章 物質量と化 第2章 酸と塩基 <i>0</i>		・物質量の考え方(アボガドロ数、物質の動物質量,濃度に関わる計算が確実にできる ・質量パーセント濃度、モル濃度について ・物質の変化を化学反応式で表す事を学 ・物質量に関わる計算力を身につける。 ・酸や塩基の定義および反応には水素イ	きる。 「確実に求めることができる。 び、化学変化の量的関係に オンが寄与していることを理解	ついて理解す	⁻ る。	
第3章 酸化還元	反応	・酸性酸化物および塩基性酸化物の定義 ・水溶液の液性の程度をpHにより表すこと ・酸と塩基が中和するときの量的関係が理 ・滴定実験により未知の濃度の酸や塩基を ・酸化還元反応を電子の授受による考えて ・酸化数を用いて酸化還元を統一的に考 ・酸化剤・還元剤のはたらきと化学変化を・金属のイオン化傾向、電池や電気分解す	とができることを理解する。 目解でき、確実に計算できる。 を求めることができる。 方を理解する。 え、理解する。 化学反応式で表すことができ	£3.		
化学 ・第3編 無機属類 無機 を	周期表 5 酸素・硫黄 6 窒素・リン 7 炭素・ケイ素 I) E素 E鉛	・無機物質の性質や反応などを、元素の原・無機物質について観察・実験をおこない ・無機物質の性質や反応に関する基本的・無機物質を、日常生活および化学工業に ・無機物質の性質や反応などを、元素の原・無機物質について観察・実験をおこない ・無機物質の性質や反応について観察・3 ・無機物質の性質や反応に関する基本的・無機物質の性質や反応に関する基本的・無機物質を、日常生活および化学工業に、金属イオンの反応について、観察・実験	、規則性を見いだしたり、事な概念や原理・法則を理解して関連づけて理解し、知識を 問期表と関連付けて思考、判 、規則性を見いだしたり、事 実験をおこない、その基本操 は概念や原理・法則を理解して関連づけて理解し、知識を	象が生じる要 、知識を身い 身につけてい り断できる。 象が生じる要 作や記録を身い りにつけてい	こつけている。 いる。 因や仕組みをを 土方を習得して こつけている。 いる。	科学的に考察できる。
・第1編 第1章 粒子の結合 1 原子とイオン 2 イオン結合とイオ 3 分子と共有結合 第2章 物質の三態 1 粒子の熱運動 2 分子間力と三態。 3 状態変化とエネ 4 物質の種類と物 第3章 気体 1 気体の体積 2 気体の状態方	4 共有結合の結晶 ン結晶 5 金属結合と金属 さと状態変化 の変化 ネルギー 物理的性質	・化学結合と結晶の性質について、復習で ・イオン結晶の構造について学習する。 ・共有結合の結晶構造について学習する ・分子間の結合、および分子結晶の性質。 ・金属結晶の構造について学習する。 ・物質の三態変化を復習し、その変化に作 ・飽和蒸気圧を学習し、飽和蒸気圧と沸脈 ・ボイル・シャルルの法則をそれぞれ理解 ・気体の状態方程式を理解し、その応用を	。 と構造について学習する。 #う熱の出入りも学習する。 #の関係を学ぶ。また、化学が し、知識を身につけている。			
3 混合気体の圧 4 実在気体 第4章 溶液 1 溶解とそのしく。 2 溶解度 3 希薄溶液の性 4 コロイド溶液	カみ	・理想気体と実在気体との違いを理解する・水和という現象を理解し、水に溶解する・質量パーセント濃度、モル濃度、質量モ・浸透圧や浸透圧測定の原理を理解して・凝析を効果的に行わせる方法を理解して	る。 物質と溶解しない物質に分類 ル濃度といった濃度の表した	頁できる。		

学科名	教育計画 (シブハス)	教科 科目 単位数				畄位物
<u> </u>	<u>2</u> 教科書	理数 理数生物 4 補助教材				
コケラナ ナール			**	1助我的		
	勿基礎(東京青籍) 生物(東京書籍) ■	リードα生物基礎+生物	(数研出版)	スクエア量	最新図説生	物neo(第一学習社)
到達目標		探究心を高め,目的意識をもって観察,実験などを行い,生物学的に探究する能力 物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め,科学的な自然観を育成する。				
	①関心·意欲·態度	②思考·判断·表現	③観察・実			④知識·理解
評価の観点	いだそうと意欲的に取り組	しているかを考えることが できる。また、生物や生命 現象の仕組みや働きを総		、適切な方様な生物や それでした、観察・実 したいポート	念や原理	命活動の基本的な概・法則が理解できる。 がの持つ歴史性が理
	1 定期考査で②「思考・半	川断・表現」、④「知識・理解	」を評価する。			
学習の評価	2 課題の提出状況、授業 験及びそのレポートにより(中の実験・観察の態度及で ③「技能」を評価する。	が課題テストで	①「関心・意	欲・態度」を	学評価し、授業中の実
	3 上記1に重きを置きなか	ぶら、2の観点を加えて、総合 -	合的に評価す	る。		
学習内	P容(項目·単元)		学習到達	目標(評価規	準)	
生物基礎 第1編 生物の特 1章 生物の多様 2章 生命活動と	 性と共通性	 ・生物と遺伝子について観察,実験などを通して探究し,細胞の働き及びDNAの構造と機能の概要を理解し、生物についての共通性と多様性の視点を身に付けることができる。 ・生物は多様でありながら共通性をもっていることを理解することができる。 ・生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解することができる。 				
第2編 遺伝子とそ 1章 生物と遺伝子 2章 遺伝情報の 3章 遺伝情報と名	子 分配	・遺伝情報を担う物質としてのDNAの特徴について理解することができる。 ・DNAが複製され分配されることにより、遺伝情報が伝えられることを理解することができる。 ・DNAの情報に基づいてタンパク質が合成されることを理解することができる。				
第3編 生物の体 1章 体内環境 2章 体内環境を約 3章 免疫		・体内環境が保たれていることを理解することができる。・体内環境の維持に自律神経とホルモンがかかわっていることを理解することができる。・免疫とそれにかかわる細胞の働きについて理解することができる。				
第4編 生物の多 1章 植生の多様 2章 バイオームと 3章 生態系とその	性と遷移 その分布	 ・陸上には様々な植生がみられ、植生は長期的に移り変わっていくことを理解することができる。 ・気温と降水量の違いによって様々なバイオームが成立していることを理解することができる。 ・生態系では、物質が循環するとともにエネルギーが移動することを理解することができる。 ・生態系のバランスについて理解し、生態系の保全の重要性を認識することができる。 				
生物		±/20/(1/2 / / 1/2	五//10 / 五/四//1	- MIL - I	THE PRIMARY	
第1編 生命現象 1章 生体物質と約 2章 タンパク質の 3章 細胞間の相 4章 代謝とエネル	冊胞 構造と酵素 互作用とタンパク質	 ・細胞の内部構造とそれを構成する物質の特徴を理解することができる。 ・様々なタンパク質が様々な生命現象を支えていることを理解することができる。 ・呼吸によって有機物からエネルギーが取り出される仕組みを理解することができる。 ・光合成によって光エネルギーを用いて有機物がつくられるしくみを理解することができる。 				
第2編 遺伝子の 1章 DNAの構造 2章 遺伝情報の 3章 遺伝子の発 4章 バイオテクノ	と複製 発現 現調節	・DNAの複製の仕組み,遺伝子の発現の仕組み及び遺伝情報の変化を理解することができる。・遺伝子の発現が調節されていること及びその仕組みの概要を理解することができる。・遺伝子を扱った技術について,その原理と有用性を理解することができる。				
第3編 生殖と発生 1章 生物の有性 2章 動物の発生 3章 動物の発生 4章 植物の発生	生殖	 ・減数分裂による遺伝子の分配と受精により多様な遺伝的組合せが生じることを理解することができる。 ・遺伝子の連鎖と組換えについて理解することができる。 ・配偶子形成と受精の過程について理解することができる。 ・卵割から器官分化の始まりまでの過程について理解することができる。 ・細胞の分化と形態形成の仕組みを理解することができる。 ・配偶子形成と受精及び胚発生の過程について理解することができる。 ・被子植物の器官の分化過程について理解することができる。 				

到達日保で	教科書 1、改訂版総合物理的な事物であとともに、物 ①関心・	・現象に対する	教科 理数 (i) 改訂 ニューグローバル 物	補助教材	科目 理数物理	単位数 5	
改訂版総合物理1 到達目標	教科書 1、改訂版総合物理的な事物であとともに、物 ①関心・	物理2(数研出版)・現象に対する				5	
改訂版総合物理1 到達目標	教科書 1、改訂版総合物理的な事物であとともに、物 ①関心・	物理2(数研出版)・現象に対する			··-	•	
到達目標	1、改訂版総合物理的な事物でるとともに、物	・現象に対する	(i) 改訂 ニューグローバル 物				
到達目標	物理的な事物 るとともに,物 ①関心・	・現象に対する	以 以引 ーユークローハル 物		主辞\ 쌔畑壬田	明 居 住 (米/ TT 川 山)	
到達日保て	てるとともに,物 ①関心・				青精 / 物埋里要	問題集(数研出版)	
探			深究心を高め,目的意識をもって 概念や原理・法則の理解を深め,			する能力と態度を育	
探		意欲•態度	②思考•判断•表現	③観察・実験の打	技能	④知識・理解	
	物理学的な事物・現象に関心や 探究心をもち、主体的に探究しよに問題を見いだし、探究する うとするとともに、科学的態度を身 過程を通して、事物を科学的 本操作を習得するとともに、そ 則について理解を深め						
学習の評価 2	課題の提出		表現」、④「知識・理解」を評価する 実験・観察の態度及び各種テストで る。		を評価し、授業中	ロの実験及びそのレ	
	容(単元・項目	1)		学習到達目標(評価	5規準)		
総合物理1 第1編 力と運動 第5章 円運動と万有 3 単振動 第2編 熱と気体			振動を理解し、ばね振り子、単振り子の	の周期を求めることができ	ることを理解する。		
第2章 気体のエネ/ 1 気体の法則 2 気体分子の 3 気体の状態	川 D運動	•ボ •気	イルの法則、シャルルの法則を理解す体分子の運動から、熱力学諸量を求め 熱、定積、定圧、等温変化をボイル・シ	りられることを理解する。	9一法則を用いて理	解する。	
総合物理2 第4編 電気と磁気 第1章 電場 1 静電気力 2 電場 3 電位 4 物質と電場 5 コンデンサ・		• 電 • 電 • 導	ーロンの法則と電気料保存則を理解す場の概念を知り、電気力線を用いて電位の概念を身に付け、電位と静電気力体や不導体内部での電場と電位の様ンデンサーの性質を理解し、コンデンサ	記場の様子を表現する。 りによる仕事の関係を理角 子を理解する。	军する。	象を理解する。	
第2章 電流 1 オームの法 2 直流回路 3 半導体	則	•=	ームの法則を用いて電流や電圧を求な ルヒホッフの法則を用いて回路各部の 導体の性質を理解し、ダイオードやトラ	電流電圧を求められる。	ハて学ぶ。		
第3章 電流と磁場 1 磁場 2 電流のつく 3 電流が磁場 4 ローレンツス	場から受ける力	•電 •磁	場の概念を知り、磁力線を用いて磁場 流がつくる磁場の性質を理解し、磁場 東密度の概念を身に付け、電流が磁り ーレンツカの性質を理解し、磁場中で	の強さを求められる。 場から受ける力の強さを求			
第4章 電磁誘導と電磁波 1 電磁誘導の法則 2 交流の発生 3 自己誘導と相互誘導 4 交流回路 5 電磁波 ・レンツの法則とファラデーの電磁誘導の法則から、誘導起電力の向きと大きさを理解する。 ・交流の基本的性質を理解する。 ・回路中でのコイルの役割から、自己誘導と相互誘導の性質を理解し、変圧器のしくみを知る。 ・交流回路中のコイルやコンデンサーのはたらきを知り、位相差やリアクタンス、インピーダンスについて理解する。 ・電磁波の発生とその性質について理解する。						を知る。	
第5編 原子 第1章 電子と光 1 電子 2 光の粒子性 3 X線 4 粒子の波動	_	•光 •X	子の発見について学び、電子の特徴 量子説から光電効果を説明することが 泉の波動性と粒子性について理解する 子の波動性について理解する。	できる。			
第2章 原子と原子核							
物理学が築く未来		•物	理で学んだことが、日常生活や科学技	支術、社会発展と深い関 わ	りがあることを学ぶ。		
問題演習(重要問題	集)	• 問	題演習により、物理現象やその現象を	支配する原理法則への理	里解を深める。		

令和4年度	教育計画 (シラ	バス)				
学科名	学年	教科		科	目	単位数
理数科学科	3	理数		理数	化学	5単位
コケミ	数科書 打版 化学(数研出版)	セミナー化学基礎+化学(第	補助教材	K) (+ * * + 111	に/ 毛亜胆	
以市		関察,実験などを行い,自然に対する				
到達目標	に、基本的な概念や原理・法則を理 1 物質とその変化について化学 意欲を高める。 2 化学的な事物・現象に関する		て,知的好奇心を持って	課題を見レ	ゝだし,主体	
	①関心·意欲·態度	②思考・判断・表現	③観察・実験の技		`	④知識·理解
評価の観点	・目然の事物・現象に関心や探究 心を持ち、意欲的に授業に参加して取り組んでいるか。 ・実験に主体的に取り組んでいる か。	・実験の中で問題を見出し,取り組んでいるか。 ・教師からの発問に対して自らの考えで実証的,論理的に答えているか。 ・客観的な事実に基づいて現象を科学的に判断することができるか。 ・自らの考えを的確に表現することができたか。	方を理解して正しく行うこっけたか。 ・化学に関わる計算方法けたか。 ・自然界の事物現象につめに探究する方法を身に	とを身に を身につ いて科学	についての 法則を理解	
学習の評価	1 定期考査で②「思考・判断・表5 2 課題の提出状況等で①「関心・ 上記の1に重きをおき,総合的に	意欲・態度」を,実験・実習で③「技育	能」を評価する。			
<u>بر</u>	工品の下に重さをおさ、総合市所に 学習内容(単元・項目)	火順で昇山りる。 	学習到達目標(評価	1 日 沙焦 \		
第2編 物質の変			子百到莲日倧(評価	况毕/		
第1章 化学反応 1 化学反応と 2 化学反応と 第3章 化学反応 1 化学反応の 2 反応条件と 3 化学反応の 第4章 化学平行 1 可逆反応と 2 平衡状態の	ぶとエネルギー 熱 光	・結合エネルギーと反応熱の関係を ・光化学反応や化学発光を理解し ・同じ反応でも着目する物質によっ ・反応速度と濃度,温度,触媒,表 ・触媒を加えると活性化エネルギー ・化学平衡の法則を理解し,平衡定数を ・温度,圧力,触媒などの条件がど ・塩の加水分解,弱酸・弱塩基の遊	ている。 で反応速度が異なることを 面積の関係を理解している。 は変化するが、反応熱は を求めたり、平衡状態での物でのようにして決められてい	る。 変化しなV 質の物質量 るかを理角	いことを理解 を求めること な	
1 有機化合物 2 有機化合物 第2章 脂肪化力 2 節和炭化力 2 節和炭化力 3 下アルン 3 アルンデ族ルン 3 エス 芳香 大大 4 で 芳子 香機 1 アカン 3 芳香 大大族 1 アカン 3 芳香 大大族 1 アカン 3 芳香 大大族 1 アカン 3 芳族 アカン 3 芳香 大大族 4 で カンシャン 4 で カンシャン 5 で 大大な 6 で カンシャン 6 で カンシャン 7 で カンシャン	合物の分類と分析物の特徴と分類物の分類と分類が多数に水素と大きない。 とかままたが、大きないでは、まないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	・有機化合物と無機化合物の相違 ・構造式から性質や反応性を考察 ・構造異性体の関係を理解し、知識 ・代表的な官能基の性質に対する。 ・炭化水素の性質や反応性がその ・炭化水素の分類とその反応性との ・官能基をもつ有機化合物の性質 学異性体を論理的に考察する。 ・酸素を含むものとしてアルコール 験を通して考察する。 ・芳香族炭化水素や、官能基をもつ 出し、構造異性体や光学異性体を ・酸素を含むものとしてフェノール業 機化合物相互の関連について、観 ・芳香族化合物の位置異性体の関	・判断できる。 識を身につけている。 知識を身につけている。 構造に特徴付けられる事)関係や構造異性体の関係 や反応性がその構造に特 誘導体を中心に,反応性。 の芳香族化合物の性質や 論理的に考察する。 頁,窒素を含むものとしてま は察・実験を通して考察する。	を見出し、 深を理解し、 徴付けられ と有機化合 反応性がそ こトロ化合物 な。	、知識を身い いる事を見出 物相互の関 その構造に物 物、アミン類を	につけている。 は、構造異性体や光 引連について、観察・実 特徴付けられる事を見
第5編 天然有標 第1章 天然有機化 2 単糖類・二 3 アミノ酸 第2章 天糖類 2 タンパク質・ 第6編 高分子化合 第1章 高分子化合 第2章 合成高	機化合物 と合物の種類 糖類 分子化合物 ・核酸 分子化合物 化合物の性質 合物の構造と性質	・リン脂質と細胞膜について理解し・糖の量的関係に関連する計算問: ・アミノ酸の等電点について理解し・デンプンの加水分解に関わる計算・タンパク質の成分元素について理・高分子化合物は、単量体が重合・	題が解ける。 ている。 章問題を解くことができる。 単解し,それに関する問題			ている。
1 合成繊維 2 合成樹脂		・合成繊維の量的関係についての ・合成樹脂の重合度について理解				
0 0 IN IN IN INC			1 / 1 V '/- 1-			

・合成樹脂のリサイクルについて理解している。

・合成ゴムの原料, 構造を性質を理解している。

2 合成樹脂

3 高分子化合物と人間生活

4 天然ゴムと合成ゴム

令和4年度	教育計画 (シラバス)					
学科名	学年	教科		科目	3	単位数
理数科学科	3	理数		理数点	生物	5
	教科書	補助教材				
改訂	生物(東京書籍)	リードα生物基礎+生物、生	物重要問題集	(数研)、スクコ	ニア最新図説	生物neo(第一学習社)
到達目標		る探究心を高め,目的意識 こ,生物学の基本的な概念				
	①関心·意欲·態度	②思考·判断·表現	③観察・実	験の技能	(2	D知識·理解
評価の観点	自然現象に対して興味・ 関心を高め、疑問点を見いだそうと意欲的に取り 組もうとする。また、自然 界の様々な事象を科学的 に考察しようとする。	生物や生命現象の普遍 的な原理・原則に基づき ながら、なぜ多様性を示 しているかを考えることが できる。また、生物や生命 現象の仕組みや働きを 総合的に見たり、相互関 連的に考え、説明するこ とができる。		、適切な方様な生物やそれですることに、観察・実をレポート	概念や原	命活動の基本的な 理・法則が理解でき 主物の持つ歴史性が う。
	1 定期考査で②「思考・半	判断•表現」、④「知識•理解	」を評価する。			
学習の評価	2 課題の提出状況、授業実験及びそのレポートによ	中の実験・観察の態度及で り③「技能」を評価する。	バ課題テストで	҈∭「関心・意	欲・態度」を	学評価し、授業中の
	3 上記1に重きを置きなか	ら、2の観点を加えて、総合	合的に評価す	る。		
学習内	内容(項目·単元)		学習到達目	目標(評価規	準)	
4編 生物の環境応 1章 動物の刺激 2章 動物の行動 3章 植物の環境	の受容と反応	・外界の刺激を受容し,神経 ・刺激に対する反応としての動 ・植物が環境変化に反応する	動物個体の行動	について理解	解することがて	
5編 生態と環境 1章 生物の多様 2章 個体群と生物 3章 生態系の物 4章 生態系と生物	勿群集 質生産とエネルギーの流れ	・個体群とその変動について解することができる。 ・生態系における物質生産と・生物多様性に影響を与える	エネルギー効率	について理解	解することが つ	<i>で</i> きる。
6編 生物の進化と 1章 生命の起源 2章 進化のしくみ 3章 生物の系統	と生物の変遷	・生命の起源と、その後の生生・生物進化がどのようにして起 ・生物はその系統に基づいて	こるのかを理解	なることができ	きる。	

## 第 等 学 彩	中和4十尺 第			I	女をより	ФIП	片 (子*)		
対象 学 科			学年		教科	科目	単位数		
知識・技能 型参・判断・表現 型参・判断・表現 運動の会理が、計画的な実験を 型き・判断・表現 運動の会理が、計画的な実験を 型き・対断・表現 理動・記録は、選動・治画がを発見、会理 (果たい、年期にわたって運動を 助、計画的が解決に向けて思考 (果たい、年期にわたって運動を 助、計画的が解決に向けて思考 力の必要性について関助すると サールドするととは、自己や析的 にするため、運動の多様性では の考えたことを他者に伝える力を 力の必要性について理動すると サールドするととは、自己や析的 にするため、運動の多様性では の考えたことを他者に伝える力を 力を必要性について関助すると サード できたした 自己や析的 にないません。自己の責任を果た 大家にようせっながなり サード できたい 連続して、空間にかって運動でして、 大家にようしてみなどの意欲を 育っると地に、理能であるで表して、 大家にようせっないとの意欲を 音っるとして、健康・安全を確して、 大家にようしたって建立して運動・大家にようせっなが、 大家にようしたって運動して運動 (と、生産にしたして、経費・実施・安全・経費・会しまして、 大家にようしたって運動して運動・経費・大事にの発音等の観察評価から得られた評価で表して、 一部で対象と加速して、関心でもも、体はでしたり、体力を高めたりする。 (2) 互いに協力して運動を行う。(3) 体はないに協力して運動を行う。(4) 体のでの事態を行う。(3) 体はないに協力して運動を行う。(4) 体のでは、表現を関係を高め、人物を生かしたの状態を自覚して、その責任を果たし、互いに協力して関心を対している。(4) キームの課題や自己の産力に応じて運動の技術を高め、体理を生かしたの状態を自覚して、その責任を果たし、互いに協力して関連をディームができるようになる。 (3) 海状に変してゲームができるようになる。 (4) オームにおけるとかに表現を表して、一部できるようになる。 (4) オームにおけるとかに表現を表して、一部できるようにする。(3) 教育課題によりたいでもようにする。(3) 教育課題によりたいで、表別を制定的にようとした。最初を関係的に対しまを要求をしまって、との情報を向け、対したとないで表現にようとすることができるようにする。(3) 技術の名称で行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などの理解に、自己や特別の課題に応じた運動を建設するとかできるようにする。(3) 技術の名称で行い方、体力の高数に記した。単数と自己の強性を果たそうとすることが、発表が任めいに対しるが対していまいを表別している。(4) 技術の名称で行い方、体力のあり方、課題解決の方法、変技を全体験することができるようにする。(3) タンスの4 条や手形、取力的などで表表ができるようにする。(4) 教育の表別を信念することができるようにする。(4) 教育の表別を信念することができるようにする。(4) 教育の表別を信息がいる場合は、最初などの関係によりまって、表別の関係に対していることが、発表ができるようにする。(4) 教育の表別を行い方を必要がありまれた。(4) 教育の表別を行い方を必要がありまれた。(4) 教育の表別を行いまれた。(4) 教育の表別を行いまれた。(4) 教育の表別を行いまれたいに表別を行いまれたいできるよりに表別を行いまれたいできるよりに表別を行いまれたいに表別を行いまれたいに表別を行いまれたいできるよりに表別を行いまれたいできるよりに表別を行いまれたいできるとないできるよりに表別を行いまれたいできるとないできる	理 数 科	学 科	1		保健体育	体育	2		
無勤の主題的、計画的な事践を 担急におたって運動を表り、課題における競争やに傷かる軽減 (契約1)、計画的な事践を 担談におたって運動を表り、2種 (契約1)、生活に対る競争やに傷が (契約1)、生活に対したの運動を 的、計画的な解決に向けて思考した。 (契約1)、生活に対したの運動を 的、計画的な解決に向けて思考した。 (契約1)、生活に対したの運動を 的、計画的な解決に向けて思考した。 (当2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (教科	*	補助教材					
運動の合理的、計画的な実践を「無源にたって運動を患の、症 運動における競争や協画の経験 近て、悪物・動とを育じる課 対ってみたの場面を察し、会産を通て、空に取り組み、 カー人 力の違いを かいまない 生態におかって運動を 的、計画的な解決に向けて思考 して当から、意動の多様性や体 か考えたことを他者に伝える力を さいに当かする。日日の責任を果た は、密力の安観性について理解すると とに、それもの技能を身に付けて	新	「高等保例	建体育	Act	ive Sports 2022				
通して、運動の楽しや中宮でを実施するための課題を発見し、合理を通して、公正に取り組計、重いてはおり、生まいた。で運動を助き、計画動が対象に向けて思考、は協力する。日心の責任を失うた。とれてきるか、運動の多無性や体力の必要性について理解するとと、とうした。それの技能を発に付けて選手であり、選手の対象を発性について理解するとと、とうした。それの技能を発に付けて選手であり、選手の対象を発性について理解すると、といる表もでは気える方を、一般者・利門・表現】クルーフノー・等に記述された内容や、生後の発言等の観察評価から得られた評価である。「世界・利門・表現】クルーフノー・等に記述された内容や、生後の発言等の観察評価から得られた評価である。「生体的に学習に取り組む態度】上記をふまえて授業でのとりくみなどから総合的に評価する。「生体的に学習に取り組む態度】上記をふまえて授業でのとりくみなどから総合的に評価する。 (1)自己の体に関心をもち、体はでしをした、体力を高めたりする。 (2)ないに協力して運動を行う。 (3)なはてしの行い方と体力の高め方を実践的にエナナることが意めがいた。 (4)は一定の思念を正確に対理がすることができる。 (4)チームの思念を正確に対理をすることができる。 (4)チームの思念を正確に対理をすることができる。 (4)チームの影響を自己の定別に応じて運動の技能を高め、作戦を生か、力を対象と関制して、その責任を果たし、足いに協力して網をサイームができるよりになる。 (4)・チームにおける自己の役割を自覚して、その責任を果たし、足いに協力して網を習かイームができるよりになる。また健康・安全を確保するよりにする。 (4) 株理 動 電社を果たそうとすること、合意が成し直蔽しようすることなどで連集・安全を確保するようにする。 (3) 技術を発から、(3) 技術の運動によりてきるかに対象した事ができるができる。 (3) 技術を発から、(3) 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、発表の仕力などを理解し、自己や中間の課題に応じた運動を継続するための取り組みみを主を表しまった。 (4) 株理 教上 自己や中間の課題に応じた運動を継続するための取り組みカ フェナマキできるよりにする。 (4) 財産の各条や行い方、体力の高め方、課題解決の方と、投稿を確認がしまりままままた。 (4) 単位 タンス フェナス・大き (4) 単位 は 日本の できるようにする。 (4) 単位 タンス フェナス・大き (4) 単位 は 日本の の の の の の の の の の の の の の の の の の の					思考·判断·表現	主体的に学習に	こ取り組む態度		
学習の評価 【思考・判断・表別、リハーブノート等に記述された内容や、生徒の発言等の観察評価から得られた評価が料を力助はして諸価する。 「主体的に学習に取り組む態度】上記をふまえて授業でのとりくみなどから総合的に評価する。 学習内容(単元・項目) 「空習到塗目標(評価規度) (1)自己の体に関心をもち、体ほぐしをしたり、体力を高めたりする。 (2)互いに協力して運動を行う。 (3)体はぐしの行い方と体力の高め方を実践的に工夫することができるように (1)自己の部に縁を正確に測定することができる。 (2)チームの課題を目の能力に応じて運動の技能を高め、作戦を生かした支防を展開してゲームができるようになる。 (2)チームに認ける目の役割を自覚して、その責任を果たし、互いに協力して避害やゲームができるようになる。 (3)弱敗に対して公正な態度がとれるようになる。また健康・安全に留意して練習やゲームができるようになる。 (1)マット 鉄棒・飛び箱の運動について、技がよりよくできる果しさや高びなおい。自己に適に技を高めて、液技することができるようにする。 (3)器械運動に主体的に取り組むとせば、食割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとすることができるようにする。 (3)技め名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、発表の仕方などを連集と、自己や仲間の課題に応じた運動を計をづるための取り組みを工夫で、財産が、自己を連上を持ちための取り組をとした。第版などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとすること、できるようにする。 (3)技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを確保することができるようにする。 (3)技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを確保することができるようにする。 (3)技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方と工たできるようにする。 (3)ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、交流や発表の仕方などを理解し、自己や中間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 (3)玄流の発表の仕方などを理解し、グーブや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 (3)玄流の発表の仕方などを理解し、人となどの伝統的な行意力、交流や発表の仕方などと動を構成的に引き受け自己の責任を果たることができるようにする。 (3)玄流の対象とととに、相手を事工し、私法などの伝統的な行き、交流や発表のしたかなとを確保することができるようにする。 (3)玄流の対象に対することなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 (4)変形を発表のしたがときるようにする。 (5)変形を発表のしたかどを発表のしたりを発表のしたりを発表したいで、表現のながよりための取りが現まれていて、表記を発見したりに対しまれていて、表記を発見したりに対しまれている。 (4)変形を発見したいで、表記を発見したりに対しまれている。 (5)変形を発力したいで、表記を発見したいで、表記を発見したいで、表記を発見したいで、表記を持続しているので、表記を持続しているので、表記を持続しているので、表記を持続しているので、表記を持続しているので、表記を持続しているので、表記を持続しているので、表記を持続しているので、表記を持続しているので、表記を持続しているので、表記を持続しているので、表記を表記を表記を表記を行いませないので、表記を持続しているので、表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表	到達目標	通して, く味わい 豊かに絹 にするた 力の必要	運動の楽しさや喜い、生涯にわたって と続することができ とめ、運動の多様 要性について理解	写びを深 で運動を きるよう 性や体 なすると	続するための課題を発見し, 合理的, 計画的な解決に向けて思考し判断するとともに, 自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を	を通して、公正にに協力する、自己す、参画する、一大切にしようとす。 育てるとともに、優	取り組む, 互い この責任を果た 人一人の違いを るなどの意欲を 建康・安全を確保		
(1)自己の体に関心をもち、体ほぐしをしたり、体力を高めたりする。 (2)互いに協力して運動を行う。 (3)体ほぐしの行い方と体力の高め方を実践的に工夫することができるように1)自己の記録を正確に測定することができる。 (2)体力面での現状を知り、課題を見つけることができる。 (1)チームの課題や自己の能力に応じて運動の技能を高め、作職を生かした攻防を展開してゲームができるようになる。 (2)チームにおける自己の役割を自覚して、その責任を果たし、互いに協力して練習やゲームができるようになる。 (3)勝敗に対してななな能度がよわるようになる。また健康・安全に留意して練習やゲームができるようになる。 (3)勝敗に対してななな態度がよわるようになる。また健康・安全に留意して練習やゲームができるようになる。 (3)は変わり、食性・変しななないで、技がよりよくできる楽しさや喜びを味わい、自己に適した技を高めて、演技することがどきる楽しさや喜びを味わい、自己に適した技を高めて、演技することがさるな楽しさや趣味・安全を確保できるようにする。 (3)技の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、発表の仕方などを理解し、自己や仲間の課題ににたじた運動を計学するための取り組みを工夫(1)競走・跳躍・投口をの運動について、記録の向上や協奏の楽しさ喜びを味わい、各種目特有の技能を活めることができるようにかる。 (3)技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを確保することができるようにする。 (3)技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方な工夫できるようにする。 (1)創作ダンス、フォークゲンス、現代的なリズムのダンスについて、感じを込めて踊ったり、仲間と自由に踊ったりがこさるようにする。 (2)がススに事体的に取り組むととに、互いに表慮らあらようよりな方で、表しまととや、健康・安全を確保することができるようにする。 (3)グスの名称や発表の化方などを理解し、クレーブや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 (3)がスの名称を発表の化力などを理解し、見いを音が表しまった。 (3)がよの音が表しまった。と、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 (3)が高のたりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりま	学習の評価	【思考・料 価の材料	判断・表現】 グル 斗を加味して評価	ープノー する。	ト等に記述された内容や、生徒の	発言等の観察評価			
(2)互いに協力して運動を行う。 (3)体はぐしの行い方と体力の高め方を実践的に工夫することができるように (1)自己の記録を正確に測定することができる。 (1)チームの課題や自己の能力に応じて運動の技能を高め、作戦を生かした改防を展開してゲームができるようになる。 (2)チームに割ける自己の役割を自覚して、その責任を果たし、互いに協力して練習やゲームができるようになる。 (2)チームに割ける自己の役割を自覚して、その責任を果たし、互いに協力して練習やゲームができるようになる。 (3)勝敗に対して公正な態度がとれるようになる。また健康・安全に留意して練習やゲームができるようになる。 (1)マット・政棒・跳び竜の運動について、技がよりよぐさる場とや音びを味わい、自己に適した技を高めて、演技することができるようにする。 (2)器械運動に主体的に取り組むとともに、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとするための取り組みを工夫できる確保できるようにする。 (3)技の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、発表の仕方などを連解し、自己や仲間の課題に応じた運動を対とさるようにする。 (2)陸上競技に主体的に取り組むととは、原数などきへ為能に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること。会を確保することができるようにする。 (3)技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方を工夫できるようにする。 (3)技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、強な会の仕方な工夫できるようにする。 (2)グンスに主体的に取り組むととは、瓦いに実践しるための取り組み方を工夫できるようにする。 (2)グンスに主体的に取り組むととなに、瓦いに実践し高め合おうとすることがで類が見を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとすること、本質が発極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、企業を確保がることができるようにする。 (2)水道によりに引き受け自己の責任を果たそうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 (2)武道に主体的に取り組み方を工夫できるようにする。 (2)武道に主体的に取り組み方を工夫できるようにする。 (2)武道に主体的に取り組み方を工夫できるようにする。 (3)な成的な行動の仕方などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 (3)な流がは見いないがはいる。現在体的に取り組みをとれた。日とや仲間の課題に応じた運動を継続するとめの取り組み方を工夫できるようにする。 (3)な流がは関節できるようにする。 (3)な流がは関節できるようにする。 (4)ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	学習	内容(単	元•項目)						
(3)体ほぐしの行い方と体力の高め方を実践的に工夫することができるように (1)自己の記録を正確に測定することができる。 (2)体力面での現状を知り、課題を見つけることができる。 (2)体力面での現状を知り、課題を見つけることができる。 (2)チームに対ける自己の役割を自覚して、その責任を果たし、互いに協力して練習やゲームができるようになる。 (3) 勝敗に対して公正な態度がとれるようになる。 また健康・安全に留意して検習やゲームができるようになる。 また健康・安全に留意して検習やゲームができるようになる。 また健康・安全に留意して検習やゲームができるようになる。 また健康・安全に留意して検習やゲームができるようになる。 また健康・安全に留意して検習やゲームができるようになる。 また健康・安全に留意して検習やゲームができるようになる。 また健康・安全に留意して検習やゲームができるようになる。 また健康・安全に留意して検習やゲームができるようになる。 (3) といって、海域では、後別を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成し貢献しようさするためで取り組みを工夫 (1) 競走・跳躍・投できる正文にを運動を計ぞするための取り組みを工夫 (1) 競走・跳躍・投できの運動について、記録の向上や陪奏の楽しき喜びを味が、条値目与有の技術を表がことなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 (3) 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 (3) がスターのより、仲間と自由に踏ったり、全を確保することができるようにする。 (2) が、実になら、で、表して、といって、感じを込めて踊ったり、仲間と自由に発ったができるようにする。 (3) グンス (4) を発をの仕方などを理解し、パループや自己の課題に応じな思なが、変流や発表の仕方などを理解し、パループや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 (3) グンスの名称や用語、文化的音景と表現の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、交流や発表の仕方などを理解し、パループや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 (3) 伝統的な方を大切にしまりようなどを、健康・安全を確保することができるようにする。 (3) 伝統的なを入れため、現別ができるようにする。 (3) 伝統的なを入れため、現別ができるよりにする。 (4) 伝統のたちまり、理解を発見し、よりよれたの取り組み方を工夫できるよりにする。 (5) 伝統的な方を工夫できるようにする。 (5) 伝統的な行力のよりないに対しまれための取り組み方を工夫できるようにする。 (5) 伝統的な方となんないを健康・安全権保守ることができるようにする。 (5) 経験的なを発見しまりないに対しませないにもいる。 (4) 本のでもなり、理解を発見し、まりないにないないにないないにないないにないないにないないにないないにないないに	_					の、体力を高めたり	する。		
(1)自己の記録を正確に測定することができる。 (2)体力面での現状を知り、課題を見つけることができる。 (1)チームの課題や自己の能力に応じて運動の技能を高め、作職を生かした攻防を展開してゲームができるようになる。 (2) チームにおける自己の役割を自覚して、その責任を果たし、互いに協力して練習やゲームができるようになる。 (3) 勝敗に対して公正な態度がとれるようになる。また健康・安全に留意して練習やゲームができるようになる。 (1)マット・鉄棒・跳び箱の運動について、技がよりよくできる楽しさや喜びを味わい、自己に適した技を高めて、演技することができるようにする。 (2) 器械運動に主体的に取り組むとともに、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献ようとすることなどや健康・安全を確保できるようにする。 (3)技の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、発表の仕方などを理解し、自己や中間の課題に応じた運動を計をするための取り組みを工夫 (1) 競走・跳躍・投てきの運動について、記録や力法、発表の仕方などを理解しい。各種目幹有の技能を高めることができるようにする。 (2) 陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 (3) 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 (3) がスフォークゲンス、現代的なリズムのゲンスについて、感じを込めて踊ったり、仲間と自由に踊ったりする楽しさや言びを味わい、それぞれ特有の表現や弾りを高めて交流を発表ができるようにする。 (3) がスの名称や現し、まりと表現の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、交流や発表の仕方などを理解し、人がレープや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 (3) が、カスの名称や現取りを指し、本の高め方、課題解決の方法、交流の発表の仕方などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するとかできるようにする。		体つくり	運動			も的にて土みてこ	-がでキストネル		
(2)体力面での現状を知り、課題を見つけることができる。 (1)チームの課題や自己の能力に応じて運動の技能を高め、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようになる。 (2)チームにおける自己の役割を自覚して、その責任を果たし、互いに協力して練習やゲームができるようになる。 (3)勝敗に対して公正な態度がとれるようになる。 (1)マット・鉄棒・跳び箱の運動について、技がよりよくできる美にきや喜びを味わい、自己に適した技を高めて、液技することができるようにする。 (2)器械運動に主体的に取り組むとともに、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとすることなどや健康・安全を確保できるようにする。 (3)技の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、発表の仕方などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を計でするための取り組みを工夫 (1)競・粉躍・投てきる運動について、記録の自上や協変のよどき喜びを味わい、各種目特有の技能を高めることができるようにする。 (2)隆上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 (3)技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 (1)創作タンス、フォークダンス、現代的なリズムのダンスについて、感じを込めて踊ったり、仲間と自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、それぞれ特有の表現や弱りを高めて交流や発表ができるようにする。 (2)ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、体力の高め方、課題解になりまっまりできなよりにする。 (3)ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、体力の高め方、課題所に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 (3) が、公の名称や現取り稽古、体力の高め方、課題解に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 (4) 茶道、泉崎では、おりまでは、相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようとすることなど。 健康・安全を確保することができるようにする。				7. ~			こかできるように		
た攻防を展開してゲームができるようになる。 (2) チームにおける自己の役割を自覚して、その責任を果たし、互いに協力して練習やゲームができるようになる。 (3) 勝敗に対して公正な態度がとれるようになる。また健康・安全に留意して練習やゲームができるようになる。 (1) マット・鉄棒・鉄び箱の運動について、技がよりよくできる楽しさや喜びを味わい、自己に適した技を高めて、演技することができるようにする。 (2) 器械運動に主体的に取り組むととして、役割を積極的に引き受け自己の置佐を果たそうとすること。合意形成に貢献しようとすることなどや健康・安全を確保できるようにする。 (3) 技の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、発表の仕方などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を計ぞするための取り組みを工夫 (1) 競走・跳躍・投てきの運動について、記録の向上や協奏の楽しさ喜びを味わい、各種目符有の技能を高めることができるようにする。 (2) 陸上競技しをはりたりとすること、役割を積極的に引き受け自己の資任を果たそうとすること、たであればに貢献しようとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 (3) 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 (4) 創作ゲンス、フォークダンス、現代的なリズムのダンスについて、感じを込めて踊ったり、仲間と自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、それぞれ特有の表現や踊りを高めて交流や発表ができるようにする。 (5) ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることが深や発表ができるようにする。 (6) ダンスの名称や用説、文化的背景と表現の仕方、体力の高力、課題解決の方法、交流や発表の仕方などを理解し、カーブや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 (5) 武道に主体的に取り組むとともに、相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしなうまするよう、はの名称や見取り着古、体力の高め方、課題解決の方法、試合の仕方などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。		新体力ラ	テスト						
(2) チームにおける自己の役割を自覚して、その責任を果たし、互いに協力して練習やゲームができるようになる。 (3) 勝敗に対して公正な態度がとれるようになる。また健康・安全に留意して練習やゲームができるようになる。 (1) マット・鉄棒・跳び箱の運動について、技がよりよできる楽しさや喜びを味わい、自己に適した技を高めて、演技することができるようにする。 (2) 器械運動に主体的に取り組むとともに、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとすることなどや健康・安全確保できるようにする。 (3) 技の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、発表の仕方などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を計ぞするための取り組みを工夫 (1) 競走・跳躍・投てきの運動について、記録の向上や協奏の楽しさ喜びを味わい、各種目特有の技能を高めることができるようにする。 (2) 陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の賃任を果たそうとすること、とがきるようにする。 (3) 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 (1) 創作ダンス、フォークダンス、現代的なリズムのダンスについて、感じる込めで踊ったり、仲間と自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、それぞれ特有の表現や踊りを高めて交流や発表ができるようにする。 (2) ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 (1) 柔道、剣道について、技を高めの販皮を競争ととや喜びを味わい、得意技を用いたながが展開ができるようにする。 (2) 武道に主体的に取り組むとともに、相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることとなど、健康・安全を確保することが言びを使わる。 (2) 武道に主体的に取り組むとともに、相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようとすること、後割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることとなど、健康・安全を確保することができるようにする。 (3) 伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古、体力の高め方、課題解決の方法、試合の仕方などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 (1) 運動やマズボーツの効果的学習の仕方をについて、課題を発見し、よりよ							、作戦を生かし		
(3) 勝敗に対して公正な態度がとれるようになる。また健康・安全に留意して練習やゲームができるようになる。 (1) マット・鉄棒・跳び箱の運動について、技がよりよくできる楽しさや喜びを味わい、自己に適した技を高めて、演技することができるようにする。 (2) 器被運動に主体的に取り組むとともに、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとすることなどや健康・安全を確保でさるようにする。 (3) 技の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、発表の仕方などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を計ぞするための取り組みを工夫 (1) 競走・跳躍・投てきの運動について、記録の向上や協奏の楽しさ喜びを味わい、各種目特有の技能を高めることができるようにする。 (2) 陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを希静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 (3) 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 (1) 創作ダンス、フォークダンス、現代的なリズムのダンスについて、感じを込めて第ったり、仲間と自由に降ったりする楽しさや喜びを味わい、それぞれ特有の表現や踊りを高めて交流や発表ができるようにする。 (2) ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとするとなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 (3) ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、交流や発表の仕方などを理解し、グループや自己の責任を関いた攻防が展開ができるようにする。 (2) 武道に主体的に取り組むとともに、相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようとすると、役割を積極的に引き受け自己の責任を推入した方となるまった。対象に対しまりといいで、表述を確保するとかできるようにする。 (3) 伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古、体力の高め方、課題解決の方法、試合の仕方などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。						_	1。 互いに協力		
(1) マット・鉄棒・跳び箱の運動について、技がよりよくできる楽しさや喜びを味わい、自己に適した技を高めて、演技することができるようにする。 (2) 器械運動に主体的に取り組むとともに、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとすることなどや健康・安全を確保できるようにする。 (3) 技の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、発表の仕方などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を計ぞするための取り組みを工夫 (1) 競走・跳躍・投できの運動について、記録の向上や協奏の楽しさ喜びを味わい、各種目特有の技能を高めることができるようにする。 (2) 陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 (3) 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 (1) 創作ダンス、フォークダンス、現代的なリズムのダンスについて、感じを込めて踊ったり、仲間と自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、それぞれ特有の表現を知りを開かたの変勢表ができるようにする。 (2) ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 (3) ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、交流や発表の取り組み方を工夫できるようにする。 (1) 柔道、剣道について、技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、得意技を用いた攻防が展開ができるようにする。 (2) 武道に主体的に取り組むとともに、相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続することができるようにする。 (3) 伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古、体力の高め方、課題解決の方法、試合の仕方などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するとめの取り組み方を工夫できるようにする。		球技		して練習やゲームができるようになる。					
(1) マット・鉄棒・眺び箱の運動について、技がよりよくできる楽しさや喜びを味わい、自己に適した技を高めて、演技することができるようにする。 (2) 器械運動に主体的に取り組むとともに、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとすることなどや健康・安全を確保できるようにする。 (3)技の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、発表の仕方などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を計ぞするための取り組みを工夫 (1) 競走・跳躍・投できの運動について、記録の向上や協奏の楽しさ喜びを味わい、各種目特有の技能を高めることができるようにする。 (2) 陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを治静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとすること、会創を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとすることなど、健康・安全を確保することができるようにする。 (3) 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 (1) 創作ダンス、フォークダンス、現代的なリズムのダンスについて、感じを込めて踊ったり、仲間と自由に踊ったむする楽しさや喜びを味わい、それぞれ特有の表現や踊りを高めて交流や発表ができるようにする。 (2) ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることができるようにする。 (3) ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、交流や発表の取り組み方を工夫できるようにする。 (1) 柔道、剣道について、技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、得意技を用いた攻防が展開ができるようにする。 (2) 武道に主体的に取り組むとともに、相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 (3) 伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古、体力の高め方、課題解決の方法、統合の仕方などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 (1) 運動やスポーツの効果的学習の仕方をについて、課題を発見し、よりよ									
(2) 器械運動に主体的に取り組むとともに、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとすることなどや健康・安全を確保できるようにする。 (3) 技の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、発表の仕方などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を計ぞするための取り組みを工夫 (1) 競走・跳躍・投てきの運動について、記録の向上や協奏の楽しさ喜びを味わい、各種目特有の技能を高めることができるようにする。 (2) 陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることができるようにする。 (3) 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 (1) 創作ダンス、フォークダンス、現代的なリズムのダンスについて、感じを込めて踊ったり、仲間と自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、それぞれ特有の表現や踊りを高めて交流や発表ができるようにする。 (2) ダンス、三な仲間の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 (3) ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、交流や発表の仕方などを理解し、グループや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 (1) 柔道、剣道について、技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、得意技を用いた攻防が展開ができるようにする。 (2) 武道に主体的に取り組むとともに、第十を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 (3) 伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古、体力の高め方、課題解決の方法、試合の仕方などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 (3) 伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古、体力の高め方、課題解決の方法、試合の仕方などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。				(1) マッ	・鉄棒・跳び箱の運動について、土				
(1) 競走・跳躍・投てきの運動について、記録の向上や協奏の楽しさ喜びを味わい、各種目特有の技能を高めることができるようにする。 (2) 陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること。合意形成に貢献しようとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 (3) 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 (1) 創作ダンス、フォークダンス、現代的なリズムのダンスについて、感じを込めて踊ったり、仲間と自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、それぞれ特有の表現や踊りを高めて交流や発表ができるようにする。 (2) ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献とようとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 (3) ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、交流や発表の仕方などを理解し、グループや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 (2) 武道に主体的に取り組むとともに、相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 (3) 伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古、体力の高め方、課題解決の方法、試合の仕方などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 (1) 運動やスポーツの効果的学習の仕方をについて、課題を発見し、よりよ		器械運	動	(2) 器械運動に主体的に取り組むとともに、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとすることなどや健康・安全を確保できるようにする。					
味わい、各種目特有の技能を高めることができるようにする。 (2) 陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 (3) 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 (1) 創作ダンス、フォークダンス、現代的なリズムのダンスについて、感じを込めて踊ったり、仲間と自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、それぞれ特有の表現や師りを高めて交流や発表ができるようにする。 (2) ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 (3) ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、交流や発表の仕方などを理解し、グループや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 (1) 柔道、剣道について、技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、得意技を用いた攻防が展開ができるようにする。 (2) 武道に主体的に取り組むとともに、相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 (3) 伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古、体力の高め方、課題解決の方法、試合の仕方などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 (1) 運動やスポーツの効果的学習の仕方をについて、課題を発見し、よりよ									
ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 (3) 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 (1) 創作ダンス、フォークダンス、現代的なリズムのダンスについて、感じを込めて踊ったり、仲間と自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、それぞれ特有の表現や踊りを高めて交流や発表ができるようにする。 (2) ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、グ割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 (3) ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、交流や発表の仕方などを理解し、グループや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 (1) 柔道、剣道について、技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、得意技を用いた攻防が展開ができるようにする。 (2) 武道に主体的に取り組むとともに、相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 (3) 伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古、体力の高め方、課題解決の方法、試合の仕方などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 (1) 運動やスポーツの効果的学習の仕方をについて、課題を発見し、よりよ							ク栄しさ暑いを		
などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 (1) 創作ダンス、フォークダンス、現代的なリズムのダンスについて、感じを込めて踊ったり、仲間と自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、それぞれ特有の表現や踊りを高めて交流や発表ができるようにする。 (2) ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 (3) ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、交流や発表の仕方などを理解し、グループや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 (1) 柔道、剣道について、技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、得意技を用いた攻防が展開ができるようにする。 (2) 武道に主体的に取り組むとともに、相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 (3) 伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古、体力の高め方、課題解決の方法、試合の仕方などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 (1) 運動やスポーツの効果的学習の仕方をについて、課題を発見し、よりよ		陸上競	技	(2) 陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、 ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の 責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとすることなどや、健康・安					
めて踊ったり、仲間と自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、それぞれ特有の表現や踊りを高めて交流や発表ができるようにする。 (2) ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 (3) ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、交流や発表の仕方などを理解し、グループや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 (1) 柔道、剣道について、技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、得意技を用いた攻防が展開ができるようにする。 (2) 武道に主体的に取り組むとともに、相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 (3) 伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古、体力の高め方、課題解決の方法、試合の仕方などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 (1) 運動やスポーツの効果的学習の仕方をについて、課題を発見し、よりよ				などを理 を工夫 ^で	理解し、自己や仲間の課題に応じた できるようにする。	運動を継続するた	とめの取り組み方		
ダンス 役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 (3) ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、交流や発表の仕方などを理解し、グループや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 (1) 柔道、剣道について、技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、得意技を用いた攻防が展開ができるようにする。 (2) 武道に主体的に取り組むとともに、相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 (3) 伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古、体力の高め方、課題解決の方法、試合の仕方などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 (1) 運動やスポーツの効果的学習の仕方をについて、課題を発見し、よりよ				めて踊っ	ったり、仲間と自由に踊ったりする楽 見や踊りを高めて交流や発表ができ	しさや喜びを味わ きるようにする。	い、それぞれ特		
 決の方法、交流や発表の仕方などを理解し、グループや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 (1) 柔道、剣道について、技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、得意技を用いた攻防が展開ができるようにする。 (2) 武道に主体的に取り組むとともに、相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 (3) 伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古、体力の高め方、課題解決の方法、試合の仕方などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 (1) 運動やスポーツの効果的学習の仕方をについて、課題を発見し、よりよ 		ダンフ	ス	役割を利	責極的に引き受け自己の責任を果る	たそうとすること、台	合意形成に貢献		
技を用いた攻防が展開ができるようにする。 (2) 武道に主体的に取り組むとともに、相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 (3) 伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古、体力の高め方、課題解決の方法、試合の仕方などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 (1) 運動やスポーツの効果的学習の仕方をについて、課題を発見し、よりよ				決の方法 た運動を	去、交流や発表の仕方などを理解し と継続するための取り組み方を工夫	、グループや自己 できるようにする。	己の課題に応じ		
(2) 武道に主体的に取り組むとともに、相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 (3) 伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古、体力の高め方、課題解決の方法、試合の仕方などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 (1) 運動やスポーツの効果的学習の仕方をについて、課題を発見し、よりよ							と味わい、得意		
法、試合の仕方などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続する ための取り組み方を工夫できるようにする。 (1)運動やスポーツの効果的学習の仕方をについて、課題を発見し、よりよ		武道	Î	(2) 武道 動の仕	に主体的に取り組むとともに、相手 方を大切にしようとすること、役割を	を尊重し、礼法な 積極的に引き受け	自己の責任を		
				(3) 伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古、体力の高め方、課題解決の方法、試合の仕方などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続する					
		体育理	!iiia				発見し、よりよ		

学科/		学年		教科	科目	単位数		
普 通 理 数 科 人文社会和		1		保健体育	保健	1		
	教科	書		補助教材				
新	高等保險	建体育	図記	说新高等保健				
到達目標	康·安全	知識・技能 び社会生活にま について理解を もに,技能を身に	深めて	思考・判断・表現 健康についての自他や社会の 課題を発見し、合理的、計画的 な解決に向けて思考し判断して いるとともに、目的や状況に応じ て他者に伝えている。	主体的に学習に 生涯を通じて自 持増進やそれを りを目指し、明る る生活を営むたる 的に取り組もうと	他の健康の保 支える環境づく く豊かで活力あ かの学習に主体		
学習の評価	【思考・料評価する	判断·表現】 グル る。	ープワー	の場面でも活用できる程度に概念 ークでの観察評価や小テストなど、 上記をふまえて授業でのとりくみ	多様な評価方法を	と組み合わせて		
学習内容(単元・項目) ・ 日本における健康課題の変遷 ・ 健康の考え方と成り立ち ・ ヘルスプロモーションと健康に関わる環境づくり ・ 健康に関する意思決定・行動選択 ・ 現代における感染症の問題 ・ 感染症、エイズとその予防 ・ 性感染症、エイズとその予防 ・ 生活習慣病の予防と回復 ・ 身体活動、運動と健康 ・ 食事と健康 ・ がんの予防と回復 ・ 喫煙と健康 ・ がんの予防と回復 ・ 喫煙と健康 ・ 禁酒と健康 ・ 精神疾患の特徴 ・ 精神疾患の対応				学習到達目標(評 疾病構造や社会の変化に対応し健 へルスプロモーションの考え方に 表を適切に管理すること及び環境を とを理解できるようにする。 見代社会と健康に関わる事象や情 スクの軽減、生活の質の向上、健 大方法を関連付けて考え、適切なる ることができるようにする。 見代社会と健康についての学習に できるようにする。 疾病構造や社会の変化に対応し健 できるようにする。 疾病構造や社会の変化に対応し健 大方法を関連できるようにする。 見代社会と健康に関わる事象や情 スクの軽減、生活の質の向適切なる まとを理解できるようにする。 見代社会と健康について、自他の係 大方法を関連付けて考え、適 大方法を関連付けて考え、 のできるようにする。 見代社会と健康についての学習に なる社会づくりについての学習に できるようにする。	康を保持増進していくこと 表では、 表では、 を保持していくこと では、 をは、 をは、 をは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	- 人が しくらん こう		
事故の事故の事故の事故の事故の事故の事故を安全なるを心の事故を心の事故を心の事故を心の事故を心の事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事故をのの事なをのの事なをのの事なをのの事なをのの事なをのの事なをのの事なをのの事なをのの事なをのの事なをのの事なをのの事なをのの事なをのの事なをのの事なをのの事なをのの事なをのの事なをのの事なをのの事なをのの事なをのの事なをのの事なをのの事なをのの事なをのの事なをのの事なをのの事なをのの事なをのの事なをのの事なをのの事なをのの事なをのの事なをのの事なをのの事なをのの事なをのの事なをのの事なをのの事なをのの事なをのの事なをのの事なをのの事なをのの事なをのの事なをのの事な	数防止の 社会の形 当の意義 生法	取り組み 成 と救急医療体制	え, き 会と (2) やしす (3) れ	事故等の発生には人的要因及び現事故等の防止に加え,発生に伴うと形成するには個人の取組に加えを理解できるようにする。 安全な社会生活に関わる事象や性会の危険の予測を基に危険を回よりする方法を選択し,安全な社会に 安全な社会生活に可かる。 安全な社会生活について,自他のでするができるようにする。 好するができるようにする。	傷害などを軽減して社会的な取組だ 青報から課題を発 避したり,傷害の の実現に向けてる の健康の保持増進	、安全な社 が求められる 見し、自他 悪化を防止 れらを説明 や回復、そ		

令和4年度	教育計画	(シラバス)
卫州446	教目計画	(ンフハハ

71441度			//\ ^)			VV	
学科名	名	学年	教科	-	科目	単位数	
普通科·理数 人文社会和		2	保健体	育	体育	2	
	教科書				補助教材		
現代高等 保		改訂版 (大修館)			Active Sports 2		
到達目標	的に運動		力を育てるとともい			文字践を通して,生涯にわたって計画 かの育成と体力の向上を図り,明るく豊	
評価の観点	運動の楽し うことができ 責任などの ともに、健	心・意欲・態度 しさや喜びを深く味わ きるよう、公正、協力、 の態度を身に付けると 康・安全に留意して としようとする。	の特性に応じた課	能力と運動 題の解決を	③運動の技能 自己の能力と運動の特性 じた課題の解決を目指し 動を行うとともに、運動の 高めている。また、自分の や生活に応じて体力を ための運動の合理的な行 を身につけている。	生に応 社会の変化とスポーツ、運動技能 て運 の構造と運動の学び方、体ほぐし の技能を の意義と体力の高め方に関する基 の体力 礎的な事項を理解し、知識を身に 高める 付けている。	
学習の評価	の技能、	4知識・理解を加味				、実技テストで②思考・判断、③運動	
学習	引内容(単)	元•項目)	(1)白コ <i>の(4</i>)ヶ町:	1. 4.4. 4 Hora	学習到達目標(評価		
	体つくりぇ	運動	(2)互いに協力して	運動を行う。	ぐしをしたり、体力を高め め方を実践的に工夫する		
	新体力ラ	テスト	(1)自己の記録を』 (2)体力面での現れ		ることができる。 を見つけることができる。		
			(1)チームの課題 ムができるようにな	や自己の能力 る。	に応じて運動の技能を高	るめ、作戦を生かした攻防を展開してゲー は、 互いに換力して連羽のゲームがで	
	球技		(2) チームにおける自己の役割を自覚して、その責任を果たし、互いに協力して練習やゲームができるようになる。 (3) 勝敗に対して公正な態度がとれるようになる。また健康・安全に留意して練習やゲームができるようになる。				
			(1) マット・鉄棒・跳び箱の運動について、技がよりよくできる楽しさや喜びを味わい、自己に適した技を高めて、演技することができるようにする。				
	器械運	動	(2) 器械運動に主体的に取り組むとともに、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとすることなどや健康・安全を確保できるようにする。 (3)技の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、発表の仕方などを理解し、自己や仲間の				
			課題に応じた運動	を計ぞするた	めの取り組みを工夫でき		
			技能を高めることだ	ができるように	する。	静に受け止め、ルールやマナーを大切に	
	陸上競	技	することなどや、健	康・安全を確	保することができるようにて	果たそうとすること、合意形成に貢献しようと する。 法、競技会の仕方などを理解し、自己や仲	
			間の課題に応じた	運動を継続す	るための取り組み方を工		
	ダンフ	ζ.	由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、それぞれ特有の表現や踊りを高めて交流や発表ができるようにする。 (2) ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 (3) ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、交流や発表の仕方などを理解し、グループや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫でき				
るようにする。 (1) 柔道、剣道について、技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味ができるようにする。 (2) 武道に主体的に取り組むとともに、相手を尊重し、礼法などのうとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとなることができるようにする。 (3) 伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古、体力の高め方、記理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り					去などの伝統的な行動の仕方を大切にしよ		
	体育理	論		ツの効果的学	習の仕方をについて、課	題を発見し、よりよい解決に向けて思考し	

令和4年度	教育計画	(シラバス)
-------	------	--------

学科名	占	学年	教科	科目	単位数			
普通科•理数人文社会和		2	保健体育	保健	1			
	教科書	<u>+</u>		補助教材	†			
現代高等 保	と健体育 こ	改訂版 (大修館)		図説現代高等保備	建 改訂版			
到達目標		よび社会生活においていくための資質		理解を深めるようにし、生	生涯を通じて自らの健康を適切に管理			
	関心	ℷ•意欲•態度	思考•判断	技能	知識•理解			
評価の観点	ける健康ち、意欲に	・安全に関心をも	個人生活や社会生活にける健康・安全について 課題の解決を目指して え、判断している。	:、安全についての認	課題 る健康·安全について、課題の			
学習の評価	し総合的は	に評価する。	③知識・理解を、授業状	況で①関心・意欲・態度	度 ②思考・判断 ③知識・理解を加味			
学	智内容(重	単元•項目)		学習到達目標	(評価規準)			
II 生涯を通 1 思春期と 2 性意識と 3 結婚生活 4 妊娠・出 5 家族計画 6 加齢者の	健康 性行動の違 話と健康 産と健康 ゴと人工妊娠 康		・性に関する情報へ理解する。 ・健全な結婚生活は解する。 ・受精、妊娠、出産・加齢に伴い、心身・中高年の健康状態を取り上げるととも	・健全な結婚生活について、心身の発達や健康状態など保健の立場から理				
Ⅱ 生涯を通 8 保健制度 9 医療制度 10 医薬品と 11 様々な保 Ⅲ 社会生活	Eとその活月 Eとその活月 健康 健活動や	Ħ	の他の機関などか 健・医療サービスな ・生涯を通じて健康	ら保健に関する情報や などが提供されていること を保持増進するために 後関および保健・医療サ	健・医療制度が存在し、行政およびそ 医療の供給、医療費の保障も含めた保 とを理解する。 は、自己の健康上の課題を的確に把 ービスなどを適切に活用していくこと			
1 大気汚染 2 水質汚濯 3 健康被害	と健康 6・土壌汚ジ		たらすことがあるこ。		などは、人々も健康に影響や被害をも を理解する。			
■ 3 健康被害 ■ 社会生活 4 環境衛生	と環境			確保や健康増進にかか	る法律や行政・生産者・消費者の役割			
5 食品衛生 6 食品と環 7 働くことの	境の保健と		健康管理が必要で・働く人の健康の保	あることを理解する。 R持増進は、心身の両面	はび予防のための安全管理と働く人の fiにわたる総合的、積極的な対策の推			
7 働くことの健康 8 労働災害と健康 9 健康的な職業生活					な余暇の活用が大切であることを理解			

かうとかできるよう。公正、協 力 責任などの態度を身に付 さんとしに、健康・安全に得 まして日ら運動をしようとする。 生 大している。		- 	学年	フハス) 教科	科目	単位数			
教科書 現代高等 保健体育 改訂版 (大修館) 現産目標 のとは今一体としてもらえ、健康・安全や運動についての理解に運動の合産が原子製を通して、生産にわたって、会験の実した質して設定を育てる。 (型型の大しや東水原水・カラニができるよう、企工機 の保持の生かの大き製力の育成と体力の向上を図り合、機力のような主味である。 (型をサルーフの能力が関動 コーの能力が関動) コーの能力を関わる生活を含む態度を育てる。 (型型の大しや東水原水・カラニができるよう、企工機 の操性に応じた課題の解決を とた課題の解決を目的して適 作 分かめが、原本ととに 健康・安全に関 立して、自力・選加・対方ととに、関助の仕事を対し カラニができるよう、企工機 の特性に応じた課題の解決を とた カウモがに応じてはありた。原本に関して、活動の仕力を考え、カウエルを対して、 一般の主義の主力を対した。 大きしている。 「サース・プロ・ス・カウエル・フ・運動は かった は、 1 生のかか に 1 生のか か に 1 生の 1 生の か に 1 生の 1			3	保健体育	体育	2			
現代高等 保健体育 改計版 (大修館)	人又个			71.70					
別達目標	現代高質								
理動の歌にさや音びを深ま、 力のとおいるとから、出、他 の の特性に反じた課題の解除を、 自指して、活動の仕力を考え、 上大している。 また、自分の体 力の高め方に関する基礎的 を言めている。また、自分の体 力をとはに、健康な会に付 できるとはに、健康な会に付 できるとはに、健康な会に付 できるという。また、自分の体 力を得なにている。 学習内容(単元・項目) 学習内室(単元・項目) 学習内達目標(単価規準) (1)自己の体に関心をもち、体ほでしをしたり、体力を高めたりする。 (2)互いに協力して運動を行うととした。体力を高めたりする。 (3)体はなしの行い方と体力の高め方を実践的に工夫することができるようになる。 (3)体が、加速を名ので、演技を名ので、演技を名ので、できる。 (3)体力での現状を知り、課題を見つけることができる。 (3)体力での現状を知り、課題を見つけることができる。 (3)なるを水でが、方とはないできるようにする。 (3)なるを水でが、方とかできるようにする。 (3)なるを水でが、方、体力の高め方を実践的に引き受け自己の責任を果たそうと、 こと、合意形成に貢献しよりとせて、役割を構修的に引き受け自己の責任を果たそう。 (4) 変更、推進・数とさに、役割を構修的に引き受け自己の責任を果たそう。 (4) 変更、推進・数とができるようにする。 (4) 変更、経験、労金を確保できるようにする。 (5) といて、技がよりまできる。 (6) といて、技がよりまできる。 (7) 変更、経験、労金を確保できるようにする。 (6) といて、とのできる。 (7) 変更、経験、労金を確保できるようにする。 (7) 変更、経験、労金を確保できるようにする。 (8) 上競技と上体的に取り組むととに、別なとと冷能に受け止め、ルールやマナーを としたことなどや、健康、労金を確保できるようにする。 (9) を開発の名からに近て重整を維持するための取出も方を上下できるようにする。 (1) 部がタンス・フェータグンス、現代的方がズムのグンスとついて、感じを込めで師かたり、作 中間の課題に応じた運動を維持するための取出も方を上できるようにする。 (1) 部がタンス・フェータグンス、現代的方がズムのグンスとついて、感じを込めで師かたり、作 中間の課題に応じた運動を健康するとのできるようにする。 (3) タンスのと様や介は、方、位かの高め方、課題解決の方法、交流、受け自己の責任を果たそうとすることなどや、健康、安全を目の表した。 エルに共成に対していて、のできるようにする。 (3) タンスのとは今のにかして連動の技能を高め、作戦を生かしための知知も方が、交流、多さるようにする。 (3) タンスのとは今の所に続いて連動の技能を高め、作戦を生かしための知知も方ができるようになる。 (2) チームの課題や自己の能力に応いて連動の技能を高め、作戦を生かしための知知も方ができるようになる。 (3) チームの課題や自己の能力に応いて連動の技能を高め、作戦を生かしための知知も方ができるようになる。 (3) チームの課題や自己の能力に応いて連動の技能を高め、作戦を全かしための知知も方ができるようになる。 (3) チームの課題や自己の能力に応いて連動の技能を高め、作戦を全がしための知知も方を上で、のではないではないではないではないではないではないではないではないではないではない		心と体を画的に運	と一体としてとらえ, 動に親しむ資質や	能力を育てるとともに、健康の	の理解と運動の合理的な実践				
かうことができるよう。公正、協 の特性に応じた課題の解決を目指して選 自指して、活動の仕方を考え。 工夫している。 を作うとしたは、運動の状態 を増加し、知識を与に付けている。 また自ら運動をしようとする。 またして自ら運動をしようとする。 またしている。 また自の解析 かや生活に応じて体力を高め ための運動の分類的が対 がを身につけている。 学習が況で①関心・意欲・態度 ②思考・判断 ③運動の技能 ④知識・理解を、実技テストで②思考・判断 運動の技能 ④知識・理解を加味し総合的に評価する。 学習列達目標(評価規準) (1)自己の体に関心をもち、体はぐしをしたり、体力を高めたりする。 (2)エいに協力して運動を行う。 (3)体はぐしの行い方と体力の高め方を実践的に工夫することができるようになる。 (4)キョボでの現状を知り、課題を見つけることができる。 (2)を分ができるようになる。 (2)を分がした。 (2)を分がした。 (2)を分がした。 (3)を多な、実践を現代して、となどとや情味、安全を確保できるようにする。 (2) 器域運動 (2) 器域運動に主体的に取り組むとともに、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとこと、含形成に貢献しようとすることなどや健康、安全を確保できるようにする。 (3)接の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、発表の仕方などを理解し、自己やの課題に応じた運動を行うないの取り組みを工夫できるようにする。 (3) 接近の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、発表の仕方などを理解し、自己やの課題に応じた運動を指からことができるようにする。 (3) 技術の名称や行い方、体力の高め方、理解解決の方法、発表の仕方などを理解し、自己やの課題に応じた運動を指続することのできるようにする。 (3) 技術の名称や行い方、体力の高め方、決理解決の方法、競技会の仕方などを理解し、自由に関心であるようにする。 (4) 対所を分かで行うましたからならまりにする。 (5) 技術の名称や行い方、体力の高め方、理解解決の方法、競技会の仕方などを理解し、自由に関心でする実とをするとないである。 (5) 技術の名称や行い方、体の高め方、決理解決の方法、変が会者さるようにする。 (6) ダンス、ユース・ロース・ロース・ロース・ロース・ロース・ロース・ロース・ロース・ロース・ロ		①関	心·意欲·態度	②思考•判断	③運動の技能	④知識•理解			
学習内容(単元・項目)	評価の額	わうことが [*] 現点 力、責任な けるとともり	できるよう、公正、協 などの態度を身に付 こ、健康・安全に留	の特性に応じた課題の解決を 目指して、活動の仕方を考え、	じた課題の解決を目指して運動を行うとともに、運動の技能 を高めている。また、自分の体力や生活に応じて体力を高め るための運動の合理的な行い	社会の変化とスポーツ、運動技能の構造と運動の学び方、体ほぐしの意義と体力の高め方に関する基礎的な事項を理解し、知識を身に付けている。			
(1)自己の体に関心をもち、体ほぐしをしたり、体力を高めたりする。 (2)互いに協力して運動を行う。 (3)体ほぐしの行い方と体力の高め方を実践的に工夫することができるようになる。 (1) ロークに繋を正確に測定することができる。 (2)体力面での現状を知り、課題を見つけることができる。 (3) なっか、演技することができる。 (4) マット・鉄棒・班び箱の運動について、技がよりよくできる楽しさや喜びを味わい、自己に近技を高めて、演技することができるようにする。 (5) 接方の名称や行い方、体力の高め方を実践的に引き受け自己の責任を果たそうとった。合き形成に貢献しようとすることなどや健康・安全を確保できるようにする。 (6) 接力の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、発表の仕方などを理解し、自己やの課題に応じた運動を書でするための取り組みを工夫できるようにする。 (1) 競走・跳躍、投てきの運動について、記録の向上や協奏の楽しさ喜びを味わい、各種自教技能を書あることができるようにする。 (2) 陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーをしようとったなどや、健康・安全を報告することがないまたができるようにする。 (3) 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解し、自仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 (1) 創作ダンス、フォークダンス、現代的なリスムのダンスについて、記述を込めて聞ったり、作自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、それぞれ特有の表現や節む合めて安流や発えさるようにする。 (2) ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、役割を積極的に受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとすることなどや、健康・安全を付着るようにする。 (3) ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、交流表の仕方などを理解し、グループや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方ができるようにする。 (1) チームの課題を自己の役割を自覚して、その責任を果たし、互いに協力して練習やゲームができるようになる。 (2) 野ルスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、体中を生かした攻防を展開しんができるようになる。 (2) チームにおける自己の役割を自覚して、その責任を果たし、互いに協力して練習やゲームをようになる。 (3) 勝敗に対して公正な態度がとれるようになる。また健康・安全に留意して練習やゲームがさなよりになる。また健康・安全に留意して練習やゲームが	学習の記				動の技能 ④知識・理解を、領	実技テストで②思考・判断、③			
(2)互いに協力して運動を行う。 (3)体ほぐしの行い方と体力の高め方を実践的に工夫することができるようになる。 (1)自己の記録を正確に測定することができる。 (2)体力面での現状を知り、課題を見つけることができる。 (2)体力面での現状を知り、課題を見つけることができる。 (2) 部械運動に主体的に取り組むとともに、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとこと、合意が成に貢献しようとすることができるようにする。 (3) 技の名称や行い方、体力の高め方、課題が決の方法、発金の仕方がとを理解し、自己やの課題に応じた運動を計ぞするための取り組みを工夫できるようにする。 (1) 競走・跳躍・投てきの運動について、記録の向上や協奏の楽しさ喜びを味わい、各種目科技能を高めることができるようにする。 (2) 陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーをしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献とようとすることができるようにする。 (3) 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解し、自中間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 (1) 創作ダンス、フォークダンス、現代的なリズムのダンスについて、感じを込めて踊ったり、特自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、それぞれ特有の表現や簡りを高めて交流や発達さるようにする。 (3) ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合まりとすること、後割を積極的に受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとすること、後割を積極的に受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとすること、後割を積極的に受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとすること、公ができるようにする。 (3) ダンスの名称や利高、文化的背景と表現の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、交流表の仕方などを理解し、グループや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方だできるようにする。 (3) がシスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、交流表の仕方などを理解し、グループや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方だできるようにする。 (3) がシスの名称や行った。		学習内容(単	元•項目)						
(3)体ほぐしの行い力と体力の高め方を実践的に工夫することができるようになる。 (1)自己の記録を正確に測定することができる。 (2)体力面での現状を知り、課題を見つけることができる。 (1)マット・鉄棒・豚び箱の運動について、技がよりよくできる楽しさや喜びを味わい、自己に減を高めて、液技することができるようにする。 (2)器械運動に主体的に取り組むとともに、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとこと、合意形成に貢献しようとすることなどや健康・安全を確保できるようにする。 (3)技の名称や行い力、体力の高め方、課題解決の方法、発表の仕方などを理解し、自己やの課題に応じた運動を計ぞするための取り組みを工夫できるようにする。 (1) 競走・跳躍・投てきの運動について、記録の向上や協奏の楽しさ喜びを味わい、各種目外技能を高めることができるようにする。 (2) 陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーセンしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうをすること、合意形成に貢献とすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 (3) 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解し、自中間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 (1) 創作ダンス、フォークダンス、現代的なリズムのダンスについて、感じを込めて踊ったり、何自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、それぞれ特有の表現や踊りを高めて交流や発えさるようにする。 (2) ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、役割を積極的に受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとすることなどや、健康・安全をすることができるようにする。 (3) ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、交流表の仕方とと理解し、グループや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方だできるようになる。 (1) デームにおける自己の役割を自覚して、その責任を果たし、互いに協力して練習やゲームができるようになる。 (3) 勝敗に対して公正な態度がとれるようになる。また健康・安全に留意して練習やゲームができるようになる。					まぐしをしたり、体力を高めたりす	る。			
(1)自己の記録を正確に測定することができる。 (2)体力面での現状を知り、課題を見つけることができる。 (1)マット・鉄棒・跳び箱の運動について、技がよりよくできる楽しさや喜びを味わい、自己に設を高めて、演技することができるようにする。 (2)器被運動に主体的に取り組むとともに、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとこと、合意形成に貢献しようとすることなどや健康・安全を確保できるようにする。 (3)技の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、発表の仕方などを理解し、自己やの課題に応じた運動を計ぞするための取り組みを工夫できるようにする。 (1)競走・跳躍・投てきの運動について、記録の向上や協奏の楽しさ喜びを味わい、各種目科技能を高めることができるようにする。 (2)陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーをとしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献とすることができるようにする。 (3)技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解し、自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、それぞれ特有の表現や踊りを高めて交流や発えさるようにする。 (2)ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、役割を積極的に受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとすることなどや、健康・安全を付することができるようにする。 (3)ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、交流表の仕方などを理解し、グループや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方だできるようにする。 (3)がスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、交流表の仕方などを理解し、グループや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方だできるようになる。 (3)所以に対して公正な態度がとれるようになる。また健康・安全に留意して練習やゲームができるようになる。 (3)所数に対して公正な態度がとれるようになる。また健康・安全に留意して練習やゲームが		体つくりご	車動		宣め古を宝践的にて土みてこしぶ	ジでキストシにか ス			
(2)体力面での現状を知り、課題を見つけることができる。 (1)マット・鉄棒・跳び箱の運動について、技がよりよくできる楽しさや喜びを味わい、自己に通技を高めて、演技することができるようにする。 (2)器械運動に主体的に取り組むとともに、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとこと、合意形成に貢献しようとすることなどや健康・安全を確保できるようにする。 (3)技の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、発表の仕方などを理解し、自己やの課題に応じた運動を計ぞするための取り組みを工夫できるようにする。 (1)競走・跳躍・投てきの運動について、記録の向上や協奏の楽しさ喜びを味わい、各種目科技能を高めることができるようにする。 (2)陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーをしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献とすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 (3)技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解し、自中間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 (1)創作ダンス、フォークダンス、現代的なリズムのダンスについて、感じを込めで隔ったり、有自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、それぞれ特有の表現や踊りを高めて交流や発えさるようにする。 (2)ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、役割を積極的に受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとすること、と後別を積極的に受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとすること、と後別を積極的に受け自己の責任を果たうとすること、をの責任を果たし、を関解解外の方法、交流表の仕方などを理解し、グループや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方だできるようにする。 (3) ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、交流表の仕方などを理解し、グループや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方だできるようになる。 (3)勝敗に対して公正な態度がとれるようになる。また健康・安全に留意して練習やゲー、きるようになる。 (3)勝敗に対して公正な態度がとれるようになる。また健康・安全に留意して練習やゲー、さるようになる。						・(このよ)(になる。			
(1) マット・鉄棒・跳び箱の運動について、技がよりよくできる楽しさや喜びを味わい、自己に通技を高めて、演技することができるようにする。 (2) 器械運動に主体的に取り組むとともに、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとこと、合意形成に貢献しようとすることなどや健康・安全を確保できるようにする。 (3) 技の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、発表の仕方などを理解し、自己やの課題に応じた運動を計ぞするための取り組みを工夫できるようにする。 (1) 競走・跳躍・投てきの運動について、記録の向上や協奏の楽しさ喜びを味わい、各種目科技能を高めることができるようにする。 (2) 陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーをしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献とすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 (3) 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解し、自仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 (1) 創作ダンス、フォークダンス、現代的なリズムのダンスについて、感じを込めて踊ったり、得自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、それぞれ特有の表現や踊りを高めて交流や発まさるようにする。 (2) ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、役割を積極的に受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとすることなどや、健康・安全をすることができるようにする。 (3) ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、交流表の仕方などを理解し、グループや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方をできるようにする。 (1) チームの課題や自己の能力に応じて運動の技能を高め、作戦を生かした攻防を展開してきるようになる。 (2) チームにおける自己の役割を自覚して、その責任を果たし、互いに協力して練習やゲームができるようになる。 (3) 勝敗に対して公正な態度がとれるようになる。また健康・安全に留意して練習やゲームが		新体力ラ	テスト						
正と、合意形成に貢献しようとすることなどや健康・安全を確保できるようにする。 (3)技の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、発表の仕方などを理解し、自己やの課題に応じた運動を計ぞするための取り組みを工夫できるようにする。 (1) 競走・跳躍・投てきの運動について、記録の向上や協奏の楽しさ喜びを味わい、各種目料技能を高めることができるようにする。 (2) 陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーをつしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献とすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 (3) 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解し、自中間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 (1) 創作ダンス、フォークダンス、現代的なリズムのダンスについて、感じを込めて踊ったり、傾自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、それぞれ特有の表現や踊りを高めて交流や発えきるようにする。 (2) ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、役割を積極的に受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとすること、役割を積極的に受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとすることなどや、健康・安全を付ってとができるようにする。 (3) ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、交流表の仕方などを理解し、グループや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方式できるようにする。 (1) チームの課題や自己の能力に応じて運動の技能を高め、作戦を生かした攻防を展開しるができるようになる。 (3) 勝敗に対して公正な態度がとれるようになる。また健康・安全に留意して練習やゲームが				(1) マット・鉄棒・跳び箱の運動について、技がよりよくできる楽しさや喜びを味わい、自己に適した					
の課題に応じた運動を計ぞするための取り組みを工夫できるようにする。 (1) 競走・跳躍・投てきの運動について、記録の向上や協奏の楽しさ喜びを味わい、各種目料技能を高めることができるようにする。 (2) 陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーをごしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献とすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 (3) 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解し、自仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 (1) 創作ダンス、フォークダンス、現代的なリズムのダンスについて、感じを込めて踊ったり、何自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、それぞれ特有の表現や踊りを高めて交流や発えきるようにする。 (2) ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、役割を積極的に受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとすることなどや、健康・安全をすることができるようにする。 (3) ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、交流表の仕方などを理解し、グループや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方できるようにする。 (1) チームの課題や自己の能力に応じて運動の技能を高め、作戦を生かした攻防を展開しなができるようになる。 (2) チームにおける自己の役割を自覚して、その責任を果たし、互いに協力して練習やゲームがきるようになる。 (3) 勝敗に対して公正な態度がとれるようになる。また健康・安全に留意して練習やゲームが		器	械運動						
接上競技 (2) 陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーをプレようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献とすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 (3) 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解し、自仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 (1) 創作ダンス、フォークダンス、現代的なリズムのダンスについて、感じを込めて踊ったり、何自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、それぞれ特有の表現や踊りを高めて交流や発えきるようにする。 (2) ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、役割を積極的に受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとすることなどや、健康・安全を行ることができるようにする。 (3) ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、交流表の仕方などを理解し、グループや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方をできるようにする。 (1) チームの課題や自己の能力に応じて運動の技能を高め、作戦を生かした攻防を展開しなができるようになる。 (2) チームにおける自己の役割を自覚して、その責任を果たし、互いに協力して練習やゲー・さるようになる。 (3) 勝敗に対して公正な態度がとれるようになる。また健康・安全に留意して練習やゲームが									
選 自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、それぞれ特有の表現や踊りを高めて交流や発表きるようにする。 (2) ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、役割を積極的に受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとすることなどや、健康・安全を行することができるようにする。 (3) ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、交流表の仕方などを理解し、グループや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方をできるようにする。 (1) チームの課題や自己の能力に応じて運動の技能を高め、作戦を生かした攻防を展開しなができるようになる。 (2) チームにおける自己の役割を自覚して、その責任を果たし、互いに協力して練習やゲーときるようになる。 (3) 勝敗に対して公正な態度がとれるようになる。また健康・安全に留意して練習やゲームが		陸	上競技	技能を高めることができるようにする。 (2) 陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 (3) 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解し、自己や					
表の仕方などを理解し、グループや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方をできるようにする。 (1) チームの課題や自己の能力に応じて運動の技能を高め、作戦を生かした攻防を展開し ムができるようになる。 (2) チームにおける自己の役割を自覚して、その責任を果たし、互いに協力して練習やゲー きるようになる。 (3) 勝敗に対して公正な態度がとれるようになる。また健康・安全に留意して練習やゲームが	選 自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、それぞれ特有の表現や踊りを高めて交流 きるようにする。 (2) ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、役割を積 ダンス								
■ トルピオン n	-,		球技	表の仕方などを理解し、グループや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 (1)チームの課題や自己の能力に応じて運動の技能を高め、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようになる。 (2) チームにおける自己の役割を自覚して、その責任を果たし、互いに協力して練習やゲームがて					
ができるようにする。 (2) 武道に主体的に取り組むとともに、相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大り ようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることなどや、健康・安全、 保することができるようにする。			武道	(1) 柔道、剣道について、技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、得意技を用いた攻防が展開ができるようにする。 (2) 武道に主体的に取り組むとともに、相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 (3) 伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古、体力の高め方、課題解決の方法、試合の仕方など					
(1) 豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、をの解決を目指した活動を 体育理論 ことができること。		 体育理			十の仕方について、課題を発見し	、をの解決を目指した活動をする			

<u>令和4年度</u>	教育計画	(シ	ラバス)			
学科名	Ż	学年		教科	科目	単位数
普通科・理数科学科・ノ		1		芸術	音楽I	2
古坎开	教科書 の音楽1(教育	*******			f助教材 NOTE(啓隆社)	
到達目標	1. 歌唱・・・様 2. 器楽・・・鍵 3. 創作・・・イ	くな歌曲に親し 盤楽器、弦楽器 メージに合わせ	器等の楽器 て曲を編	種に応じた発声や歌唱法を工力 はに親しみ、さらにそれらを用い 曲したり、創作したりすることがて 諸要素に着目させながら鑑賞す	そさせる。 て豊かなアンサンブル ぎきる。	表現を養う。
評価の観点	・曲想と音楽の構 との関わり及び音 を深めている。・創意工夫などを	生かした音楽表現	ついて理解 をするため	思考・判断・表現 音楽を形づくっている要素や要素同士 知覚し、それらの働きを感受しながら、 とと感受したこととの関わりについて考え に表すかについて表現意図を持ったり 評価しながら良さや美しさを味わって聴 る。	の関連を 知覚したこ さ、どのよう 、音楽を している	的に取り組む態度 全文化と豊かに関わり主体的・協 が鑑賞の学習活動に取り組もうと
学習の評価	<思考・判断 <主体的に取	文り組む態度>行	ンート、課	題等で評価する。 そにより総合的に評価する。		
	内容(単元・エ			学習到達	目標(評価規準)	
<歌詞に込めら 「校歌」 「翼をください」 「魔法みたいに」]	>	・歌詞に	込められた思いを感じ取り、作曲	者の意図を理解し、暑	表現を工夫している。
<世界の歌> 「オー・ソーレ・	ミーオ」		・曲種に。	tって発声を工夫して歌唱してV	いる。	
「おお シャンセ <リズムアンサン Clapping Quan	ジリゼ」 /ブル>		いる。	ン、カンツォーネの特徴を理解 特徴を感じながら、ノリの良いア		
<鑑賞>)/\40)	内域で必じなから、フラックスマン	フリンフルで来U/U (~ √ ~o
「英雄ポロネー				曲の構造を理解し、積極的に鑑		
「野ばら」			・歌詞の[できる。	内容を理解し、言葉のまとまりや	言葉のリズム、旋律の	動きを結びつけることが
<世界の歌> 「Amazing Gra 「荒れ野に御				寺徴や発音を意識した歌唱表現		
<劇音楽>			・楽曲の問	寺代や背景を理解して作品を味	わっている。	
<劇百栄> 「A Whole N 「Oh Happy)	_			内容と登場人物の心情を理解し		
<鑑賞>	_			者民族の生活や文化の特徴を理		
「交響曲第9 世界の諸民				ートとのバランス・ハーモニーに含		
<バイオリン・ト 「カノン」 「星に願いを	.T	/サンブル>	楽器の表	奏法やパートの役割を理解し、フ	プンサンブル表現を工	夫している。
<日本の歌> 「この道」			•日本語(の美しい語感を生かした歌唱表	現をしている。	
「ふるさと」			•日本の	音階の特徴を感じ取りイメージを	持って創作を行ってい	いる。
<創作アンサ	ンブル> 「オリジナル曲	I	自分たり	らのイメージに合った曲を編曲・	創作し、演奏している。	0
「日本目的」 <鑑賞> 日本の伝統音		1	日本の付	云統音楽に興味関心を持ち、そ	の特徴を感じ取ってレ	る。

令和4年度 教育計画(ンプハス)			lat ex						
学科名 学年		教科		科目	単位数				
普 通 科 理数科学科 1 人文社会科学科		芸術 美術 I		2					
教科書				補助教材	t				
	美術1(爿	治村)							
		知識•技能	思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度						
到達目標	について ・意図に	理解を深めている。)	・造形的なよさや美しさ、表現の意図 と創意工夫、美術の働きなどについ て考え、主題を生成し創造的に発想 し構想を練ったり、価値意識をもって 美術や美術文化に対する見方や感 じ方を深めたりしている。					
学習の評価	【思考・判 合的に判	断・表現】 アイデ [`] 断する。	アスケッヲ	さやグループでの話し合いや発表、自己評価表から総合的に評価する。 アスケッチ、設計図等から制作物に至る過程、完成した制作物、自己評価表から総 態度】授業での様子や制作物、自己評価表から総合的に評価する。					
学習	内容(単	元•項目)		学習到達目標(評	平価規準)				
)中で使っているものの実用性とともに さの調和について理解している。	暮らしを彩る役割σ	について知り、機			
				さの調和について理解している。 用具、作成方法の特性を知り、制作に	生かしている。				
デザイン	「A表現」 〔共通事	(2)「B鑑賞」, 項〕	陶芸の	制作工程を理解し、陶芸における表現りに表している。	_	て、制作計画を基			
陶芸マグカッ	ップの制作	[使 うものを作る」[・身近な日用品の用途や使用場面を想像し、目的や機能、条件、美しさなどを考え、主題を生成している。						
			・色や形、模様など造形的な美しさや、陶芸作品の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。						
			・デザイン表現の創造活動に取り組み、社会や生活の中にあるデザインについて主体的に考えようとしている。						
			て考え、	に作品の造形的なよさや美しさを感じ 見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動	動に取り組もうとして				
作品や美術	ナルかど	の鑑賞「B鑑賞」,		の性質と特徴、表現に与える影響を理 な特徴などを基に、全体のイメージや(-	ラステレた(細報)			
	〔共通事		ている。	は付以なことをに、王仲のパク マイー	FAL TRIVIC CIVE	えることとと			
1	多様な絵画		図、創造	なよさや美しさを感じ取り、描画材の選 的な表現の工夫などについて考え、『	見方や感じ方を深め	ている。			
				に絵画作品や背景となる美術文化の銀					
/A → E//		(,) F =	・形や色彩、材料、光などの性質やそれらが感情にもたらす効果、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。						
絵画•彫刻	列 A表現 〔共通事	」(1)「B鑑賞」, 項〕	生成し、	活で触れる事物の中に見つけた美しさ 油彩表現の特性を生かし、形体や色彩 構想を練っている。					
油彩画	My Favo	rite Things」	・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。						
			・主体的に日常生活の事物・事象の中にあるよさや美しさ、自らの経験から感じる心情や思い出の情景を基にした表現の創造活動に取り組もうとしている。						
			・主体的に作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表したい心情などについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞に取り組もうとしている。						
)アニメーションの種類や特性、画面の ≷について理解している。	変化や動き、素材の	り造形要素による			
映像メディア	表現「A表 〔共通事	表現」(3)「B鑑賞」, 項〕							
	コマ撮りアニメーションを加えたプレゼン テーションの作成「自己紹介」			・自己紹介の構成や展開を考え、アニメーションを効果的に用い、映像メディアの特性を生かして主題を生成している。					
				・視覚的な要素の働きについて考え、様々なコマ撮りアニメーションの手法から、主題にあった表現方法を選択し、創造的な表現の構想を練っている。					
				・主体的に映像メディア表現の創造活動に取り組み、伝えたい内容を映像表現の特性を生かして表現しようとしている。					
				に作品の造形的なよさや美しさを感じ 「について考え、見方や感じ方を深める					

יארידידוע פ	<u></u>								
学科名 学年		教科		科目	単位数				
普 通 科 理 数 科 月 人文社会科学科		芸術 - 書道 I 2			2				
	教科	<u> </u>		補助教材	†				
書	ݙI (教育	図書)							
		知識•技能	•	思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度					
到達目標	筆等を理)時代背景や作者、 解し、自分なりの表 基礎的な力を身に〜	現をす	自己のイメージを表現するために、 授業で学んだ書道理論や筆づかい などを作品制作でどのように活用す るかを考え、それらを生かして創造的 に表現できるようになる。	作品を分析的に鑑 イメージした表現を の仕方を深く考え、 細かい作業にも根 わからないことは積	可能にする運筆 試行錯誤する。 気よく取り組む。			
	の技能や古典の線質、字形学習の評価 学習の評価 るまでの試行錯誤の過程と			して、古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解し、基本的な用筆・運筆や構成を生かした表現の技能をを身につけているかを作品から評価する。 じ、何を考え、自分のイメージを表現するためにどのように工夫したか、作品が完成すての結果を作品とレポートから評価する。 度】授業態度やよりよい作品を作成するまでの試行錯誤の過程や取り組み状況な					
学習漢字の書の学		元•項目)		学習到達目標(記	半価規準)				
(条手の書の子 家刻の学 楷書の学	2習		 ・用具について理解するとともに、執筆法に習熟する。 ・漢字の五書体と仮名二書体の歴史を理解し、特徴を理解する。 ・篆刻の伝統的美的様式を理解し、姓名印を刻す。 ・楷書の構成美を理解し、硬筆で表現できる。 						
•鄭羲下	碑		・円筆による雄大さを感じ取り、臨書できる。						
•牛橛造	像記		・方筆による魁偉な表現を味わい、臨書できる。						
•孔子廟:	堂碑		•品格の	高さを感じ取るとり、臨書できる。					
•九成宮	醴泉銘		計算され	れた造形を感じ取り、引き締まった線で	臨書できる。				
•雁塔聖	教序		特徴ある	る用筆法を理解し、澄んだ線で臨書で	きる。				
• 顔氏家	廟碑		•筆の弾	力を効かせた特異な用筆法を理解し、	厚みのある線で臨	小さる。			
楷書によ	る創作		•2文字だ	いら5文字の漢語でふさわしい表現がで	できる。				
行書の学	空習								
•蘭亭序			•優雅で	貴族的な雰囲気を味わい、ゆったりとし	た調子で臨書でき	3.			
•争坐位:	文稿		・激しい感情表現を感じ、直筆で臨書できる。						
•風信帖			・線の太細、文字の大小、緩急など多彩な表情を感じ取り、変化に富んだ表現ができ						
行書によ	る創作		・2文字から5文字の言葉で創作する。						
展覧会鑑	監賞		・作品を直観的・かつ分析的に鑑賞し、感想をまとめることができる。						
仮名の書	い 学習								
•用筆			・仮名の伝統的な書線美を感じ取り、書くことができる。						
・高野切第3種の臨書			・平明で優美な表現を感じ取り、リズミカルに表現できるとともに、平仮名片 仮名の成り立ちや平安朝の表記法が理解できる。						
・短冊の創作			・短冊の伝統的形式を理解し、短歌を一首書くことができる。						
・色紙に創作			・優れた散らし書きを鑑賞し、自分なりに構成を工夫し、短歌を散らし書きで						
展覧会鑑賞			きる。 ・作品を直観的かつ分析的に鑑賞し、感想をまとめることができる。						
漢字仮名	名交じりの	書の学習							
・漢字と仮名の調和			・漢字(行書楷書)と平仮名片仮名の調和を考え、表現できる。						
・題字の揮毫			・書籍やレコードのタイトルを、相応しい書風で表現できる。						
•詩を書ぐ	<		・自作他作の詩を、相応しい書風や構成を考えて創作できる。						
<u> </u>									

令和4年度	教育計画	Ī (シ	ラバス)					
学科名		学年		教科	科目	単位数		
普通和		1		外国語	英語コミュニケーション I	3		
EL EMENT	教科書		EL EME	補助教材 NT Familiak Communication I 出づ		A 1 1)		
	(KEIRINK	AN)	LEAP(刻	NT English Communication I サブ 数研出版) 見方・考え方を働かせ, 以下の5つの領域に				
到達目標	た統合的な図る質・f 図る質・f (1) 聞くこと 用すれば、(2) 情報をごと なけいでり話報をごと ながいないでは、 (4) 話基本と は、書くこと	注言語活動を通して、 能力を養う。 活動・領域は以下の過 日常的・社会的な過 必要な情報を聞き取る。 日常的・社会的な過 と「やり取り」 日常的・ たり読んだりしたこと たけることができるよう に発表」 日常的・社 はな語句や文を用いる と「といないととを基に、」	情報や考動が記刻を表すが、これである。これでは、題概に対している。これである。これである。これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	たったがであれた。 でえなどを的確に理解したり、適切に表現し いて、話される速さや、使用される語句や文 や要点を目的に応じて捉えることができるよいて、使用される語句や文、情報量などに したり、概要や要点を目的に応じて捉えたり 話題について、使用する語句や文、対話で 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、 題について、使用する語句や文、事前の準 考え、気持ちなどを論理性に注意して伝え いて、使用する語句や文、事前の準備など 野句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを	たり伝え合ったりするコ て,情報量などにおいて うにする。 おいて,多くの支援をう りすることができるように の展開などにおいて,多 気持ちなどを論理性に 準備などにおいて,多くの とることができるようにす において,多くの支援を	ミュニケーションを ,多くの支援を活 舌用すれば、必要 する。 シくの支援を活用す 注意して伝え合う の支援を活用すれる。 を活用すれば、聞い		
		①知識•技能		②思考力・判断力・表現力	③主体的に学習			
評価の観点	解している。 [技能]コミュニ 況などに応じ 題について記 を捉える技能	の特徴やきまりに関する ニケーションを行う目的 にて、日常的な話題やを 話された文等を聞いて、 記を身に付けている。	工関する事項を理 コミュニケーションを行う目的や場面,状 外国語の背景にある文 況などに応じて,日常的な話題や社会的 を深め,話し手に配慮しな話題について,必要な情報を聞き取り,話し手の意図や概要,要点を捉えて り,話し手の意図や概要,要点を捉えて ている。					
学習の評価	2. 課題の打	是出状況や小テスト	及び授業に	・技能」,②「思考・判断・表現」を評価する。 中の参加態度で③「主体的に学習に取り組合的に判断して,年間の評価とする。				
学習内容(単	卢元•項目)		学習到達目標(評価規	準)			
Lesson 1 Intercultural Relationships		・海外の高校生・Scidmore's Ci・英語の5文型,・ワシントンの桜・自分のことに	・強弱のリズム・イントネーションを聞き取る。 ・海外の高校生に日本の文化を紹介する計画についての会話を聞き取る。 ・Scidmore's Cherry Treesを読み, 概要を理解する。 ・英語の5文型, 受動態, to不定詞を用いた文の構造を理解する。 ・ アジントンの桜についての物語を読み, その内容についてリテリングを行う。 ・ 自分のことについてクラスメートと情報を伝え合う。 ・ アメリカからの交換留学生に, 自己紹介のメールを書く。					
Lesson 2 Love beyond Species		・ペットを友人は ・Christian the : ・現在完了形/ ・ペットとして飼 ・ペットを飼いた	・つながりやすい音・変化しやすい音を聞き取る。 ・ペットを友人に預ける際の注意点を聞き取る。 ・Christian the Lionを読み、概要を理解する。 ・現在完了形/現在完了進行形、分詞の限定用法を用いた文の構造を理解する。 ・ペットとして飼われたライオンの物語を読み、その内容についてリテリングを行う。 ・ペットを飼いたい子どもと反対する親という設定でロールプレイを行う。 ・Christian the Lionのストーリー・レポートを書く。					
Lesson 3 Contributing t	to Our Pla	net ・使い捨てのビ ・Bye Bye Plast ・関係代名詞, ・バリ島のプラス ・身近な環境問	ニール袋と icsを読み, 使役動詞な メチック問題 とその角	経験を聞き取る。 とエコバッグのメリット・デメリットを聞き取る。 、概要を理解する。 を用いた文の構造を理解する。 題についての英文を読み,その内容につい解決策について話し合う。 生に、ボランティアに参加するように誘うメー				
Lesson 4 Messages for	World Pea	ce ・過去完了形, ・二重被爆につ ・山口さんの願 ・平和について	l, Twice Si 知覚動詞でいての物でいての物でいる いを継ぐた 自分の意		示 う。			
Lesson 5 Respecting Each Other		Nobody's Per関係代名詞の野球の投手とイラストを見て示された状況	fectを読み what, 関係 誤審を行っ , 状況を説 に沿って愿	話している会話を聞き取る。 、登場人物の心情をおさえ,概要を理解 系副詞を用いた文の構造を理解する。 った審判についての物語を読み,その内容 も明する。	らについてリテリングを行	ŤŽ.		
Lesson 6 Language and Culture		・関係代名詞の・作家のスピー・・好きなアニメペー・・相手の話に対・・日本文化が楽	Wordsを訪 非限定用 チを読み, 没画,映 して興味が しめる場所	売み、概要を理解する。 法、分詞構文を用いた文の構造を理解す その内容についてリテリングを行う。 画について発表する。 があることを示す。 所を例示しながら説明する文章を書く。	ప .			
Lesson 7 Technology and Discoveries		・Serendipityを ・形式主語のit, ・偶然の発見に ・歴史上最も偉 ・電子書籍より約	読み, 概要 be動詞の よる発明に 大な発明に 妖の書籍を	補語になるthat節を用いた文の構造を理り こついての英文を読み,その内容について は何かについて話し合う。 と好む理由を対比しながら書く。				
Lesson 8 Standing Up for Human Rights		Playing the Er仮定法過去/ネルソン・マンある人物の経	nemyを読∂ ´仮定法過 デラとラグ 歴についっ	ての会話を聞き取る。 み,登場人物の心情をおさえ,概要を理解 去完了,過去完了進行形を用いた文の構 ビーについての物語を読み,その内容にてまとめ,発表する。 権に関する状況がどのように変わったかを	造を理解する。 ついてリテリングを行う。			

令和4年度	教育計画	(シラバス)							
学科	名	学年		教科	科目	単位数			
普 通理 数 科人文社会和		1		家庭	家庭基礎	2			
教科書				補助教材	-				
Agenda家庭基礎 (実教出版)			生活学Navi2022(実教出版)						
		知識•技能		思考·判断·表現	主体的に学習に	こ取り組む態度			
到達目標	みを総合 義,家族 いて理解 むために 消費や環	注にわたる発達とか的に捉え、家族・3 ・家庭と社会との関係を深め、生活を主心要な家族・家庭と 必要な家族・家庭、 であるなどについて理かわる技能ができる。	定庭の意 おける生活の中から問題を見いだして課 構築に向けて、課題の解決に主体的に取わりにつ 題を設定し、解決策を構想し、実践を評 り組んだり、振り返って改善したりして、地本的に営 価・改善し、考察したことを根拠に基づい 域社会に参画しようとするとともに、自分 衣食住、 て論理的に表現するなどして課題を解決 や家庭、地域の生活を創造し、実践でき解し、そ できる。						
	め, 生活 わる技能	を主体的に営むた を身につけている。	生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深めに必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかか、(知識・技能) 域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評						
学習の評価	価·改善 表現)	し,考察したことを村	退拠に基づ	がいて論理的に表現するなどして課題を解え の構築に向けて,課題の解決に主体的に	やする力を身につけて	いる。(思考・判断・			
				分や家庭、地域の生活を創造し、実践しよう					
	内容(単	元•項目)	・トル曲ュー	学習到達目標(評	価規準)				
生活設計 ・これからをど ・表生期の点		,	・社会と生・自分の自	なライフプランを考えることができる。 :き方の多様化の広がりについて考えるE差 立度を考え、課題解決に向けた行動を理					
青年期の自			キルにつ	いて考える					
・衣生活を見i ・衣服の機能 ・衣服の材料 ・衣服の管理	と着装と成り立ち		・肌着を着・季節に応・常生活の	こ夫や、暑い時,寒い時の服の着方につい うる効果や衣服を着装する際に気を付けるない いた着装を考え、衣服の機能や構造を知る の中で衣服にどのような汚れが付着するかな	ポイントをTPOを踏まえ る っけ,適切な洗濯方法	を考える			
・安心して衣服 ・いろいろな <i>】</i> ・これからの本	しが着る本		・衣服の購入の際、店舗販売や無店舗販売のメリット、デメリットを比較し、衣服の管理方法を理解 ・ライフステージの変化にともなった着脱のしやすさについて、他分野の学びを踏まえて考える ・持続可能な衣生活に向けた一人ひとりの行動について考える						
・食べることを	,		・食生活を	≥振り返る					
·栄養と食品 ·栄養素のは	たらきと食	1品の学養	・「食品群別摂取量のめやす」や「食事摂取基準」について理解する ・栄養素とそのはたらきについて調べる						
・食事をつくる		と叫い不良	・・ : : : : : : : : : : : : : : : : : :						
食品の選択			・食品の表示に書かれていることや食品添加物を調べる ・日常生活で食中毒を予防する手立てを考える						
・食品の取り打 ホームプロジ		校家庭クラブ活動	・日常生活で良中毒をア防するチェーで考える ・生活の中から課題を見つけ、自ら課題解決のために行動する						
ホームプロジ			・人前で自	分の研究を発表する					
・食品の安全 ・豊かな食生		ı-ı+		足全性の管理・評価・担保をだれがどのよう 食料自給率が向上するとどのような利点が					
· 荳かな良王。 · 社会の変化		I-14	・家族構成の変化とその背景についてまとめる						
子どもと出会		、≪ ` 幸	・子どもの特徴や感性などについてまとめ、子どもとふれあう機会を共有する ・乳幼児期の子どもの発達の特徴についてまとめる						
・子どもの心と ・子どもの生タ)	・乳幼児期の子どもの発達の特徴についてまとめる ・生活リズムや基本的生活習慣の援助について理解する						
・子どもと遊び			・子どもが安心して遊びを楽しむための環境を考え、子どもとふれあい遊びを体験する						
・子どもの育つ ・子どもの権利	利と福祉	士 会	・さまざまな保育の場があることを確認し、子育て支援やその課題について調べる ・子どもが持つさまざまな権利や子ども・子育てに関わる法律について確認する						
・子どもと共に ・家族・人生・		土 律)育ちを支えるためにできることを考える りよい関係を築くための方法を考え、家族	まの基礎的な知識やも	斤年の動向を確認す			
・多様な課題 ・持続可能な:	を抱える	家族•家庭	・家族の排	包える困難に対して社会ができることを考え 間を知り、仕事や働き方に関する制度や法・	まとめる	₵ ┯♥ク϶Ͷ⋻с⊯Ε┅ゥ			
多様な生きた		する社会へ		ースが多様化している現状をさまざまな資料		ニレル ス			
·住まいの選 ·ライフスタイ		۸,	・ひとり暮らしを始めるときの自分のなかの優先順位について理由と共にまとめる ・自分の理想の間取りを考える						
さまざまな家		ぎまな住まい		ヽかわりを大事にする暮らし・住まい方が求 のごリフラリー カララご リップバク・カ		1			
·住まいの安? ·住環境の安			・身の回りのバリアフリーやユニバーサルデザインをあげる ・自宅や学校、その近隣のハザードマップを調べ、災害時の連絡方法を家族で話しあう						
環境共生の	今·昔		・伝統的な住まいの工夫と四季について考える口						
·住まいづくり ·お金の管理			・空き家問題や持ち家のメンテナンスにどのようなことが必要になるか考える ・生命保険や1か月の支出、ライフイベントにかかる費用を調べる						
。 暮らしと経済		• •	・グローバ	「リゼーションによって私たちの暮らしにど <i>0</i>)よ う な影響があるかる				
意思決定と				ネットで商品を購入し,商品が手元に届くま な支払方法のメリット・デメリットを理解し、					
・購入方法の多様化 ・消費者問題			・さまざまな支払方法のメリット・デメリットを理解し、多重債務に陥らないために必要なことを考え ・日常生活の中で、消費者被害の防止のためにどんなことに気をつければよいか考える						
消費者保護			・消費者を	守る法律はどのような場合に有効か知る					
・持続可能な社会をめざして			・持続可能な発展のため、自分の生活や日本の現状について事例をあげて検証する						
消費者市民社会高齢者を知る			・商品やサービスを購入する時に優先すべきことをあげる ・身近な高齢者にインタビューし、高齢期について理解する						
・高齢在を知る ・高齢社会の現状と課題				『師者にインダビューし、同節期について達な資料から高齢社会の現状や課題を確認					
·高齢者の尊厳と自立の支援			・介助者への支援としてどのようなものがあるか調べ、体験するE高齢者の心身の特徴について						
・高齢者を支える制度としくみ			・地域で行うことができるものについて考え、年金の意義について話し合う ・現在の日本の社会保険制度の課題と背景についてまとめる						
・生活を支える福祉と社会保障制度 ・共生社会の実現に向けて			・住んでいる地域や学校の課題解決や魅力づくりの取り組みについて考える						
共生社会の	実現に同	17 C	1 11/0 (0	・仕事について、自分の考えをまとめ、自分のライフステージを考える					

令和4年度	教育計画		(シラバス)					
学科名	Z I	学年	教科		科目	単位数		
普通科、理数科学科、	人文社会科学科	2	情報		社会と情報	2		
教科書				補助教材				
		情報(数研出版)		1111-73-4241	,			
到達目標	1 情報 2 メディ 3 情報	化が社会に及ぼ アの特性を踏ま 機器や情報通信	す影響や課題について理解し、情報社会に積極的に参画する態度を身につける。 え、情報を適切に収集・処理し、信憑性を判断したうえで、責任をもって発信する力を身につける。 ネットワークを活用し、他者とコミュニケーションをとりながら協働して問題を解決する力を身につける。 ネットワークのしくみを理解し、進展する情報社会に対応する基礎的な知識を習得する。					
評価の観点	情報のデ報通信ネッに関心を持 他者を尊の一員とし	持つ。 重し,情報社会	②思考・判断・表現 ③技能 ④知識・理解					
学習の評価	2 授業 上記	1,2の双方に重き	③④を評価する。 題で上記の①③を評価する。 をおき、総合的に成績を算出する		57 /m +H ¾# \			
字習 (オリエンテーシ	内容(単元・	'垻日)		学習到達目標(記	计伽規华/			
	タとネットワー ディア は アとは リディジタルィ		 ・コンピュータの基本操作やネットワークの使い方を理解し、適切に使用できる。 ・「情報」がもつ意味やはたらきについて理解している。 ・さまざまなメディアの特徴を理解している。 ・アナログとディジタルのちがいについて理解している。 ・ディジタル化の際に失われる情報について理解している。 ・アナログ情報とディジタル情報のちがいについて理解している。 					
第1編 情報社:	会と情報モ [、]	ラル	ディジタル情報の利点と欠点サーチエンジンのしくみや情情報化が社会に及ぼす影響	報を絞りこむための方法		る。		
第1章 情報社 第2章 情報セ	会の光と影 キュリティの 会における	;)確保 法と個人の責任	 情報技術が生み出した問題について理解している。 ・SNSやブログ,投稿サイトなどのコミュニケーション手段の特性について理解している。 ・ネット上のトラブルを回避し、インターネットを適切に活用するための知識を身に付けている。 ・ユーザ認証やアクセス制御など、情報セキュリティを確保するために必要な知識を身に付けている。 ・通信の秘密を守る必要性を理解している。 ・暗号やディジタル署名のしくみを理解している。 ・コンピュータウイルスが社会に及ぼす影響について理解している。 ・コンピュータウイルスへの対策の重要性とその方法を理解している。 ・情報の流出やサイバー攻撃等の現状を知るとともに、セキュリティ対策の必要性やその方法を理解している。 ・著作権などの知的財産権を保護する必要性や、その法律の目的について理解している。 ・個人情報やプライバシーの保護に関連する法律の意義や内容について理解している。 					
第2編 デインタ 第1章 コンピ: 第2章 情報の 第3章 情報の 第4章 プレゼ	ュータのしく ディジタル 表現と伝達	み 表現	・コンピュータ本体のはたらき・OSの役割, GUIの特徴につい ・ビット, バイトの概念や, ディ・2進数と10進数の変換のしか・データ圧縮のしくみや利点に・音声, 静止画, 動画のファイ・情報伝達のメディアの性質を・情報を発信するときの注意点・多様な形態の情報を統合化ている。	いて理解している。 ジタル情報の量の単位にたについて理解している。 こついて理解している。 ル形式の特徴を理解して 理解している。 ほこついて理解している。	こついて理解している る。 ている。	5.		
第3編 情報通信ネットワーク 第1章 コミュニケーション手段の発達 第2章 インターネットのしくみ			・プレゼンテーションの実施や資料作成のための知識を身に付けている。 ・マスコミュニケーションの進展について理解している。 ・LAN, WAN, インターネットの構造などに関する知識を身に付けている。 ・インターネットの通信プロトコルは、役割によって複数のプロトコルが存在することについて理解している。 ・LANの配線形態や規格について理解している。 ・IPアドレス,ドメイン名, DNSのしくみを理解している。 ・ウェブページの特徴やその閲覧のしくみについて理解している。 ・URLの構成や意味について理解している。					
第4編 望ましい 第1章 情報シ 第2章 問題解	ステムと人		・情報通信技術の発達や情報の・身のまわりでコンピュータや情・情報通信技術の活用によって・生活の安全のために、どのよう・ユーザビリティやアクセシビリラ・ユーザインタフェースに関する・バリアフリーやユニバーサルテる。 ・ 問題解決を行うためのプロ・各プロセスの手順や方法を・度数分布表とヒストグラム、デー味を理解している。	報システムがどのように , 販売や仕事がどのよう な場所でどのように情幸 イについて理解してい 技術について理解して ザインについての知識 セスを理解している。 :理解している。	利用されているか理 いに変化したか理解し 限技術が使われている る。 いる。 を身に付け, その必ら	ている。 るか理解している。 要性や重要性を理解してい		

令和4年度	教育計画		(シラバス)					
学科名 学年		学年	教科				単位数	
普通科 2		2	情報		情報の科学	情報の科学 2		
教科書			補助教材					
改訂版 高等学	校 情報の	科学(数研出版)						
到達目標	2 情報 に関 3 情報 ため	技術の進歩が) する基礎的な知 機器や情報通り の科学的な考え	で術の役割や影響を理解し、情報と情報と情報と情報と情報と情報とはできる。 の識と技能を習得する。 言ネットワークに関する基礎的な知識を 上方を習得する。 責極的に寄与する能力と態度を身につ	での特性を踏まえた で技能の習得を追	た適切なルーバ	ンやマナー, 発見と解決!	情報の安全性などこ効果的に活用する	
		心•意欲•態度		③技		④知識•理解		
評価の観点	響や課題解決のたる報通信ネ て,情報を	青報化が及ぼす に関心をもち、 めに情報機器ペットワークを活月 社会の発展に主 する態度を身に	問題 のまわりの問題を解決するため に、情報に関する科学的な見 すや考え方を活かすとともに情 報モラルを踏まえて、思考を深	ける身 情報及び情報技術を適切に るため 活用するための基礎的・基本 的な見 的な技能を身に付け,目的に もに情 応じて情報及び情報技術を適 考を深 切に扱っている。 情報機器や情報 ワークのしくみ、情 について科学的な 社会における情報 や課題について到			学や情報通信ネット くみ,情報技術全般 斗学的な知識を深め, ける情報技術の役割 ついて理解している。	
	1 定期	考査で上記の	234を評価する。					
学習の評価			課題で上記の①③を評価する。					
会当年	上記 7容(単元・		きをおき、総合的に成績を算出する。	学習到達目標(が (本田) (本)			
子首と								
・コンピュータと	ネットワー	クの基本操作	コンピュータの基本操作やネット	ワークの使い方を	理解し、適切に	こ使用できる) _o	
序編 情報とメディア 第1章 情報とは 第2章 メディアとは 第3章 情報のディジタル化 第4章 インターネットの活用 第1編 コンピュータとディジタル情報 第1章 コンピュータのしくみ 第2章 情報のディジタル表現			・「情報」がもつ意味やはたらきに・さまざまなメディアの特徴を理解・アナログ情報とディジタル情報の・ディジタル情報の利点と欠点を理・インターネットの特性をふまえて、・サーチエンジンのしくみや情報を・コンピュータ本体のはたらきや補・OSの役割、GUIの特徴について・ビット、バイトの概念や、ディジタ・2進数と10進数の変換のしかたに・データ圧縮のしくみや利点につい・音声、静止画、動画のファイル形	している。 かちがいについて 理解している。 インターネットを を絞りこむための 助記憶装置の種 理解している。 ル情報の量の単化 こついて理解している いて理解している	理解している。 適切に活用する 方法について理 類や特徴などに 立について理解 いる。	!解している	0	
第2編 情報通 第1章 コミュニ 第2章 インター	ケーション	/手段の発達	 マスコミュニケーションの進展に LAN, WAN, インターネットの構造 インターネットの通信プロトコルは ている。 LANの配線形態や規格について 	造などに関する知 は, 役割によって複 「理解している。	識を身に付けて 复数のプロトコル		ることについて理解し	
第3編 問題解決とコンピュータ 第1章 問題解決 第2章 問題の解決と処理手順の自動 化 第3章 データベース			 ・IPアドレス、ドメイン名、DNSのしくみを理解している。 ・ 問題解決を行うためのプロセスを理解している。 ・ 各プロセスの手順や方法を理解している。 ・ 問題解決の手順をアルゴリズムを用いて表現する方法を理解している。 ・ それぞれの探索法の特性を理解している。 ・ それぞれの探索法の手順をアルゴリズムを用いて表現する方法を理解している。 ・ データベースの特徴や機能について理解している。 ・ データベースの演算を理解している。 					
第4編 情報社 第1章 情報シ 第2章 情報 第3章 情報 第4章 情報 責任	⁄ステムと人 :会の光と キュリティの	、間 影 の確保	・情報通信技術の発達や情報の技・身のまわりでコンピュータや情報・ユーザビリティやアクセシビリティ・ユーザインタフェースに関する技・情報化が社会に及ぼす影響と講・情報技術が生み出した問題につ・SNSやブログ、投稿サイトなどのコーチャディジタル署名のしくみを・コンピュータウイルスが社会に及・コンピュータウイルスへの対策の・著作権などの知的財産権を保護	システムがどのよこのいて理解していて理解にでいて理解といて理解していて理解している。 ぼす影響につい 重要性とその方法	うに利用されて ている。 している。 している。 る。 手段の特性に て理解している 去を理解している	いるか理解 ついて理解 。。。。。	している。	